

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 3 年 6 月 4 日現在

機関番号：12608

研究種目：新学術領域研究(研究領域提案型)

研究期間：2016～2020

課題番号：16H06441

研究課題名(和文)複合アニオン化合物の新規化学物理機能の創出

研究課題名(英文)Development of mixed anion compounds that exhibit new properties and functions

研究代表者

前田 和彦(Maeda, Kazuhiko)

東京工業大学・理学院・准教授

研究者番号：40549234

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 256,700,000円

研究成果の概要(和文):光触媒・光電極、二次電池部材、蛍光体、電子材料への応用をターゲットとして、複合アニオン化合物に特有の革新的機能を創出することを試みた。エネルギー変換型光触媒の研究では、技術的課題や先入観によりこれまで検討候補とならなかったアニオンドーブ型酸化チタン、層状酸窒化物、酸フッ化物などが新たな可視光応答光触媒となることを見出した。一部のアニオンドーブ型酸化物は、二次電池部材としても有効性が示された。蛍光体材料に関しては、アニオン共存によるバンド制御を通じて、物質系に限定されない励起・発光波長の制御指針を確立できた。電子材料の研究では、複合アニオン化に伴う特異な電子物性の発現が多く、多くの系で認められた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究により、1:1のグループ間共同研究だけでなく、合成(A01)、解析(A02)を含めた3グループ以上による有機的な連携に基づいた共同研究が活発に行われ、複合アニオン化合物の機能創出に関して多くの学術的知見を得ることに成功した。また、実用化に向けた研究が進む光触媒や二次電池材料に関しては、既存のチャンピオン物質に匹敵するものを複数見出すことができた。

研究成果の概要(英文): We have attempted to create innovative functions unique to mixed anion compounds, targeting applications in photocatalysts and photoelectrodes, secondary battery components, phosphors, and electronic materials. In the study of energy-conversion-type photocatalysts, we found that anion-doped titanium dioxide, layered oxynitrides, and oxyfluorides, which had not been candidates for investigation due to technical issues and preconceptions, could be new visible light responsive photocatalysts. Some of the anion-doped oxides were also shown to be effective as secondary battery materials. For phosphor materials, we have established a guideline for controlling excitation and emission wavelengths that is not limited to material systems through band control by anion coexistence. In the study of electronic materials, unique electronic properties associated with complex anionization were observed in many systems.

研究分野：光触媒・材料科学

キーワード：光触媒 二次電池 蛍光体 磁性体 熱電材料

様式 C-19、F-19-1、Z-19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

酸素、窒素、フッ素、水素など複数のアニオンが同一化合物に含まれる「複合アニオン化合物」では、酸化物などの単アニオン系にはない特異な配位構造や結晶構造が生じ、その結果として単アニオン系とは根源的に異なる革新的機能（光触媒特性、強誘電性、超伝導性、蛍光特性、電気化学特性など）が創発することが近年明らかとなってきた。しかし、無機材料化学は物質系や応用分野によって細分化されており、日本と同様、海外でも出口指向の研究者によって、他分野の研究者との相互作用なしに単発的な研究がなされている。複合アニオン化合物は、新しいタイプの材料であるがゆえに様々な革新的機能が潜んでいるはずであり、関連する機能材料の研究者が集い共に研究を推進することは、複合アニオンを旗印とした新物質化学の発展に大きく貢献できると代表者は考えた。

2. 研究の目的

本計画研究では、機能創発の観点からエネルギー問題の解決を大きな目標として、創エネルギー・省エネルギーに資する複合アニオン化合物からなる新機能材料を開発する。具体的には、光触媒・光電極、蛍光体、二次電池部材、熱電変換材料、その他電子材料への応用をターゲットとして、これらの機能材料研究で先駆的業績をあげている国内の有力研究者とチームを組み、複合アニオン化合物に特有の革新的機能を創出する。さらには、材料の高機能化に不可欠な高い合成技術をもつ A01 班と構造物性や機能発現機構の解明を専門とする A02 班と連携することで、それまで他分野の研究者との相互作用なしに単発的な研究がなされてきた現状を変え、複合アニオンを旗印とした新物質化学の発展を目指す。

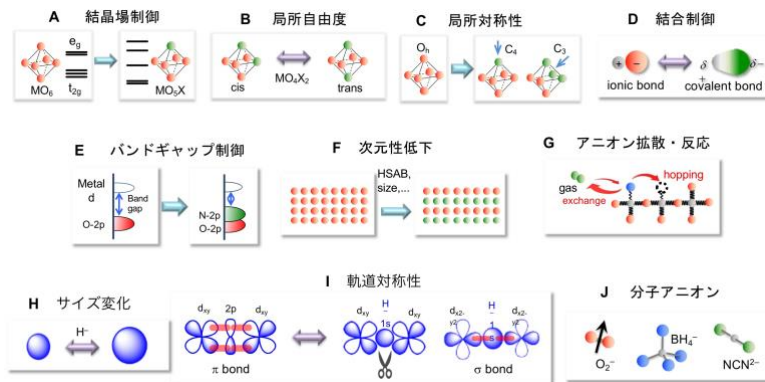


図 1. 複合アニオン化合物の機能創出コンセプト。

3. 研究の方法

複合アニオン化合物において重要となる機能創出のコンセプトを図 1 に示す。本研究では代表の前田のリードの下、分担者との意識統一を早期に図り、これらのコンセプトに基づいた新しい機能材料の開発に取り組んだ。以下には、光触媒・光電極、蛍光体、二次電池部材、電子材料に関する代表的な成果を記す。

4. 研究成果

(1) 光触媒・光電極材料 (コンセプト E)

アニオンドープ型 TiO<sub>2</sub> 光触媒

ルチル型酸化チタン (R-TiO<sub>2</sub>) は水の酸化に特異的な高活性を示す光触媒として知られる。図 1 のコンセプト E に基づき、R-TiO<sub>2</sub> のバンドギャップ内に不純物準位を形成させ、その不純物準位由来の光吸収に基づく可視光応答化を試みた。その結果、Ta と N を共ドーピングした R-TiO<sub>2</sub> (R-TiO<sub>2</sub>:Ta, N) が、可視光照射下で水を酸化して酸素を生成する光触媒となることを見出した。この R-TiO<sub>2</sub>:Ta, N を酸素生成光触媒とすることで、Fe<sup>3+</sup>/Fe<sup>2+</sup> レドックス対存在下、SrTiO<sub>3</sub>:Rh 光触媒との組み合わせにより擬似太陽光照射下での水の完全分解にも成功した。従来知られていた代表的な酸窒化物光触媒 TaON と比べても高活性となった。このような Z スキーム型水分解に有効な酸窒化物光触媒はいくつか知られていたが、本成果は Ti 系酸窒化物材料を用いてはじめて水の完全分解を達成した例である。

また、助触媒として RuO<sub>x</sub> を担持した R-TiO<sub>2</sub>:Ta, N は長時間安定駆動する水分解光アノードとしても機能した。さらには、計測科学を専門とする内本との協働により、水の光酸化反応中の RuO<sub>x</sub> の様子を世界で初めて捉えることに成功した。

類似のアニオンドープ系材料として、N/F 共ドーピング R-TiO<sub>2</sub> (R-TiO<sub>2</sub>:N, F) も新たに開発し、R-TiO<sub>2</sub>:Ta, N と同様に Z スキーム型水分解の酸素生成光触媒として機能することを発見した。この材料は、合成法を最適化してナノ粒子とすることで、可視光水分解に用いられるチャンピオン物質である BiVO<sub>4</sub> に匹敵する活性を示すことを見出した。さらには、桑原 (A02 分担) と協働することで、R-TiO<sub>2</sub>:N, F における N と F それぞれの役割を計算科学の観点から明らかにした。

アニオンドープ型 TiO<sub>2</sub> 光触媒は、電子-正孔の再結合中心となる欠陥形成の制御が困難なことなどの理由から、水分解用の可視光応答型光触媒としては、必ずしも有望視されてこなかった。本研究の成果は、アニオンドープ型 TiO<sub>2</sub> の高いポテンシャルを明確に示している。

準安定層状酸窒化物光触媒

層状酸窒化物は高活性な可視光応答型光触媒となることが期待されるものの、単一相で目的

物を得ることが困難なこと、そして水蒸気存在下での安定性の低さから、これまで積極的な研究開発が行われてこなかった。こうした状況で前田、陰山 (A01 分担)、垣花 (A01 分担)、本郷 (A01 分担)、木本 (A02 分担)、八島 (A02 分担)、前園 (A02 公募) らの協働により、新規層状酸窒化物  $K_2LaTa_2O_6N$  の合成に初めて成功し、その優れた可視光応答光触媒機能を明らかにした (図 2)。この新材料は水中においても十分安定で、かつ従来知られていたチャンピオン光触媒  $Pt/ZrO_2/TaON$  や  $Pt/SrTiO_3:Rh$  に匹敵する高い光触媒活性を示すことがわかった。

2 層型の層状ペロブスカイトである  $K_2LaTa_2O_6N$  に対して、類似の 3 層型  $K_2Ca_2Ta_3O_9N$  を合成することにも成功した。層状ペロブスカイト型の金属酸化物光触媒の研究では、ペロブスカイト層の厚みが大きくなるほど光触媒活性が向上することが報告されている。その一方で、今回合成した層状ペロブスカイト酸窒化物では真逆の傾向となり、2 層型が 3 層型よりも高活性となった。この原因をフェムト秒レーザー分光 (山方 (A02 公募) と共同研究) で調べた結果、2 層型では 3 層型よりも励起電子の寿命が長いことが明らかとなった。これまで、層状酸窒化物の合成例はほとんどなくその光触媒活性も未解明だったが、本研究により複数の新規層状酸窒化物の合成に成功するとともに、その特異な光触媒活性をはじめて見出した。

#### 常識外れの新光触媒 $Pb_2Ti_2O_5.4F_{1.2}$

上記の酸窒化物系複合アニオン光触媒の設計コンセプトは、0-2p 軌道よりも高エネルギーの N-2p 軌道を価電子帯形成に利用して、バンドギャップを縮小することにあつた。このコンセプトに基づけば、電気陰性度が最大の F を含む酸フッ化物は可視光応答型光触媒の候補とはなり得ない。

こうした当初の予測に反し、前田、岡 (A01 公募) らの協働により、酸フッ化物  $Pb_2Ti_2O_5.4F_{1.2}$  が可視光応答可能な狭いバンドギャップを特異的に有し、安定な可視光応答型光触媒となることを見出した (図 3)。結晶構造解析の結果、 $Pb_2Ti_2O_5.4F_{1.2}$  はアニオン複合化により、酸化物では安定的に得られることのないパイロクロア構造をとり、その構造の特徴として Pb-O 結合距離が特異的に短くなっていることが明らかになった。本郷 (A01 分担)、前園 (A02 公募) の協力によりバンド構造解析を行った結果、同材料の価電子帯において Pb/O 成分の混ざり合いが顕著なことを突き止め、この Pb-O 結合がもたらす強いイオン間相互作用がバンドギャップの縮小に寄与していることがわかった。

さらに我々は、透明導電性ガラス上に積層した  $Pb_2Ti_2O_5.4F_{1.2}$  微粒子電極が、太陽光照射下で水を分解する安定な光電極となることも見出した。長時間の光照射に対しても光電極性能は低下することなく水から酸素を生成し続けた。これは、酸フッ化物を光電極として用いて水を完全分解した世界初の例でもある。

## (2) 蛍光体ホスト材料 (コンセプト A、E)

### 酸窒化物

$Ce^{3+}$  添加部分窒化ガーネット  $(Gd, Y)_3(Al, Si)_5(O, N)_{12}$ 、 $Eu^{3+}$  添加赤色酸窒化物蛍光体  $YSiO_2N$  の開発に成功した。前者ではカチオン置換と部分窒化により、 $Ce^{3+}$  の結晶場分裂を増大させて、黄色から橙色の発光を実現した (田部、八島 (A02 分担) による共同研究)。後者では、部分窒化による電荷移動遷移励起帯の長波長化 (LED 励起可能な近紫外域へ) と複合アニオン配位による非対称性の増加に伴う電気双極子遷移確率の増強を実現した。さらに中性子回折測定結果から窒素配位の直接的証拠を得るとともに、Material studio, CASTEP を用いて部分窒化によるバンド構造変化を調査し、酸窒化物、酸窒化物の電子構造の変化を明らかにした (田部、本郷 (A01 分担)、八島 (A02 分担)、前園 (A02 公募) による共同研究)。

### 酸フッ化物・酸水素化物

これらの酸窒化物系蛍光体材料の開発に加えて、 $Ce^{3+}$  添加酸フッ化物  $Sr_3AlO_4F$  蛍光体が同型構造の酸窒化物  $Sr_2GdAlO_5$  蛍光体と比較して、高温まで温度消光しにくいことも見出した。さらには、

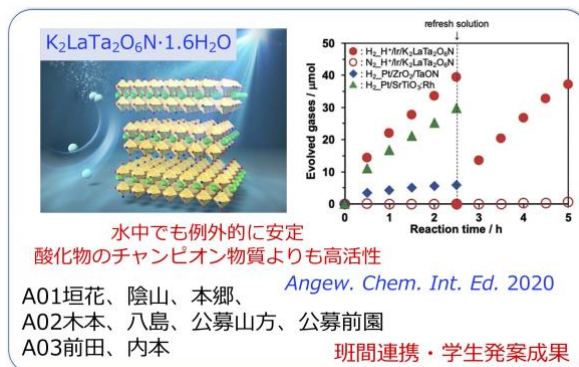


図 2. 新規二次元層状酸窒化物の単相合成と優れた光触媒機能の発見。

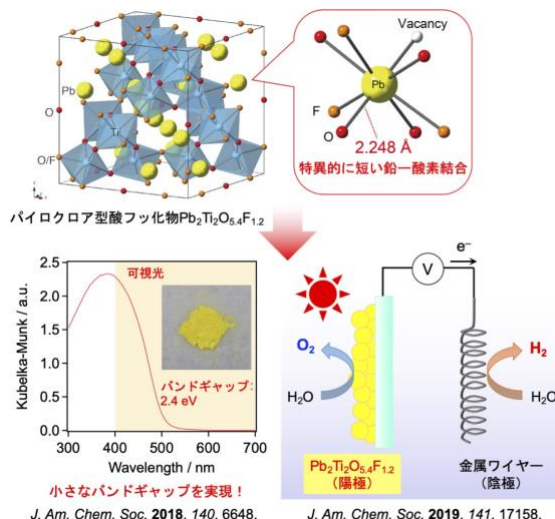


図 3.  $Pb_2Ti_2O_5.4F_{1.2}$  の結晶構造と光吸収特性、光電気化学水分解への応用。



松石が合成した新規酸水素化物  $GdHO$ ,  $Sr_2LiSiO_4H$  および  $Sr_{3-x}A_xAlO_4H$  ( $A = Ca, Ba$ ) では、ヒドリドイオン混合配位による高い電子雲膨張効果の結果、賦活された  $Tb^{3+}$  や  $Eu^{2+}$ ,  $Ce^{3+}$  の最低 5d 励起準位の低エネルギー化が起こることも発見した (図 4)。実際に  $Sr_2LiSiO_4H:Eu^{2+}$  では同型の  $Sr_2LiSiO_4F:Eu^{2+}$  に比べて、H の存在により、励起帯・発光帯が長波長側にシフトすることが確認された。また、鱒淵 (A01) が見出した  $BaCN_2$  が、 $Eu^{2+}$  賦活により新規赤色長残光蛍光体となることも見出した。また圧力印可により、5d→4f 遷移発光波長の大きなレッドシフトが観測された。従来の圧力センサーであるルビー-R 線の 50 倍の感度 (19nm/GPa) であり、高压科学研究への応用が期待される。

このように、アニオン共存によるバンド制御を通じて、物質系に限定されない励起・発光波長の制御指針を確立できた。

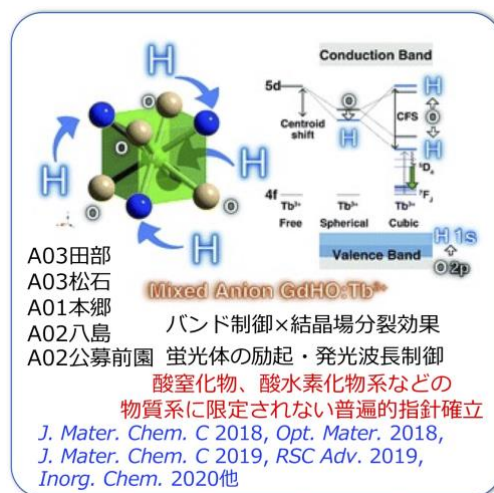


図 4. 複合アニオン蛍光体材料による励起・発光波長制御

### (3) 二次電池材料 (コンセプト A, D, J)

二次電池材料の研究では内本が中心となって、班内・班外の研究者との協働を通じて、リチウムイオン二次電池の正極材料を複合アニオン化することにより、電池特性の向上を図った。

リチウムイオン二次電池の代表的な正極活物質である  $LiFePO_4$  の充放電反応は Li-rich (LFP) 相と Li-poor (FP) 相の二相に分かれて進行する。その際の体積変化は 6.81% と大きく、入出力特性を妨げる原因となっている。この二相間の格子歪みを抑制し、高入出力化することを目的として、 $LiFePO_4$  のリン酸 ( $PO_4$ ) をケイ酸 ( $SiO_4$ ) で部分置換した

$Li(Fe_{0.95}Zr_{0.05})(P_{0.9}Si_{0.1})O_4$  を合成し、その特性評価と機構解明を行なった。 $Li(Fe_{0.95}Zr_{0.05})(P_{0.9}Si_{0.1})O_4$  は  $LiFePO_4$  と比較して入出力特性が向上し、最大 4.4 倍速で充放電可能となった。入出力密度の大小による相転移メカニズムの違いを調べるため、時間分解 X 線回折測定を行ったところ、高負荷時のみ出現することが報告されている準安定中間相 ( $L_xFP$  相) の挙動に大きな差が現れた。未置換体では  $L_xFP$  相は放電末期と 2 サイクル目以降の充電最初期においてのみで出現し、LFP 相との二相共存もしくは FP 相も含めた三相共存状態で存在した。それに対して置換体では  $L_xFP$  相は初期充電時から出現し、LFP 相/FP 相と二相共存・三相共存状態で存在しただけでなく、単相としても存在していた。 $L_xFP$  相が大きく固溶することで二相の界面における歪みを緩和し、スムーズな相転移反応が実現することで、高速充放電が可能になったと考えられる (図 5、前田、陰山 (A01 分担)、林 (A03 公募) による共同研究)。

次世代のリチウムイオン二次電池正極材料として期待されているリチウム過剰系正極は、カチオンである遷移金属に加え、アニオンである酸化物イオンも電荷補償に寄与することで  $300 \text{ mAh g}^{-1}$  以上の高い理論容量を示す。リチウム過剰系正極では、格子中の酸素脱離反応を抑制し、アニオンのレドックス反応を安定化させることが高容量化のための鍵となっている。酸化物イオンの電荷補償安定化による高容量化を目的として、Li 過剰系正極  $Li_{1.2}Ti_{0.4}Mn_{0.4}O_2$  の酸化物イオンの一部を窒素で置換した材料を合成し、その特性評価と機構解明を行なった。窒素置換  $Li_{1.2}Ti_{0.4}Mn_{0.4}O_2$  は未置換の材料に比べ、高い充放電容量を示した。軟 X 線吸収分光法の結果から窒素置換  $Li_{1.2}Ti_{0.4}Mn_{0.4}O_2$  の方が未置換体と比べ、充電過程における 0-2p 軌道中のホール形成が抑えられていることが明らかとなった。

酸素よりもエネルギー準位の高い窒素の置換によって、0-2p 軌道中のホール形成が抑えられ、高容量化に繋がったと考えられる (図 6、前田、陰山 (A01 分担)、桑原 (A02 分担) による共同研究)。また、フッ素置換したある種の遷移金属酸化物が従来のリチウム電池に匹敵するほどの高容量を示すことも発見した。

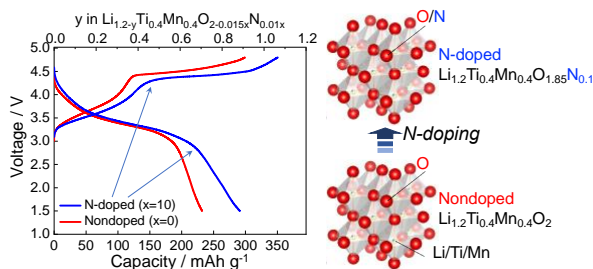


図 6. Li 過剰系正極  $Li_{1.2}Ti_{0.4}Mn_{0.4}O_2$  の表面窒化による高容量化。

### (4) 電子材料・熱電材料

#### 酸フッ化物系薄膜における新物性発現 (コンセプト A, D, E)

ペロブスカイト型酸化物薄膜系の検討において、金属的な  $NdNiO_3$  と絶縁性  $NdNiO_{3-x}F_x$  との間で

室温の電気抵抗が数桁も変化する可逆的な相転移が起こることを発見した(長谷川、関場 (A02 公募) による共同研究)。また、 $\text{NdNiO}_{3-x}\text{F}_x$  では幅広い波長域で光吸収が減少し、透明な薄膜となった。この光吸収の減少は、ペロブスカイトの B サイトカチオンである Ni の還元に伴う空の d 軌道の占有(d-d 遷移)や、フッ化に付随して起こる Ni-アニオンの軌道間相互作用の減少に対応すると考えられる。

また、長谷川、荻野 (A01 代表)、辻本 (A01 公募) の協働により、層状イリジウム酸フッ化物  $\text{Sr}_2\text{IrO}_{4-x}\text{F}_{2x}$  薄膜、クロム酸フッ化物  $\text{SrCrO}_{3-x}\text{F}_x$  薄膜を合成し、 $\text{Sr}_2\text{IrO}_{4-x}\text{F}_{2x}$  薄膜がクーロンギャップに関係したホッピング伝導モデルを示すこと、 $\text{SrCrO}_{3-x}\text{F}_x$  薄膜がフッ素置換により数桁も電気抵抗が上昇することを見出した。さらに、 $\text{Sr}_2\text{IrO}_{4-x}\text{F}_{2x}$ 、 $\text{SrCrO}_{3-x}\text{F}_x$  薄膜ともに、フッ素量  $x$  がバルク体より多くなることを明らかにした。これは、バルク体より薄膜の方がトポケミカルフッ化反応の反応性が高いためと考えられる。

アモルファス  $\text{ZnO}_x\text{N}_y$  薄膜が  $200 \text{ cm}^2 \text{ V}^{-1} \text{ s}^{-1}$  を超える高いモビリティを示すことを見出し、アモルファス電子伝導体における世界最高値を記録した(図7、長谷川、関場 (A02 公募) による共同研究)。さらに森との協働で同薄膜が低い熱伝導率をもつことを明らかとし、結果として高い熱電性能の新規系として見出された。

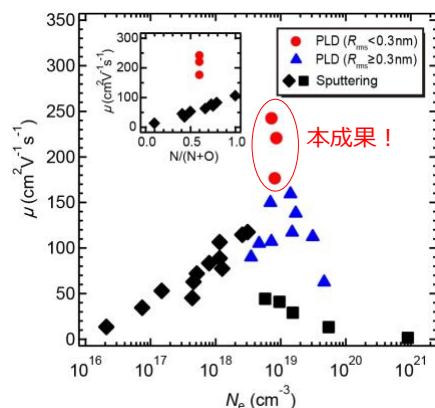
#### 酸水素化物における新物性発現 (コンセプト D、I)

H 置換が可能な層状複合アニオン強相関物質  $\text{LaMnPO}_{1-x}\text{H}_x$  において、 $x$  の増加に伴い反強磁性絶縁体から弱い強磁性( $x \approx 0.75$ )やメタ磁性( $x \approx 0.95$ )を示す遍歴電子磁性体に変化することを見出した(松石、南部 (A02 公募) による共同研究)。磁気転移温度以下の 2 K における粉末中性子回折の解析により、 $x = 0.75$  では、 $a$  軸方向を向いた Mn の電子スピン ( $2.28 \text{ } \mu\text{B}/\text{Mn}$ ) が MnP 層内で反平行、層間で反平行に配列した G 型反強磁性秩序が確認され、弱い強磁性 ( $0.57 \text{ } \mu\text{B}$ ) はモーメントの傾角によるものであることが示唆された。一方、 $x = 0.95$  では  $c$  軸方向を向いたスピン ( $1.74 \text{ } \mu\text{B}/\text{Mn}$ ) が層内で平行、層間で反平行に配列した A 型反強磁性であることが確認された。 $x = 0$  に対する量子化学計算は、 $x = 0.95$  で観測された A 型反強磁性を再現し、H 1s 軌道を介した面間の反強磁性的超交換相互作用を従来の強磁性的直接交換相互作用に拮抗させることで、磁場によって反強磁性から強磁性に変化するメタ磁性物質を設計できることを示した。

#### 熱電材料 (コンセプト B、C、E)

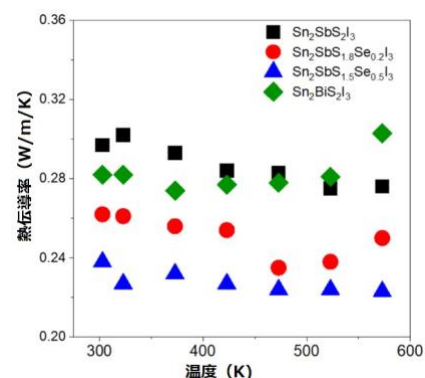
熱電高性能には、格子熱伝導率の低減は重要な要素であり、複合アニオン化による熱伝導率への作用を調べた。その結果、森、前田、陰山 (A01)、山本 (A02) の協働により、 $\text{Sn}_2\text{SbS}_{2-x}\text{Se}_x\text{I}_3$  複合アニオン化合物において、極端に低い熱伝導率を見出した(図8)。解析の結果、グリーンアイゼンのパラメータが、代表的な PbTe などの低熱伝導率の熱電材料より大きく、複合アニオン  $\text{Sn}_2\text{SbS}_{2-x}\text{Se}_x\text{I}_3$  の格子振動の強い非調和性が示された。一方で、マンガン-ニクトゲン-カルコハライド系複合アニオン化合物においても、極端に低い熱伝導率が見出され、複合アニオンの局所的な化学結合が熱伝導率低減の強力な原理であることが示された。資源豊富な鉱物系 CoSbS 系において、複合アニオン化のアプローチにより、硫黄サイトに過剰のテリリウムをドーピングすることにより、電氣的に最適化すると同時に熱伝導率の低減が得られ、性能指数の 100% の大幅な増大に成功した。

このように、いずれの材料開発研究においても 1:1 のグループ間共同研究だけでなく、合成 (A01)、解析 (A02) を含めた 3 グループ以上による有機的な連携に基づいた共同研究が活発に行われた。その結果、複合アニオン化合物の機能創出コンセプト(図1)に基づいた学理面での整理・統合的理解を含め、A03 班のミッションである機能創出に関して多くの有用な知見を得ることに成功した。



長谷川、A02公募関場 *Appl. Phys. Lett.* 2016  
非晶質の半導体として**最高のキャリア移動度**をもつ、アモルファス $\text{ZnO}_x\text{N}_y$ 薄膜

図7. 高いキャリア移動度をもつアモルファス  $\text{ZnO}_x\text{N}_y$  薄膜の発見.



$\text{Sn}_2\text{SbS}_{2-x}\text{Se}_x\text{I}_3$  における**極低熱伝導率**を実現!  
三種複合アニオンで特に顕著

図8. 複合アニオン  $\text{Sn}_2\text{SbS}_{2-x}\text{Se}_x\text{I}_3$  系の熱伝導率.

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計308件（うち査読付論文 290件 / うち国際共著 112件 / うちオープンアクセス 47件）

1. 著者名 Nakada Akinobu, Kumagai Hiromu, Robert Marc, Ishitani Osamu, Maeda Kazuhiko	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Molecule/Semiconductor Hybrid Materials for Visible-Light CO <sub>2</sub> Reduction: Design Principles and Interfacial Engineering	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Accounts of Materials Research	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/accountsmr.1c00060	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Kitagawa Yuuki, Ueda Jumpei, Arai Kazunari, Kageyama Hiroshi, Tanabe Setsuhisa	4. 巻 129
2. 論文標題 Difference of Eu <sup>3+</sup> Luminescent properties in YOCl and YOBr oxyhalide hosts	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 183104-183104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/5.0049826	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Maeda Kazuhiko, Hirayama Naoki, Nakata Hiroko, Oka Kengo	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Improvement of a Pb <sub>2</sub> Ti <sub>2</sub> O <sub>5</sub> .4F <sub>1.2</sub> Photoanode for Solar Water Splitting by Refining the Cocatalyst and Electrolyte	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Bulletin of the Chemical Society of Japan	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/bcsj.20210143	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Nakamura Masashi, Watanabe Hiroshi, Akamatsu Hirofumi, Fujii Kotaro, Yashima Masatomo, Hasegawa George, Inada Miki, Hayashi Katsuro, Maeda Kazuhiko	4. 巻 33
2. 論文標題 Sn-Based Perovskite with a Wide Visible-Light Absorption Band Assisted by Hydride Doping	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Chemistry of Materials	6. 最初と最後の頁 3631-3638
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.chemmater.1c00460	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiko Maeda, Naoki Hirayama, Hiroko Nakata, Haruki Wakayama, Kengo Oka	4. 巻 124
2. 論文標題 Oxyfluoride Pb <sub>2</sub> Ti <sub>4</sub> O <sub>9</sub> F <sub>2</sub> as a Stable Anode Material for Photoelectrochemical Water Oxidation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Phys. Chem. C	6. 最初と最後の頁 1844-1850
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.9b09969	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masashi Nakamura, Kenji Oqmhula, Keishu Utimula, Miharuru Eguchi, Kengo Oka, Kenta Hongo, Ryo Maezono, Kazuhiko Maeda	4. 巻 15
2. 論文標題 Light Absorption Properties and Electronic Band Structures of Lead-Vanadium Oxyhalide Apatites Pb <sub>5</sub> (VO <sub>4</sub> ) <sub>3</sub> X (X = F, Cl, Br, I)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Chem. Asian J.	6. 最初と最後の頁 540-545
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/asia.201901692	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hideyuki Tanaka, Tomoki Uchiyama, Nozomi Kawakami, Megumi Okazaki, Yoshiharu Uchimoto, Kazuhiko Maeda	4. 巻 12
2. 論文標題 Water Oxidation through Interfacial Electron Transfer by Visible Light Using Cobalt-Modified Rutile Titania Thin-Film Photoanode	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 9219-9225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.9b20793	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Selective metathesis synthesis of MgCr <sub>2</sub> S <sub>4</sub> by control of thermodynamic driving forces	4. 巻 7
2. 論文標題 Akira Miura, Hiroki Ito, Christopher J. Bartel, Wenhao Sun, Nataly Carolina Rosero-Navarro, Kiyoharu Tadanaga, Hiroko Nakata, Kazuhiko Maeda, Gerbrand Ceder	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mater. Horiz.	6. 最初と最後の頁 1310-1316
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9MH01999E	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takayoshi Oshima, Tom Ichibha, Kenji Oqmhula, Keisuke Hibino, Shunsuke Yamashita, Kotaro Fujii, Yugo Miseki, Kenta Hongo, Daling Lu, Ryo Maezono, Kazuhiro Sayama, Masatomo Yashima, Koji Kimoto, Hideki Kato, Masato Kakahana, Hiroshi Kageyama, Kazuhiko Maeda	4. 巻 59
2. 論文標題 Two-Dimensional Perovskite Oxynitride K <sub>2</sub> LaTa <sub>2</sub> O <sub>6</sub> N with an H <sup>+</sup> /K <sup>+</sup> Exchangeability in Aqueous Solution to Form Stable Photocatalyst for Visible-Light H <sub>2</sub> Evolution	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Angew. Chem. Int. Ed.	6. 最初と最後の頁 9736-9743
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/anie.202002534	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bing Ma, Gui Chen, Claire Fave, Lingjing Chen, Ryo Kuriki, Kazuhiko Maeda, Osamu Ishitani, Tai-Chu Lau, Julien Bonin, Marc Robert	4. 巻 142
2. 論文標題 Efficient Visible-Light Driven CO <sub>2</sub> Reduction by a Cobalt Molecular Catalyst Covalently Linked to Mesoporous Carbon Nitride	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Am. Chem. Soc.	6. 最初と最後の頁 6188-6195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.9b13930	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Haruki Wakayama, Kosaku Kato, Kodai Kashihara, Tomoki Uchiyama, Akinobu Miyoshi, Hiroko Nakata, Daling Lu, Kengo Oka, Akira Yamakata, Yoshiharu Uchimoto, Kazuhiko Maeda	4. 巻 8
2. 論文標題 Activation of a Pt-loaded Pb <sub>2</sub> Ti <sub>2</sub> O <sub>5</sub> .4F <sub>1.2</sub> photocatalyst by alkaline chloride treatment for improved H <sub>2</sub> evolution under visible light	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. A	6. 最初と最後の頁 9099-9108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0TA02883E	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoki Kanazawa, Kosaku Kato, Ryusei Yamaguchi, Tomoki Uchiyama, Daling Lu, Shunsuke Nozawa, Akira Yamakata, Yoshiharu Uchimoto, Kazuhiko Maeda	4. 巻 10
2. 論文標題 Cobalt Aluminate Spinel as a Cocatalyst for Photocatalytic Oxidation of Water: Significant Hole-Trapping Effect	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ACS Catal.	6. 最初と最後の頁 4960-4966
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscatal.0c00944	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Megumi Okazaki, Yoshiki Suganami, Naoki Hirayama, Hiroko Nakata, Tomoya Oshikiri, Toshiyuki Yokoi, Hiroaki Misawa, Kazuhiko Maeda	4. 巻 3
2. 論文標題 Site-Selective Deposition of a Cobalt Cocatalyst onto a Plasmonic Au/TiO <sub>2</sub> Photoanode for Improved Water Oxidation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ACS Appl. Energy Mater.	6. 最初と最後の頁 5142-5146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsaem.0c00857	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hao-Dong Yang, Jun-Hao Huang, Kengo Shibata, Daling Lu, Kazuhiko Maeda, Chechia Hu	4. 巻 4
2. 論文標題 Boosting photocatalytic H <sub>2</sub> O <sub>2</sub> production by coupling of sulfuric acid and 5-sulfosalicylic acid incorporated polyaniline with g-C <sub>3</sub> N <sub>4</sub>	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sustainable Energy Fuels	6. 最初と最後の頁 4186-4195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0SE00337A	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kazuhiko Maeda, Haruki Wakayama, Yasuhito Washio, Asako Ishikawa, Megumi Okazaki, Hiroko Nakata, Satoru Matsuishi	4. 巻 124
2. 論文標題 Visible-Light-Induced Photocatalytic Activity of Stacked MXene Sheets of Y <sub>2</sub> CF <sub>2</sub>	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Phys. Chem. C	6. 最初と最後の頁 14640-14645
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.0c03072	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ya Tang, Kosaku Kato, Takayoshi Oshima, Hiroto Mogi, Akinobu Miyoshi, Kotaro Fujii, Kei-ichi Yanagisawa, Koji Kimoto, Akira Yamakata, Masatomo Yashima, Kazuhiko Maeda	4. 巻 59
2. 論文標題 Synthesis of Three-layer Perovskite Oxynitride K <sub>2</sub> Ca <sub>2</sub> Ta <sub>3</sub> O <sub>9</sub> N-2H <sub>2</sub> O and Photocatalytic Activity for H <sub>2</sub> Evolution under Visible Light	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Inorg. Chem.	6. 最初と最後の頁 11122-11128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01607	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanemichi Muraoka, Miharū Eguchi, Osamu Ishitani, Fran-ois Chevir-, Kazuhiko Maeda	4. 巻 55
2. 論文標題 Selective CO <sub>2</sub> reduction into formate using Ln-Ta oxynitrides combined with a binuclear Ru(II) complex under visible light	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Energy Chem.	6. 最初と最後の頁 176-182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jechem.2020.06.064	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takayoshi Oshima, Shunta Nishioka, Yuka Kikuchi, Shota Hirai, Kei-ichi Yanagisawa, Miharū Eguchi, Yugo Miseki, Toshiyuki Yokoi, Tatsuto Yui, Koji Kimoto, Kazuhiro Sayama, Osamu Ishitani, Thomas E. Mallouk, Kazuhiko Maeda	4. 巻 142
2. 論文標題 An Artificial Z-Scheme Constructed from Dye-Sensitized Metal Oxide Nanosheets for Visible Light-Driven Overall Water Splitting	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Am. Chem. Soc.	6. 最初と最後の頁 8412-8420
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.0c02053	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Akinobu Miyoshi, Kosaku Kato, Toshiyuki Yokoi, Jan J. Wiesfeld, Kiyotaka Nakajima, Akira Yamakata, Kazuhiko Maeda	4. 巻 8
2. 論文標題 Nano vs. bulk rutile TiO <sub>2</sub> :N,F in Z-scheme overall water splitting under visible light	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. A	6. 最初と最後の頁 11996-12002
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0TA04450D	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoki Kanazawa, Ryusei Yamaguchi, Tomoki Uchiyama, Daling Lu, Shunsuke Nozawa, Yoshiharu Uchimoto, Kazuhiko Maeda	4. 巻 4
2. 論文標題 Structure Activity Relationship in a Cobalt Aluminate Nanoparticle Cocatalyst with a Graphitic Carbon Nitride Photocatalyst for Visible Light Water Oxidation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ChemPhotoChem	6. 最初と最後の頁 5175-5180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cptc.202000086	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shunta Nishioka, Takayoshi Oshima, Shota Hirai, Daiki Saito, Thomas E. Mallouk, Kazuhiko Maeda	4. 巻 11
2. 論文標題 Excited Carrier Dynamics in a Dye-Sensitized Niobate Nanosheet Photocatalyst for Visible-Light Hydrogen Evolution	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ACS Catal.	6. 最初と最後の頁 659-669
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscatal.0c04803	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Akinobu Miyoshi, Akihideo Kuwabara, Kazuhiko Maeda	4. 巻 60
2. 論文標題 Effects of Nitrogen/Fluorine Codoping on Photocatalytic Rutile TiO <sub>2</sub> Crystal Studied by First-Principles Calculations	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Inorg. Chem.	6. 最初と最後の頁 2381-2389
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c03262	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akinobu Miyoshi, Kazuhiko Maeda	4. 巻 in press
2. 論文標題 Recent Progress in Mixed-Anion Materials for Solar Fuel Production	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Solar RRL	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/solr.202000521	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe, Aruto; Yamamoto, Kentaro; Uchiyama, Tomoki; Matsunaga, Toshiyuki; Hayashi, Akitoshi; Maeda, Kazuhiko; Kageyama, Hiroshi; Uchimoto, Yoshiharu	4. 巻 3
2. 論文標題 Capacity Improvement by Nitrogen-doping to Lithium Rich Cathode Materials with Stabilization Effect of Oxide Ions Redox	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ACS Applied Energy Materials	6. 最初と最後の頁 4162-4167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsaem.0c00564	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Y. Masubuchi, S. Nishitani, S. Miyazaki, H. Hua, J. Ueda, M. Higuchi, S. Tanabe,	4. 巻 13
2. 論文標題 Large red-shift of luminescence from BaCN2:Eu2+ red phosphor under high pressure	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Appl. Phys. Express	6. 最初と最後の頁 042009(3p)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1882-0786/ab8055	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Back Michele, Casagrande Elisa, Brondin Carlo A., Ambrosi Emmanuele, Cristofori Davide, Ueda Jumpei, Tanabe Setsuhisa, Trave Enrico, Riello Pietro	4. 巻 3
2. 論文標題 Lanthanide-Doped Bi2SiO5@SiO2 Core-Shell Upconverting Nanoparticles for Stable Ratiometric Optical Thermometry	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ACS Applied Nano Materials	6. 最初と最後の頁 2594 ~ 2604
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsnm.0c00003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 J. Ueda, T. Wylezich, N. Kunkel, S. Tanabe,	4. 巻 8
2. 論文標題 Red Luminescent Eu2+ in K2MgH4 and Comparison with KMgH3	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. C	6. 最初と最後の頁 5124-5130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9TC06459A	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 H. Ji, X. Hou, M. Molochev, J. Ueda, S. Tanabe, M. Brik, Z. Zhang, Y. Wang, D. Chen,	4. 巻 49
2. 論文標題 Ultrabroadband Red Luminescence of Mn4+ in Spinel Peaking at 651 nm	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Dalton Trans.	6. 最初と最後の頁 5711-5721
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0DT00931H	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する



1. 著者名 Casagrande Elisa, Back Michele, Cristofori Davide, Ueda Jumpei, Tanabe Setsuhisa, Palazzolo Stefano, Rizzolio Flavio, Canzonieri Vincenzo, Trave Enrico, Riello Pietro	4. 巻 8
2. 論文標題 Upconversion-mediated Boltzmann thermometry in double-layered Bi <sub>2</sub> SiO <sub>5</sub> :Yb <sup>3+</sup> ,Tm <sup>3+</sup> @SiO <sub>2</sub> hollow nanoparticles	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Materials Chemistry C	6. 最初と最後の頁 7828 ~ 7836
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0TC01457E	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 H. Ji, Z. Zhang, J. Xu, S. Tanabe, D. Chen, R. Xie,	4. 巻 8
2. 論文標題 Advance in Red-Emitting Mn <sup>4+</sup> -activated Oxyfluoride Phosphors	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Inorg. Mater.	6. 最初と最後の頁 847-856
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15541/jim20190554	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 M. Back, J. Ueda, M. Brik, S. Tanabe,	4. 巻 12
2. 論文標題 Pushing the Limit of Boltzmann Distribution in Cr <sup>3+</sup> -doped CaHfO <sub>3</sub> for Cryogenic Thermometry	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 38325-38332
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.0c08965	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 J. Ueda, M. Harada, S. Miyano, A. Yamada, S. Tanabe,	4. 巻 22
2. 論文標題 Pressure-Induced Variation of Persistent Luminescence Characteristics in Y <sub>3</sub> Al <sub>5</sub> -xGaxO <sub>12</sub> :Ce <sup>3+</sup> -M <sup>3+</sup> (M=Yb, Cr) Phosphors: Opposite Trend of Trap Depth for 4f and 3d Metal Ions	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Phys. Chem. Chem. Phys.	6. 最初と最後の頁 19502-19511
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0CP03520C	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Castaing Victor, Monteiro Charlotte, Sontakke Atul D., Asami Kazuki, Xu Jian, Fernandez-Carriñan Alberto J., Brik Mikhail G., Tanabe Setsuhisa, Allix Mathieu, Viana Bruno	4. 巻 49
2. 論文標題 Hexagonal Sr <sup>1+x</sup> /2Al <sup>2-x</sup> SixO <sub>4</sub> :Eu <sup>2+</sup> , Dy <sup>3+</sup> transparent ceramics with tuneable persistent luminescence properties	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Dalton Transactions	6. 最初と最後の頁 16849 ~ 16859
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0DT03137B	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Back Michele, Casagrande Elisa, Trave Enrico, Cristofori Davide, Ambrosi Emmanuele, Dallo Federico, Roman Marco, Ueda Jumpei, Xu Jian, Tanabe Setsuhisa, Benedetti Alvisè, Riello Pietro	4. 巻 12
2. 論文標題 Confined-Melting-Assisted Synthesis of Bismuth Silicate Glass-Ceramic Nanoparticles: Formation and Optical Thermometry Investigation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ACS Applied Materials & Interfaces	6. 最初と最後の頁 55195 ~ 55204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsmi.0c17897	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Wang Zhaowu, Ji Haipeng, Xu Jian, Hou Xinghui, Ueda Jumpei, Tanabe Setsuhisa, Yi Shasha, Zhou Ying, Chen Deliang	4. 巻 59
2. 論文標題 Microsized Red Luminescent MgAl <sub>2</sub> O <sub>4</sub> :Mn <sup>4+</sup> Single-Crystal Phosphor Grown in Molten Salt for White LEDs	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Inorganic Chemistry	6. 最初と最後の頁 18374 ~ 18383
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c03005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kitagawa Yuuki, Yukihiro Eduardo G., Tanabe Setsuhisa	4. 巻 232
2. 論文標題 Development of Ce <sup>3+</sup> and Li <sup>+</sup> co-doped magnesium borate glass ceramics for optically stimulated luminescence dosimetry	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Luminescence	6. 最初と最後の頁 117847
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jlumin.2020.117847	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ueda Jumpei, Miyano Shun, Xu Jian, Dorenbos Pieter, Tanabe Setsuhisa	4. 巻 2
2. 論文標題 Development of White Persistent Phosphors by Manipulating Lanthanide Ions in Gadolinium Gallium Garnets	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Advanced Photonics Research	6. 最初と最後の頁 2000102 ~ 2000102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/adpr.202000102	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takuto Wakasugi, Yasushi Hirose, Shoichiro Nakao, Yuki Sugisawa, Daiichiro Sekiba, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 5
2. 論文標題 High-Quality Heteroepitaxy of Perovskite Oxynitride CaTaO <sub>2</sub> N Thin Films: Importance of Interfacial Symmetry Matching between Film and Substrate	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ACS omega	6. 最初と最後の頁 13396-13402
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsomega.0c01601	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hao Chen, Yasushi Hirose, Kousuke Nakagawa, Kenta Imoto, Shin-ichi Ohkoshi, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 116
2. 論文標題 Non-metallic electrical transport properties of a metastable $\delta$ -Ti <sub>3</sub> O <sub>5</sub> thin film epitaxially stabilized on a pseudobrookite seed layer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Appl. Phys. Lett.	6. 最初と最後の頁 201904 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/5.0008888	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoonsang Park, Joseph Roth, Daichi Oka, Yasushi Hirose, Tetsuya Hasegawa, Arpita Paul, Alexej Pogrebnjakov, Venkatraman Gopalan, Turan Biroi, Roman Engel-Herbert	4. 巻 3
2. 論文標題 SrNbO <sub>3</sub> as transparent conductor in the visible and ultraviolet spectrum	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Commun. Phys.	6. 最初と最後の頁 102 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42005-020-0372-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takahiro Maruyama, Akira Chikamatsu, Tsukasa Katayama, Kenta Kuramochi, Hiraku Ogino, Miho Kitamura, Koji Horiba, Hiroshi Kumigashira, Tetsuya Hasegawa	4. 巻 8
2. 論文標題 Influence of fluorination on electronic states and electron transport properties of Sr2IrO4 thin films	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. C	6. 最初と最後の頁 8268-8274
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/d0tc01734e	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akira Chikamatsu, Tsukasa Katayama, Takahiro Maruyama, Miho Kitamura, Koji Horiba, Hiroshi Kumigashira, Hiroki Wadati, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 118
2. 論文標題 Investigation of the electronic states of A-site layer-ordered double perovskite YBaCo2O <sub>x</sub> (x = 5.3 and 6) thin films by X-ray spectroscopy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Appl. Phys. Lett.	6. 最初と最後の頁 012401-1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/5.0031096	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasushi Hirose and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 94
2. 論文標題 Exploring Metastable Oxynitrides by Thin Film Growth Approach	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Bulletin of the Chemical Society of Japan	6. 最初と最後の頁 1355-1363
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/bcsj.20210033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Quansheng Guo, Hyoungwon Son, and Takao Mori	4. 巻 3
2. 論文標題 Rational Design of Spinel-Type Cu <sub>4</sub> Mn <sub>2</sub> Te <sub>4</sub> /TMTe (TM = Co, Ni) Composites with Synergistically Manipulated Electrical and Thermal Transport Properties	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ACS Applied Energy Materials	6. 最初と最後の頁 2096-2102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsaem.9b02135	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Hyoung-Won Son, Philipp Sauerschnig, David Berthebaud, and Takao Mori	4. 巻 128
2. 論文標題 Rapid synthesis of thermoelectric YB22C2N via spark plasma sintering with gas/solid reaction technology	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of the Ceramic Society of Japan, Express Letters	6. 最初と最後の頁 181-185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2109/jcersj2.19216	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Andrei Novitskii, Gabin Gu-lou, Andrei Voronin, Takao Mori, Vladimir Khovaylo	4. 巻 187
2. 論文標題 Direct synthesis of p-type bulk BiCuSeO oxyselenides by reactive spark plasma sintering and related thermoelectric properties	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scripta Materialia	6. 最初と最後の頁 317-322
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scriptamat.2020.06.043	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shiyong Liu, Guojian Li, Mingdi Lan, Miaoyong Zhu, Takao Mori, and Qiang Wang	4. 巻 124
2. 論文標題 Improvement of Thermoelectric Properties of Evaporated ZnO:Al Films by CNT and Au Nanocomposites	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Phys. Chem. C.	6. 最初と最後の頁 12713-12722
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.0c01311	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wenhao Zhang, Naoki Sato, Kazuki Tobita, Kaoru Kimura, and Takao Mori	4. 巻 32
2. 論文標題 Unusual Lattice Dynamics and Anisotropic Thermal Conductivity in In2Te5 Due to a Layered Structure and Planar-Coordinated Te-Chains	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Chemistry of Materials	6. 最初と最後の頁 5335-5342
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.chemmater.0c01710	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 C-dric Bourg-s, Naoki Sato, Takahiro Baba, Tetsuya Baba, Isao Ohkubo, Naohito Tsujii, and Takao Mori	4. 巻 10
2. 論文標題 Drastic power factor improvement by Te doping of rare earth-free CoSb <sub>3</sub> -skutterudite thin films	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 RSC Advances	6. 最初と最後の頁 21129 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/d0ra02699a	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Bhuvanesh Srinivasan, David Berthebaud, and Takao Mori	4. 巻 13
2. 論文標題 Is Lil a Potential Dopant Candidate to Enhance the Thermoelectric Performance in Sb-free GeTe Systems- A Prelusive Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Energy	6. 最初と最後の頁 643 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/en13030643	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takahiro Baba, Tetsuya Baba, Takao Mori	4. 巻 -
2. 論文標題 Experimental investigation of reciprocity of temperature response across two layer samples by flash method	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Review of Scientific Instruments	6. 最初と最後の頁 14905 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.5124799	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 P. Sauerschnig, J.B. Vaney, Y. Michiue, K. Kouzu, T. Yamasaki, S. Okada, A. Yoshikawa, T. Shishido, and T. Mori	4. 巻 40
2. 論文標題 Thermoelectric and magnetic properties of spark plasma sintered REB66 (RE = Y, Sm, Ho, Tm, Yb)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of the European Ceramic Society	6. 最初と最後の頁 3585-3591
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jeurceramsoc2020.03.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Arthur Huguenot, Aur-lien Riot, Beno-t Boucher, Bruno Fontaine, St-phane Cordier, Rabi Al Rahal Al Orabi, Harald Hillebrecht, Takao Mori, Jean-Fran-ois Halet, and R-gis Gautier	4. 巻 104
2. 論文標題 Is the alumino-boron carbide Al <sub>3</sub> BC a promising thermoelectric material- A computational exploration	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Solid State Sciences	6. 最初と最後の頁 106205 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.solidstatesciences.2020.106205	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Juliette Simon, Gabin Gu-lou, Bhuvanesh Srinivasan, David Berthebaud, Takao Mori, Antoine Maignan	4. 巻 819
2. 論文標題 Exploring the thermoelectric behavior of Spark Plasma Sintered Fe <sub>7</sub> -xCoxS <sub>8</sub> compounds	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Alloys and Compounds	6. 最初と最後の頁 152999 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jallcom.2019.152999	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hyoung-Won Son, David Berthebaud, Kunio Yubuta, Akira Yoshikawa, Toetsu Shishido, Keiko Suzuta, and Takao Mori	4. 巻 10
2. 論文標題 New Synthesis Route for Complex Borides; Rapid Synthesis of Thermoelectric Yttrium Aluminoboride via Liquid-Phase Assisted Reactive Spark Plasma Sintering	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 8914 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-65818-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 I. Ohkubo and T. Mori	4. 巻 49
2. 論文標題 dz <sub>2</sub> Orbital Character of Polyhedra in Complex Transition-Metal Compounds	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Dalton Transactions	6. 最初と最後の頁 431-437
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9DT04091A	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 N. Nandihalli, C. J. Liu, and T. Mori	4. 巻 78
2. 論文標題 Polymer based thermoelectric nanocomposite materials and devices: Fabrication and characteristics	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nano Energy	6. 最初と最後の頁 105186 1-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nanoen.2020.105186. 1-29	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Zihang Liu, Naoki Sato, Quansheng Guo, Weihong Gao, and Takao Mori	4. 巻 12
2. 論文標題 Shaping the Role of Germanium Vacancies in Germanium Telluride: Stabilization of The Metastable Cubic Structure, Band Structure Modification, and Stable N-type Conduction	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 NPG Asia Materials	6. 最初と最後の頁 66 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41427-020-00247-y	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Bhuvanesh Srinivasan, Sylvain Le Tonquesse, Alain Gell-, C-dric Bourg-s, Leo Monier, Isao Ohkubo, Jean-Fran-ois Halet, David Berthebaud, and Takao Mori	4. 巻 8
2. 論文標題 Screening of Transition (Y, Zr, Hf, V, Nb, Mo, and Ru) and Rare-earth (La, Pr) Elements as Potential Effective Dopants for Thermoelectric GeTe - an Experimental and Theoretical Appraisal	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Materials Chemistry A	6. 最初と最後の頁 19805-19821
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0TA06710E	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Weihong Gao, Zihang Liu, Takahiro Baba, Quansheng Guo, Dai-Ming Tang, Naoyuki Kawamoto, Ernst Bauer, Naohito Tsujii, and Takao Mori	4. 巻 200
2. 論文標題 Significant Off-Stoichiometry Effect Leading To the N-Type Conduction and Ferromagnetic Properties in Titanium Doped Fe <sub>2</sub> VAI Thin Films	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Acta Materialia	6. 最初と最後の頁 848-856
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.actamat.2020.09.067	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する



1. 著者名 Zihang Liu, Weihong Gao, Wenhao Zhang, Naoki Sato, Quansheng Guo, and Takao Mori	4. 巻 10
2. 論文標題 High Power Factor and Enhanced Thermoelectric Performance in Sc and Bi codoped GeTe: Insights into the Hidden Role of Rhombohedral Distortion Degree	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Advanced Energy Materials	6. 最初と最後の頁 2002588 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/aenm.202002588 1-8	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Isao Ohkubo, Zhufeng Hou, Jiyeon Lee, Takashi Aizawa, Mikk Lippmaa, Toyohiro Chikyow, Koji Tsuda, and Takao Mori	4. 巻 16
2. 論文標題 Realization of closed-loop optimization of epitaxial titanium nitride thin-film growth via machine learning	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Materials Today Physics	6. 最初と最後の頁 100296
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.mtphys.2020.100296	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Raymond V. Rivera Virtudazo, Bhuvanesh Srinivasan, Quansheng Guo, Rudder Wu, Toshiaki Takei, Yuta Shimasaki, Hiroaki Wada, Kazuyuki Kuroda, Slavko Bernik, and Takao Mori	4. 巻 7
2. 論文標題 Improvement in the thermoelectric properties of porous networked Al-doped ZnO nanostructured materials synthesized via an alternative interfacial reaction and low-pressure SPS processing	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Inorganic Chemistry Frontiers	6. 最初と最後の頁 4118-4132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0QI00888E	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuichi Michiue, Hyoung-Won Son and Takao Mori	4. 巻 53
2. 論文標題 Utilizing a unified structure model in (3+1)-dimensional superspace to identify a homologous phase (Ga <sub>1-x</sub> Al <sub>x</sub> ) <sub>2</sub> O <sub>3</sub> (ZnO) <sub>m</sub> in ZnO-based thermoelectric composites	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Applied Crystallography	6. 最初と最後の頁 1542-1549
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1107/S1600576720013898	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 N. Nandihalli, R. Liang, S. Gorsse, T. Mori, N. Zhou, and H. Kleinke	4. 巻 260
2. 論文標題 Transport properties of a molybdenum antimonide-telluride with dispersed NiSb nanoparticles	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Materials Chemistry and Physics	6. 最初と最後の頁 124061 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.matchemphys.2020.124061	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 C-dric Bourg-s, Bhuvanesh Srinivasan, Bruno Fontaine, Philipp Sauerschnig, Aliz-e Minard, Jean-Fran-ois Halet, Yuzuru Miyazaki, David Berthebaud, and Takao Mori	4. 巻 8
2. 論文標題 Tailoring the Thermoelectric and Structural Properties of Cu-Sn Based Thiospinel Compounds [CuM1+xSn1-xS4 (M = Ti, V, Cr, Co)]	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Materials Chemistry C	6. 最初と最後の頁 16368-16383
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0TC04393A	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Quansheng Guo, Wenhao Zhang, Zihang Liu, Xiuwei Fu, Sylvain Le Tonquesse, Naoki Sato, Hyoung-Won Son, Kiyoshi Shimamura, David Berthebaud, and Takao Mori	4. 巻 13
2. 論文標題 Thermoelectric Performance of Cr-Doped and Cr-Fe Double-Doped Higher Manganese Silicides with Adjusted Carrier Concentration and Significant Electron-Phonon Interaction	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ACS Applied Materials & Interfaces	6. 最初と最後の頁 8574-8583
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.0c21484	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Weihong Gao, Zihang Liu, Wenhao Zhang, Naoki Sato, Quansheng Guo, and Takao Mori	4. 巻 118
2. 論文標題 Improved Thermoelectric Performance of GeTe via Efficient Yttrium Doping	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Applied Physics Letters	6. 最初と最後の頁 33901
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/5.0038957	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mariana S. L. Lima, Takashi Aizawa, Isao Ohkubo, Takeaki Sakurai, and Takao Mori	4. 巻 60
2. 論文標題 Improvement of power factor in the room temperature range of Mg <sub>2</sub> Sn <sub>1-x</sub> Gex	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 SBBF06
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1347-4065/abd9cd	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takao Mori, Takashi Aizawa, Sankaranarayanan N. Vijayaraghavan, Naoki Sato	4. 巻 32
2. 論文標題 Fabrication and Thermoelectric Properties of Chromium Silicide Thin Films	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sensor and Materials	6. 最初と最後の頁 2433-2441
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18494/SAM.2020.2889	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sylvain Le Tonquesse, Loic Joanny, Quansheng Guo, Erik Elkaim, Val-rie Demange, David Berthebaud, Takao Mori, Mathieu Pasturel, and Carmelo Prestipino	4. 巻 32
2. 論文標題 Influence of Stoichiometry and Aging at Operating Temperature on Thermoelectric Higher Manganese Silicides	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Chemistry of Materials	6. 最初と最後の頁 10601-10609
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.chemmater.0c03714	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshinori Imai, Koya Sasaki, Takuya Aoyama, Kenji Shirasaki, Tomoo Yamamura, and Kenya Ohgushi	4. 巻 101
2. 論文標題 High-pressure synthesis of heavily hole-doped cuprates Mg <sub>1-x</sub> Li <sub>x</sub> Cu <sub>2</sub> O <sub>3</sub> with quasi-one-dimensional structure	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Physical review B	6. 最初と最後の頁 245112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1103/PhysRevB.101.245112	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Satoshi Imaizumi, Takuya Aoyama, Ryota Kimura, Koya Sasaki, Yusuke Nambu, Maxim Avdeev, Yasuyuki Hirata, Yuka Ikemoto, Taro Moriwaki, Yoshinori Imai, and Kenya Ohgushi	4. 巻 102
2. 論文標題 Structural, electrical, magnetic, and optical properties of iron-based ladder compounds BaFe <sub>2</sub> (S <sub>1-x</sub> Se <sub>x</sub> ) <sub>3</sub>	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Physical review B	6. 最初と最後の頁 35104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1103/PhysRevB.102.035104	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Mina Murase, Kaoru Okada, Yoshiaki Kobayashi, Yasuyuki Hirata, Kazuki Hashizume, Takuya Aoyama, Kenya Ohgushi, and Masayuki Itoh	4. 巻 102
2. 論文標題 Successive magnetic transitions and spin structure in the two-leg ladder compound CsFe <sub>2</sub> Se <sub>3</sub> observed by <sup>133</sup> Cs and <sup>77</sup> Se NMR	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Physical review B	6. 最初と最後の頁 14433
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1103/PhysRevB.102.014433	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hosoi S., Aoyama T., Ishida K., Mizukami Y., Hashizume K., Imaizumi S., Imai Y., Ohgushi K., Nambu Y., Kimata M., Kimura S., Shibauchi T.	4. 巻 2
2. 論文標題 Dichotomy between orbital and magnetic nematic instabilities in BaFe <sub>2</sub> S <sub>3</sub>	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Physical Review Research	6. 最初と最後の頁 なし
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1103/PhysRevResearch.2.043293	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 由井樹人・斎藤翔太・池田隼人	4. 巻 71
2. 論文標題 二次元層を用いた金属ナノ粒子の合成	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 化学工業	6. 最初と最後の頁 24-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 由井樹人	4. 巻 141
2. 論文標題 反応環境を考える	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 カーボン・エネルギーコントロール社会協議会 ニュース	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 M.R.I.B. Misran, N. Nunotani, S. Tamura, N. Imanaka	4. 巻 8
2. 論文標題 Enhancement of Bromide Ion Conductivity in Lanthanum Oxybromide Based Solids by Doping Divalent Zinc Ion with High Electronegativity	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Asian Ceramic Societies	6. 最初と最後の頁 925-929
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21870764.2020.1793877	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 M.R.I.B. Misran, S. Tamura, N. Nunotani, and N. Imanaka	4. 巻 in press
2. 論文標題 Improvement of Bromide Ion Conduction in a Lanthanum Oxybromide-Based Solid by Adjusting the Electronegativity of the Cation Dopant	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Materials Letters	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.matlet.2020.129211	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 K. Shitara, A. Kuwabara, K. Hibino, K. Fujii, M. Yashima, J.R. Hester, M. Umeda, N. Nunotani, and N. Imanaka	4. 巻 50
2. 論文標題 Ionic conduction mechanism in Ca-doped Lanthanum Oxychloride	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Dalton Transactions	6. 最初と最後の頁 151-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0DT02502J	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 C.W. Hsu, K. Awaya, M. Tsushida, T. Sato, M. Koinuma, S. Ida	4. 巻 5
2. 論文標題 Preparation of Ta3N5 Nanosheet by Nitridation of Monolayer Tantalum Oxide Nanosheet	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ChemistrySelect	6. 最初と最後の頁 13761-13765
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/slct.202004129	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 C.W. Hsu, K. Awaya, M. Tsushida, T. Miyano, M. Koinuma, S. Ida	4. 巻 124
2. 論文標題 Water Splitting Using a Photocatalyst with Single-Atom Reaction Sites	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of physical Chemistry C	6. 最初と最後の頁 20846-20853
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.0c03132	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 K. Awaya, S. Ida	4. 巻 56
2. 論文標題 A perfectly oriented, free-standing and transparent titania nanosheet film with the band gap of a monolayer	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Chemical Communications	6. 最初と最後の頁 9811-9814
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0CC04158K	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 K. Awaya, S. Ida	4. 巻 49
2. 論文標題 Electrochemical OER/ORR Activity of Ultrathin Hexagonal Nickel-Cobalt Hydroxide Nanosheet Films with Controlled Layer Number	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Chemistry Letters	6. 最初と最後の頁 888-891
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/cl.200283	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 K. Kurematsu, M. Ochi, H. Usui, and K. Kuroki	4. 巻 89
2. 論文標題 First-principles Study of LaOPbBiS <sub>3</sub> and Its Analogous Compounds as Thermoelectric Materials	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of the Physical Society of Japan	6. 最初と最後の頁 024702-(1-10)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7566/JPSJ.89.024702	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 H. Takatsu, N. Yamashina, M. Ochi, H.-H. Huang, S. Kobayashi, A. Kuwabara, T. Terashima, K. Kuroki, and H. Kageyama	4. 巻 89
2. 論文標題 Hidden Ladder in SrMoO <sub>3</sub> /SrTiO <sub>3</sub> Superlattices: Experiments and Theoretical Calculations	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of the Physical Society of Japan	6. 最初と最後の頁 074801-(1-6)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7566/JPSJ.89.074801	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 H. Takatsu, M. Ochi, N. Yamashina, M. Namba, K. Kuroki, T. Terashima, and H. Kageyama	4. 巻 59
2. 論文標題 Epitaxial Stabilization of SrCu <sub>3</sub> O <sub>4</sub> with Infinite Cu <sub>3</sub> /2O <sub>2</sub> Layers	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Inorganic Chemistry	6. 最初と最後の頁 10042-10047
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01213	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 M. Ochi and K. Kuroki	4. 巻 102
2. 論文標題 Quantifying the stability of the anion ordering in SrVO <sub>2</sub> H	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Physical Review B	6. 最初と最後の頁 134108-(1-7)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1103/PhysRevB.102.134108	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 荻野 拓, 越智 正之, 陰山 洋	4. 巻 89
2. 論文標題 ペロブスカイト酸化物のアニオン制御と電子物性	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 応用物理	6. 最初と最後の頁 573-579
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11470/oubutsu.89.10_573	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 N. Kitamine, M. Ochi, and K. Kuroki	4. 巻 2
2. 論文標題 Designing nickelate superconductors with d8 configuration exploiting mixed-anion strategy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Physical Review Research	6. 最初と最後の頁 042032(R)-(1-7)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1103/PhysRevResearch.2.042032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fumitaka Takeiri, Takeshi Yajima, Saburo Hosokawa, Yoshitaka Matsushita, Hiroshi Kageyama	4. 巻 286
2. 論文標題 Topochemical Anion Insertion into One-dimensional Bi Channels in Bi2PdO4	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Solid State Chem.	6. 最初と最後の頁 121273
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jssc.2020.121273	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 H. Nawaz, F. Takeiri, A. Kuwabara, M. Yonemura, G. Kobayashi	4. 巻 56
2. 論文標題 Synthesis and H- conductivity of a new oxyhydride Ba2YH03 with anion-ordered rock-salt layers	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Chem. Commun.	6. 最初と最後の頁 10373-10376
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/d0cc03638b	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 J. Yanagisawa, T. Hiraoka, F. Kobayashi, D. Saito, M. Yoshida, M. Kato, F. Takeiri, G. Kobayashi, M. Ohba, L. F. Lindoy, R. Ohtani, S. Hayami	4. 巻 56
2. 論文標題 Luminescent ionic liquid formed from a melted rhenium(V) cluster	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Chem. Commun.	6. 最初と最後の頁 7957-7960
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0CC02937H	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamamoto T., Chikamatsu A., Kitagawa S., Izumo N., Yamashita S., Takatsu H., Ochi M., Maruyama T., Namba M., Sun W., Nakashima T., Takeiri F., Fujii K., Yashima M., Sugisawa Y., Sano M., Hirose Y., Sekiba D., Brown C M., Honda T., Ikeda K., Otomo T., Kuroki K., Ishida K., Mori T., Kimoto K., Hasegawa T., Kageyama H.	4. 巻 11
2. 論文標題 Strain-induced creation and switching of anion vacancy layers in perovskite oxynitrides	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Communications(10.1038/s41467-020-19217-7)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirai Daigorou, Yajima Takeshi, Nawa Kazuhiro, Kawamura Mitsuaki, Hiroi Zenji	4. 巻 59
2. 論文標題 Anisotropic Triangular Lattice Realized in Rhenium Oxychlorides A <sub>3</sub> ReO <sub>5</sub> Cl <sub>2</sub> (A = Ba, Sr)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Inorganic Chemistry	6. 最初と最後の頁 10025 ~ 10033
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01187	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiro Nawa, Daigorou Hirai, Maiko Kofu, Kenji Nakajima, Ryo Murasaki, Satoshi Kogane, Motoi Kimata, Hiroyuki Nojiri, Zenji Hiroi, and Taku J. Sato	4. 巻 2
2. 論文標題 Bound spinon excitations in the spin-1/2 anisotropic triangular antiferromagnet Ca <sub>3</sub> ReO <sub>5</sub> Cl <sub>2</sub>	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PHYSICAL REVIEW RESEARCH	6. 最初と最後の頁 43121-1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1103/PhysRevResearch.2.043121	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kota Kataoka, Daigoro Hirai, Takeshi Yajima, Daisuke Nishio-Hamane, Rieko Ishii, Kwang-Yong Choi, Dirk Wulferding, Peter Lemmens, Shunichiro Kittaka, Toshiro Sakakibara, Hajime Ishikawa, Akira Matsuo, Koichi Kindo, and Zenji Hiroi	4. 巻 89
2. 論文標題 Kitaev Spin Liquid Candidate OsxCl3 Comprised of Honeycomb Nano-Domains	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of the Physical Society of Japan	6. 最初と最後の頁 114709-1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7566/JPSJ.89.114709	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shohei Kodama, Shunsuke Kurosawa, Yuki Morishita, Hiroshi Usami, Tatsuo Torii, Masateru Hayashi, Makoto Sasano, Tetsushi Azuma, Hiroki Tanaka, Vladimir Kochurikhin, Jan Pejchal, Robert Kral, Masao Yoshino, Akihiro Yamaji, Satoshi Toyoda, Hiroki Sato, Yuji Ohashi, Yuui Yokota, Kei Kamada, Martin Nikl, Akira Yoshikawa	4. 巻 67
2. 論文標題 Growth and scintillation properties of a new red-emitting scintillator Rb2Hf16 for the fiber-reading radiation monitor	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IEEE Transactions on Nuclear Science	6. 最初と最後の頁 1055-1062
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/TNS.2020.2976695	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shohei Kodama, Shunsuke Kurosawa, Maki Ohno, Yuki Morishita, Hiroshi Usai, Masateru Hayashi, Makoto Sasano, Tetsushi Azuma, Hiroki Tanaka, Vladimir Kochurikhin, Akihiro Yamaji, Masao Yoshino, Satoshi Toyoda, Hiroki Sato, Yuji OHASHI, Kei Kamada, Yuui Yokota, Akira Yoshikawa, Tatsuo Torii	4. 巻 13
2. 論文標題 Fiber-reading radiation monitoring system using an optical fiber and red-emitting scintillator for ultra-high dose condition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Applied Physics Express}	6. 最初と最後の頁 47002
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35848/1882-0786/ab77f7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shohei Kodama, Shunsuke Kurosawa, Kotaro Fujii, Taito Murakami, Masatomo Yashima, Jan Pejchal, Robert Kral, Martin Nikl, Akihiro Yamaji, Masao Yoshino, Satoshi Toyoda, Hiroki Sato, Yuji Ohashi, Kei Kamada, Yuui Yokota, Akira Yoshikawa	4. 巻 106
2. 論文標題 Single-crystal growth, structure and luminescence properties of Cs2HfCl3Br3	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Optical Materials	6. 最初と最後の頁 109942
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.optmat.2020.109942	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yutaro Kurashima, Shunsuke Kurosawa, Rikito Murakami, Akihiro Yamaji, Shiori Ishikawa, Jan Pejchal, Kei Kamada, Masao Yoshino, Satoshi Toyoda, Hiroki Sato, Yuui Yokota, Yuji Ohashi, and Akira Yoshikawa	4. 巻 21
2. 論文標題 Novel Method of Search for Transparent Optical Materials with Extremely High Melting Point	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Crystal Growth & Design	6. 最初と最後の頁 572-578
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.cgd.0c01396	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Back Michele, Ueda Jumpei, Xu Jian, Asami Kazuki, Brik Mikhail G., Tanabe Setsuhisa	4. 巻 8
2. 論文標題 Effective Ratiometric Luminescent Thermal Sensor by Cr <sup>3+</sup> Doped Mullite with Robust and Bi <sup>2+</sup> Al <sup>4+</sup> O <sup>9-</sup> Reliable Performances	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Advanced Optical Materials	6. 最初と最後の頁 2000124 ~ 2000124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/adom.202000124	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 M. Back, J. Ueda, J. Xu, K. Asami, L. Amidani, E. Trave, S. Tanabe,	4. 巻 123
2. 論文標題 Uncovering the Origin of the Emitting States in Bi <sup>3+</sup> -Activated CaMO <sub>3</sub> (M=Zr, Sn, Ti) Perovskites: Metal-to-Metal Charge Transfer versus s-p Transitions	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Phys. Chem. C	6. 最初と最後の頁 14677-14688
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.9b03940	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Q. Guo, D. Berthebaud, J. Ueda, S.Tanabe, A. Miyoshi, K. Maeda, T. Mori,	4. 巻 7
2. 論文標題 Facile p-n control, and magnetic and thermoelectric properties of chromium selenides Cr <sub>2+x</sub> Se <sub>3</sub>	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. C	6. 最初と最後の頁 8269-8276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9TC01634A	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 上田純平、田部勢津久	4. 巻 88
2. 論文標題 電子移動消光を利用した長残光蛍光体の開発	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 応用物理	6. 最初と最後の頁 257-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 北川裕貴、上田純平、田部勢津久	4. 巻 70
2. 論文標題 近紫外励起可能な高輝度赤色蛍光を示すEu <sup>3+</sup> 賦活酸化物蛍光体の創製	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 化学工業	6. 最初と最後の頁 37-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 J. Ueda, S.Tanabe,	4. 巻 1
2. 論文標題 Review of luminescent properties of Ce <sup>3+</sup> -doped garnet phosphors: New insight into the effect of crystal and electronic structure	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Opt. Mater. X	6. 最初と最後の頁 100018 (19p)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.omx.2019.100018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上田純平、許健、田部勢津久	4. 巻 47
2. 論文標題 透光性セラミック長残光蛍光体の開発と高性能化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 レーザー研究	6. 最初と最後の頁 428-432
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 V. Castaing, A. D. Sontakke, J. Xu, A. J. Fernandez-Carrion, C. Genevois, S. Tanabe, M. Allix, B. Viana	4. 巻 21
2. 論文標題 Persistent energy transfer in ZGO: Cr <sup>3+</sup> , Yb <sup>3+</sup> : a new strategy to design nano glass-ceramics featuring deep red and near infrared persistent luminescence	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Phys. Chem. Chem. Phys	6. 最初と最後の頁 19458-19468
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9cp02927c	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Y. Iwasa, H. Ogino, D. Song, V. C. Agulto, K. Yamanoi, T. Shimizu, J. Ueda, K. Hongo, R. Maezono, S. Tanabe, N. Sarukura,	4. 巻 30
2. 論文標題 Synthesis, optical properties, and band structures of a series of layered mixed-anion compounds	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Mater. Sci. : Mater. Electron.	6. 最初と最後の頁 16827-16832
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10854-019-01380-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 M Back, J Ueda, E. Ambrosi, L. Cassandro, D. Cristofori, R. Ottini, P. Riello, G. Sponchia, K. Asami, S. Tanabe, E. Trave,	4. 巻 31
2. 論文標題 Lanthanide-doped Bismuth-Based Fluoride Nanocrystalline Particles: Formation, Spectroscopic Investigation and Chemical Stability	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Chem. Mater.	6. 最初と最後の頁 8504 8514
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.chemmater.9b03164	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 M. Back, J. Ueda, J. Xu, D. Murata, M. G. Brik, S. Tanabe,	4. 巻 11
2. 論文標題 Ratiometric Luminescent Thermometers with Customized Phase-Transition Driven Fingerprint in Perovskite Oxides	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 38937-38945
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.9b13010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 H. Ji, J. Ueda, M. G. Brik, M-H. Du, D. Chen, S. Tanabe,	4. 巻 21
2. 論文標題 Intense deep-red zero phonon line emission of Mn4+ in double perovskite La4Ti3O12	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Phys. Chem. Chem. Phys.	6. 最初と最後の頁 25108-25117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9CP04007B	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 J. Ueda, A. Hashimoto, S. Tanabe,	4. 巻 123
2. 論文標題 Orange Persistent Luminescence and Photodarkening Related to Paramagnetic Defectsof Nondoped CaO-Ga2O3-GeO2 Glass	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Phys. Chem. C	6. 最初と最後の頁 29946 29953
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.9b07638	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujiwara Satoshi, Kurauchi Yuji, Hirose Yasushi, Harayama Isao, Sekiba Daiichiro, Hasegawa Tetsuya	4. 巻 1
2. 論文標題 Modification of Electrical and Magnetic Properties of Fe3O4 Epitaxial Thin Films by Nitrogen Substitution for Oxygen	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ACS Applied Electronic Materials	6. 最初と最後の頁 595 ~ 599
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsaem.9b00051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Dai Kutsuzawa, Yasushi Hirose, Yuki Sugisawa, Daiichiro Sekiba, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 3
2. 論文標題 Enhanced ferromagnetic transition temperature in NdOxDy epitaxial thin films	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Physical Review Materials	6. 最初と最後の頁 No_044408
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1103/PhysRevMaterials.3.044408	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akira Chikamatsu, Yusuke Suzuki, Takahiro Maruyama, Tomoya Onozuka, Tsukasa Katayama, Daisuke Ogawa, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 55
2. 論文標題 Selective fluorination of perovskite iron oxide/ruthenium oxide heterostructures via a topotactic reaction	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Chem. Commn.	6. 最初と最後の頁 2437-2440
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8CC09443H	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsukasa Katayama, Shishin Mo, Takahiro Maruyama, Akira Chikamatsu, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 48
2. 論文標題 Reactive solid phase epitaxy of layered aurivillius-type oxyfluorides Bi <sub>2</sub> Ti <sub>0.4</sub> F <sub>2</sub> using polyvinylidene fluoride	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Dalton Trans.	6. 最初と最後の頁 5425-5428
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9DT00874H	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsukasa Katayama, Yuji Kurauchi, Shishin Mo, Ke Gu, Akira Chikamatsu, Lyaysan Galiullina, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 19
2. 論文標題 p-type Conductivity and Room-temperature Ferrimagnetism in Spinel MoFe <sub>2</sub> O <sub>4</sub> Epitaxial Thin Film	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cryst. Growth Des.	6. 最初と最後の頁 902-906
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.cgd.8b01454	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasushi Hirose, Masato Tsuchii, Kei Shigematsu, Yohei Kakefuda, Takao Mori, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 114
2. 論文標題 Thermoelectric Properties of Amorphous ZnO <sub>x</sub> Ny Thin Films at Room Temperature on Dy epitaxial thin films	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Appl. Phys. Lett.	6. 最初と最後の頁 193903
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.5089679	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mayuko Oka, Hideyuki Kamisaka, Tomoteru Fukumura, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 167
2. 論文標題 Interstitialcy diffusion of fluoride ions in LaOF by DFT-based first-principles calculations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Comp. Mater. Sci.	6. 最初と最後の頁 92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.commat.2019.05.028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuting Zhu, Takanori Yamazaki, Zhen Chen, Yasushi Hirose, Shoichiro Nakao, Isao Harayama, Daiichiro Sekiba, Tetsuya Hasegawa	4. 巻 6
2. 論文標題 High Mobility and Air Stable Amorphous Semiconductor Composed of Earth Abundant Elements: Amorphous Zinc Oxysulfide	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Advanced Electronic Materials	6. 最初と最後の頁 1900602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/aelm.201900602	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mo Shishin, Kurauchi Yuji, Katayama Tsukasa, Hirose Yasushi, Hasegawa Tetsuya	4. 巻 123
2. 論文標題 Theoretical Investigation of the Role of the Nitride Ion in the Magnetism of Oxynitride MnTaO <sub>2</sub> N	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Journal of Physical Chemistry C	6. 最初と最後の頁 25379 ~ 25384
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.9b07446	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Christian A. Juillerat, Yoshihiro Tsujimoto, Akira Chikamatsu, Yuji Masubuchi, Tetsuya Hasegawa, and Kazunari Yamaura	4. 巻 49
2. 論文標題 Fluorination and reduction of CaCrO <sub>3</sub> by topochemical methods	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Dalton Trans.	6. 最初と最後の頁 1997-2003
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9DT04321G	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する



1. 著者名 Akira Chikamatsu, Takahiro Maruyama, Tsukasa Katayama, Yu Su, Yoshihiro Tsujimoto, Kazunari Yamaura, Miho Kitamura, Koji Horiba, Hiroshi Kumigashira, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 4
2. 論文標題 Electronic properties of perovskite strontium chromium oxyfluoride epitaxial thin films fabricated via low-temperature topotactic reaction	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Phys. Rev. Materials	6. 最初と最後の頁 025004-1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1103/PhysRevMaterials.4.025004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Quansheng Guo, David Berthebaud, Jumpei Ueda, Setsuhisa Tanabe, Akinobu Miyoshi, Kazuhiko Maeda, and Takao Mori	4. 巻 7
2. 論文標題 Facile p-n Control, Magnetic and Thermoelectric Properties of Chromium Selenides Cr <sub>2+x</sub> Se <sub>3</sub>	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Materials Chemistry C	6. 最初と最後の頁 8269-8276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9tc01634a	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 P. Sauerchnig, K. Tsuchiya, T. Tanaka, Y. Michiue, O. Sologub, S. Yin, A. Yoshikawa, T. Shishido, and T. Mori	4. 巻 813
2. 論文標題 On the thermoelectric and magnetic properties, hardness, and crystal structure of the higher boride YbB <sub>66</sub>	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Alloys and Compounds	6. 最初と最後の頁 152182 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jallcom.2019.152182	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Guelou G., Failamani F., Sauerchnig P., Waybright J., Suzuta K., Mori T.	4. 巻 8
2. 論文標題 Role of excess tellurium on the electrical and thermal properties in Te-doped paracostibite	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Materials Chemistry C	6. 最初と最後の頁 1811 ~ 1818
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9tc04840e	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 S. Gabani, K. Flachbart, K. Siemensmeyer, and T. Mori	4. 巻 821
2. 論文標題 Magnetism and superconductivity of rare earth borides	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Alloys and Compounds	6. 最初と最後の頁 153201 1-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jallcom.2019.153201	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hyoung-Won Son, Quansheng Guo, Yoshikazu Suzuki, Byung-Nam Kim, and Takao Mori	4. 巻 178
2. 論文標題 Thermoelectric properties of MgTi2O5/TiN conductive composites prepared via reactive spark plasma sintering for high temperature functional applications	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scripta Mater.	6. 最初と最後の頁 44-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scriptamat.2019.11.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shuai J., Tan X.J., Guo Q., Xu J.T., Gelle A., Gautier R., Halet J.-F., Failamani F., Jiang J., Mori T.	4. 巻 9
2. 論文標題 Enhanced thermoelectric performance through crystal field engineering in transition metal doped GeTe	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Materials Today Physics	6. 最初と最後の頁 100094 ~ 100094
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.mtphys.2019.100094	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sylvain Le Tonquesse, Zelia Verastegui, Helene Huynh, Vincent Dorcet, Quansheng Guo, Valerie Demange, Carmelo Prestipino, David Berthebaud, Takao Mori, Mathieu Pasturel	4. 巻 2
2. 論文標題 Magnesio-reduction Synthesis of (Co-doped) beta-FeSi2: mechanism, microstructure and improved thermoelectric properties	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ACS Appl. Energy Mater.	6. 最初と最後の頁 8525-8534
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsaem.9b01426	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 T. Mori	4. 巻 275
2. 論文標題 Thermoelectric and magnetic properties of rare earth borides: boron cluster and layered compounds	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Solid State Chemistry	6. 最初と最後の頁 70-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jssc.2019.03.046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 P. Sauerschnig, J.L. Watts, J.B. Vaney, P.C. Talbot, J.A. Alarco, I.D.R. Mackinnon, and Takao Mori	4. 巻 119
2. 論文標題 Thermoelectric properties of phase pure boron carbide prepared by a solution-based method	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Advances in Applied Ceramics	6. 最初と最後の頁 97-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17436753.2019.1705017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sylvain Le Tonquesse, Vincent Dorcet, Loic Joanny, Valerie Demange, Carmelo Prestipinoa, Quansheng Guo, David Berthebaud, Takao Mori, Mathieu Pasturel	4. 巻 816
2. 論文標題 Mesostucture - thermoelectric properties relationships in $V_xMn_{1-x}Si_{1.74}$ ( $x = 0, 0.04$ ) Higher Manganese Silicides prepared by magnesiothermy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Alloys and Compounds	6. 最初と最後の頁 152577 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jallcom.2019.152577	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Jean-Baptiste Vaney, Sima Aminorroaya Yamini, Hirokazu Takaki, Kazuaki Kobayashi, Nobuhiko Kobayashi, and Takao Mori	4. 巻 9
2. 論文標題 Magnetism-mediated thermoelectric performance of the Cr-doped bismuth telluride tetradymite	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Materials Today Physics	6. 最初と最後の頁 100090 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.mtphys.2019.03.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 T Mori, T Aizawa, S Mitani, N Tsujii, I Ohkubo, T Tynell, Y Kakefuda, T Baba, M Mitome, N Kawamoto and D Golberg	4. 巻 1407
2. 論文標題 Development of thermoelectric thin films and characterization methods	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Phys.: Conf. Ser.	6. 最初と最後の頁 012055 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1742-6596/1407/1/012055	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森孝雄, 辻井直人	4. 巻 88
2. 論文標題 磁性元素を用いた新規熱電材料の開発	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 応用物理	6. 最初と最後の頁 252-256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jing Shuai, Yang Sun, Xiaojian Tan, and Takao Mori	4. 巻 16
2. 論文標題 Manipulating the Ge vacancies and Ge precipitates through Cr doping for realizing the high performance GeTe thermoelectric	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Small	6. 最初と最後の頁 1906921 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/smll.201906921	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Quansheng Guo, Hyoungwon Son, and Takao Mori	4. 巻 3
2. 論文標題 Rational Design of Spinel-Type Cu <sub>4</sub> Mn <sub>2</sub> Te <sub>4</sub> /TMTe (TM = Co, Ni) Composites with Synergistically Manipulated Electrical and Thermal Transport Properties	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ACS Applied Energy Materials	6. 最初と最後の頁 2096-2102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsaem.9b02135	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hyoung-Won Son, Philipp Sauerschnig, David Berthebaud, and Takao Mori	4. 巻 128
2. 論文標題 Rapid synthesis of thermoelectric YB22C2N via spark plasma sintering with gas/solid reaction technology	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of the Ceramic Society of Japan, Express Letters	6. 最初と最後の頁 181-185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2109/jcersj2.19216	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 T. Wu, A. Ishikawa, T. Honda, H. Tamatsukuri, , Ikeda, T. Otomo and S. Matsuishi	4. 巻 9
2. 論文標題 Nephelauxetic effect of the hydride ligand in S2LiSiO4H as a host material for rare-earth-activated phosphors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 RSC Advances	6. 最初と最後の頁 5282-5287
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c8ra08344d	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shunta Nishioka, Makoto Kobayashi, Daling Lu, Masato Kakihana, Kazuhiko Maeda	4. 巻 92
2. 論文標題 Selective Synthesis and Photocatalytic Oxygen Evolution Activities of Tantalum/Nitrogen-Codoped Anatase, Brookite and Rutile Titanium Dioxide	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bull. Chem. Soc. Jpn.	6. 最初と最後の頁 1032-1036
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/bcsj.20190037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiko Maeda	4. 巻 31
2. 論文標題 Metal-Complex/Semiconductor Hybrid Photocatalysts and Photoelectrodes for CO2 Reduction Driven by Visible Light	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Adv. Mater.	6. 最初と最後の頁 1808205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/adma.201808205	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wakayama Haruki, Hibino Keisuke, Fujii Kotaro, Oshima Takayoshi, Yanagisawa Keiichi, Kobayashi Yuuga, Kimoto Koji, Yashima Masatomo, Maeda Kazuhiko	4. 巻 58
2. 論文標題 Synthesis of a Layered Niobium Oxynitride, Rb <sub>2</sub> NdNb <sub>2</sub> O <sub>6</sub> N · H <sub>2</sub> O, Showing Visible-Light Photocatalytic Activity for H <sub>2</sub> Evolution	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Inorganic Chemistry	6. 最初と最後の頁 6161 ~ 6166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.9b00414	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Megumi Okazaki, Yunan Wang, Toshiyuki Yokoi, Kazuhiko Maeda	4. 巻 123
2. 論文標題 Visible-Light-Driven Water Oxidation Using Anatase Titania Modified with First-Row Transition-Metal-Oxide Nanoclusters	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Phys. Chem. C	6. 最初と最後の頁 10429-10434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.9b01222	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masatomo Yashima, Takafumi Tsujiguchi, Kotaro Fujii, Eiki Niwa, Shunta Nishioka, James R. Hester, Kazuhiko Maeda	4. 巻 7
2. 論文標題 Direct evidence for two-dimensional oxide-ion diffusion in the hexagonal perovskite-related oxide Ba <sub>3</sub> MoNb <sub>0.5</sub> -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. A	6. 最初と最後の頁 13910-13916
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9TA03588E	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kanemichi Muraoka, Junie Jhon M. Vequizo, Ryo Kuriki, Akira Yamakata, Tomoki Uchiyama, Daling Lu, Yoshiharu Uchimoto, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda	4. 巻 3
2. 論文標題 Oxygen-doped Ta <sub>3</sub> N <sub>5</sub> nanoparticles for enhanced Z-scheme CO <sub>2</sub> reduction with binuclear Ru(II) complex under visible light	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ChemPhotoChem	6. 最初と最後の頁 1027-1033
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cptc.201900120	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Christopher D. Windle, Hiromu Kumagai, Masanobu Higashi, Romain Brisse, Sebastian Bold, Bruno Jusselme, Murielle Chavarot-Kerlidou, Kazuhiko Maeda, Ryu Abe, Osamu Ishitani, Vincent Artero	4. 巻 141
2. 論文標題 Earth-Abundant Molecular Photocathodes for H <sub>2</sub> Evolution and Assembly of a Z-Scheme Photoelectrochemical Cell for Overall Water-Splitting	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Am. Chem. Soc.	6. 最初と最後の頁 9593-9602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.9b02521	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shunta Nishioka, Kei-ichi Yanagisawa, Daling Lu, Junie Jhon M. Vequizo, Akira Yamakata, Koji Kimoto, Miki Inada, Kazuhiko Maeda	4. 巻 3
2. 論文標題 Enhanced water splitting through two-step photoexcitation by sunlight using tantalum/nitrogen-codoped rutile titania as a water oxidation photocatalyst	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sustainable Energy & Fuels	6. 最初と最後の頁 2337-2346
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9SE00289H	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Quansheng Guo, David Berthebaud, Junpei Ueda, Setsuhisa Tanabe, Akinobu Miyoshi, Kazuhiko Maeda, Takao Mori	4. 巻 7
2. 論文標題 Facile p-n Control, Magnetic and Thermoelectric Properties of Chromium Selenides Cr <sub>2+x</sub> Se <sub>3</sub>	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. C	6. 最初と最後の頁 8269-8276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9TC01634A	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroaki Ito, Akira Miura, Yosuke Goto, Yoshikazu Mizuguchi, Chikako Moriyoshi, Yoshihiro Kuroiwa, Masaki Azuma, Jinjia Liu, Xiao-Dong Wen, Shunta Nishioka, Kazuhiko Maeda, Yuji Masubuchi, Nataly Carolina Rosero-Navarro, Kiyoharu Tadanaga	4. 巻 48
2. 論文標題 Electronic Structure Governed by Displacement of Indium Site in In-S6 Octahedra: Ln <sub>0</sub> InS <sub>2</sub> (Ln=La, Ce, and Pr)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Dalton Trans.	6. 最初と最後の頁 12272-12278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9DT01562K	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hsiao-Han Wu, Chien-Wei Chang, Daling Lu, Kazuhiko Maeda, Chechia Hu	4. 巻 11
2. 論文標題 Synergistic Effect of Hydrochloric Acid and Phytic Acid Doping on Polyaniline-Coupled g-C3N4 Nanosheets for Photocatalytic Cr(VI) Reduction and Dye Degradation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 35702-35712
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.9b10555	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Naoki Hirayama, Hiroko Nakata, Haruki Wakayama, Shunta Nishioka, Tomoki Kanazawa, Ryutaro Kamata, Yousuke Ebato, Kosaku Kato, Hiromu Kumagai, Akira Yamakata, Kengo Oka, Kazuhiko Maeda	4. 巻 141
2. 論文標題 Solar-Driven Photoelectrochemical Water Oxidation over an n-Type Lead-Titanium Oxyfluoride Anode	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Am. Chem. Soc.	6. 最初と最後の頁 17158-17165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.9b06570	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shunta Nishioka, Tomoki Kanazawa, Kengo Shibata, Yoshihiro Tsujimoto, Hans-Conrad zur Loye, Kazuhiko Maeda	4. 巻 48
2. 論文標題 A zinc-based oxysulfide photocatalyst SrZn2S2O capable of reducing and oxidizing water	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Dalton Trans.	6. 最初と最後の頁 15778-15781
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9DT03699G	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Junie Jhon M. Vequizo, Shunta Nishioka, Junji Hyodo, Yoshihiro Yamazaki, Kazuhiko Maeda, Akira Yamakata	4. 巻 7
2. 論文標題 Crucial impact of reduction on the photocarriers dynamics on SrTiO3 powders studied by transient absorption spectroscopy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. A	6. 最初と最後の頁 26139-26146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9TA08216F	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 8. Tomoki Kanazawa, Miharuru Eguchi, Shunsuke Nozawa, Kazuhiko Maeda	4. 巻 93
2. 論文標題 Improved Electrochemical Water Oxidation over Chromium-Substituted Cobalt Aluminate Spinels	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bull. Chem. Soc. Jpn.	6. 最初と最後の頁 13-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/bcsj.20190272	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shunta Nishioka, Yasuomi Yamazaki, Megumi Okazaki, Keita Sekizawa, Go Sahara, Riho Murakoshi, Daiki Saito, Ryo Kuriki, Takayoshi Oshima, Junji Hyodo, Yoshihiro Yamazaki, Osamu Ishitani, Thomas E. Mallouk, Kazuhiko Maeda	4. 巻 123
2. 論文標題 Defect Density-Dependent Electron Injection from Excited-State Ru(II) Tris-Diimine Complexes into Defect-Controlled Oxide Semiconductors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Phys. Chem. C	6. 最初と最後の頁 28310-28318
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.9b09781	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kengo Shibata, Kosaku Kato, Constantine Tsounis, Tomoki Kanazawa, Daling Lu, Shunsuke Nozawa, Akira Yamakata, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda	4. 巻 4
2. 論文標題 Synthesis of Copolymerized Carbon Nitride Nanosheets from Urea and 2-Aminobenzonitrile for Enhanced Visible Light CO <sub>2</sub> Reduction with a Ruthenium(II) Complex Catalyst	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Solar RRL	6. 最初と最後の頁 1900461
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/solr.201900461	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kazuhiko Maeda, Naoki Hirayama, Hiroko Nakata, Haruki Wakayama, Kengo Oka	4. 巻 124
2. 論文標題 Oxyfluoride Pb <sub>2</sub> Ti <sub>4</sub> O <sub>9</sub> F <sub>2</sub> as a Stable Anode Material for Photoelectrochemical Water Oxidation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Phys. Chem. C	6. 最初と最後の頁 1844-1850
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.9b09969	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masashi Nakamura, Kenji Oqmhula, Keishu Utimula, Miharuru Eguchi, Kengo Oka, Kenta Hongo, Ryo Maezono, Kazuhiko Maeda	4. 巻 15
2. 論文標題 Light Absorption Properties and Electronic Band Structures of Lead-Vanadium Oxyhalide Apatites Pb <sub>5</sub> (VO <sub>4</sub> ) <sub>3</sub> X (X = F, Cl, Br, I)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Chem. Asian J.	6. 最初と最後の頁 540-545
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/asia.201901692	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hideyuki Tanaka, Tomoki Uchiyama, Nozomi Kawakami, Megumi Okazaki, Yoshiharu Uchimoto, Kazuhiko Maeda	4. 巻 12
2. 論文標題 Water Oxidation through Interfacial Electron Transfer by Visible Light Using Cobalt-Modified Rutile Titania Thin-Film Photoanode	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 9219-9225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.9b20793	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akira Miura, Hiroki Ito, Christopher J. Bartel, Wenhao Sun, Nataly Carolina Rosero-Navarro, Kiyoharu Tadanaga, Hiroko Nakata, Kazuhiko Maeda, Gerbrand Ceder	4. 巻 7
2. 論文標題 Selective metathesis synthesis of MgCr <sub>2</sub> S <sub>4</sub> by control of thermodynamic driving forces	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mater. Horiz.	6. 最初と最後の頁 1310-1316
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C9MH01999E	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takayoshi Oshima, Tom Ichibha, Kenji Oqmhula, Keisuke Hibino, Shunsuke Yamashita, Kotaro Fujii, Yugo Miseki, Kenta Hongo, Daling Lu, Ryo Maezono, Kazuhiro Sayama, Masatomo Yashima, Koji Kimoto, Hideki Kato, Masato Kakihana, Hiroshi Kageyama, Kazuhiko Maeda	4. 巻 59
2. 論文標題 Two-Dimensional Perovskite Oxynitride K <sub>2</sub> LaTa <sub>2</sub> O <sub>6</sub> N with an H <sup>+</sup> /K <sup>+</sup> Exchangeability in Aqueous Solution to Form Stable Photocatalyst for Visible-Light H <sub>2</sub> Evolution	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Angew. Chem. Int. Ed.	6. 最初と最後の頁 9736-9743
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/anie.202002534	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ma Bing, Chen Gui, Fave Claire, Chen Lingjing, Kuriki Ryo, Maeda Kazuhiko, Ishitani Osamu, Lau Tai-Chu, Bonin Julien, Robert Marc	4. 巻 142
2. 論文標題 Efficient Visible-Light-Driven CO <sub>2</sub> Reduction by a Cobalt Molecular Catalyst Covalently Linked to Mesoporous Carbon Nitride	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society	6. 最初と最後の頁 6188 ~ 6195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.9b13930	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroshi Kageyama, Katsuro Hayashi, Kazuhiko Maeda, J. Paul Attfield, Zenji Hiroi, James Rondinelli, Kenneth R. Poepelmeier	4. 巻 9
2. 論文標題 Expanding frontiers in materials chemistry and physics with multiple anions	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Comm.	6. 最初と最後の頁 772
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-02838-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kazuhiko Maeda, Yuki Tokunaga, Keisuke Hibino, Kotaro Fujii, Hiroyuki Nakaki, Tomoki Uchiyama, Miharu Eguchi, Daling Lu, Shintaro Ida, Yoshiharu Uchimoto, Masatomo Yashima	4. 巻 1
2. 論文標題 New Precursor Route Using a Compositionally Flexible Layered Oxide and Nanosheets for Improved Nitrogen-Doping and Photocatalytic Activity	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Appl. Energy Mater.	6. 最初と最後の頁 1734-1741
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsaem.8b00256	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akinobu Miyoshi, Shunta Nishioka, Kazuhiko Maeda	4. 巻 24
2. 論文標題 Water Splitting on Rutile TiO <sub>2</sub> -Based Photocatalysts	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Chem. Eur. J.	6. 最初と最後の頁 18204-18219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201800799	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Kuriki, Tom Ichibha, Kenta Hongo, Daling Lu, Ryo Maezono, Hiroshi Kageyama, Osamu Ishitani, Kengo Oka, Kazuhiko Maeda	4. 巻 140
2. 論文標題 A Stable, Narrow-Gap Oxyfluoride Photocatalyst for Visible-Light Hydrogen Evolution and Carbon Dioxide Reduction	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Am. Chem. Soc.	6. 最初と最後の頁 6648-6655
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.8b02822	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 T. Oshima, T. Ichibha, K. Sinkou Qin, K. Muraoka, J. J. M. Vequizo, K. Hibino, R. Kuriki, S. Yamashita, K. Hongo, T. Uchiyama, K. Fujii, D. Lu, R. Maezono, A. Yamakata, H. Kato, K. Kimoto, M. Yashima, Y. Uchimoto, M. Kakihana, O. Ishitani, H. Kageyama, K. Maeda	4. 巻 57
2. 論文標題 Undoped Layered Perovskite Oxynitride Li <sub>2</sub> LaTa <sub>2</sub> O <sub>6</sub> N for Photocatalytic CO <sub>2</sub> Reduction with Visible Light	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Angew. Chem. Int. Ed.	6. 最初と最後の頁 8154-8158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/anie.201803931	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiko Maeda, Daehyeon An, Chandana Sampath Kumara Ranasinghe, Tomoki Uchiyama, Ryo Kuriki, Tomoki Kanazawa, Daling Lu, Shunsuke Nozawa, Akira Yamakata, Yoshiharu Uchimoto, Osamu Ishitani	4. 巻 6
2. 論文標題 Visible-light CO <sub>2</sub> reduction over a ruthenium(II)-complex/C <sub>3</sub> N <sub>4</sub> hybrid photocatalyst: the promotional effect of silver species	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. A	6. 最初と最後の頁 9708-9715
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8TA03245A	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuma Kato, Muenaki Yamamoto, Akiyo Ozawa, Yu Kawaguchi, Akinobu Miyoshi, Takayoshi Oshima, Kazuhiko Maeda, Tomoko Yoshida	4. 巻 16
2. 論文標題 Analysis of optical properties and structures of nitrogen doped gallium oxide photocatalysts	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 e-j. Surf. Sci. Nanotech.	6. 最初と最後の頁 262-266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1380/ejssnt.2018.262	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akinobu Miyoshi, Junie Jhon M. Vequizo, Shunta Nishioka, Yuma Kato, Muneaki Yamamoto, Shunsuke Yamashita, Toshiyuki Yokoi, Akihide Iwase, Shunsuke Nozawa, Akira Yamakata, Tomoko Yoshida, Koji Kimoto, Akihiko Kudo, Kazuhiko Maeda	4. 巻 2
2. 論文標題 Nitrogen/fluorine-codoped rutile titania as a stable oxygen-evolution photocatalyst for solar-driven Z-scheme water splitting	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sustainable Energy & Fuels	6. 最初と最後の頁 2025-2035
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8SE00191J	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Claudio Cometto, Ryo Kuriki, Lingjing Chen, Kazuhiko Maeda, Tai-Chu Lau, Osamu Ishitani, Marc Robert	4. 巻 140
2. 論文標題 A Carbon Nitride/Fe Quaterpyridine Catalytic System for Photostimulated CO <sub>2</sub> -to-CO Conversion with Visible Light	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Am. Chem. Soc.	6. 最初と最後の頁 7437-7440
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.8b04007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shunta Nishioka, Junji Hyodo, Junie Jhon M. Vequizo, Shunsuke Yamashita, Hiromu Kumagai, Koji Kimoto, Akira Yamakata, Yoshihiro Yamazaki, Kazuhiko Maeda	4. 巻 8
2. 論文標題 Homogeneous Electron Doping into Non-Stoichiometric Strontium Titanate Improves Its Photocatalytic Activity for Hydrogen and Oxygen Evolution	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Catal.	6. 最初と最後の頁 7190-7200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscatal.8b01379	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiko Maeda, Daehyeon An, Ryo Kuriki, Daling Lu, Osamu Ishitani	4. 巻 14
2. 論文標題 Graphitic carbon nitride prepared from urea as a photocatalyst for carbon dioxide reduction under visible light with the aid of a mononuclear Ru(II) complex	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Beilstein J. Org. Chem.	6. 最初と最後の頁 1806-1812
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3762/bjoc.14.153	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Kuriki, Chandana Sampath Kumara Ranasinghe, Yasuomi Yamazaki, Akira Yamakata, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda	4. 巻 122
2. 論文標題 Excited-State Dynamics of Graphitic Carbon Nitride Photocatalyst and Ultrafast Electron Injection to a Ru(II) Mononuclear Complex for Carbon Dioxide Reduction	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Phys. Chem. C	6. 最初と最後の頁 16795-16802
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.8b03996	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akinobu Nakada, Tomoki Uchiyama, Nozomi Kawakami, Shunta Nishioka, Ryutaro Kamata, Hiromu Kumagai, Osamu Ishitani, Yoshiharu Uchimoto, Kazuhiko Maeda	4. 巻 3
2. 論文標題 Highly Stable Solar Water Oxidation by Ta/N-Codoped Rutile TiO <sub>2</sub> Anode for Photoelectrochemical Overall Water Splitting and CO <sub>2</sub> Fixation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ChemPhotoChem	6. 最初と最後の頁 37-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cptc.201800157	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gabin Guelou, Maya Martirosyan, Kazuo Ogata, Isao Ohkubo, Yohei Kakefuda, Naoyuki Kawamoto, Yuuki Kitagawa, Jumpei Ueda, Setsuhisa Tanabe, Kazuhiko Maeda, Katsumitsu Nakamura, Takashi Aizawa, Takao Mori	4. 巻 1
2. 論文標題 Rapid deposition and thermoelectric properties of ytterbium boride thin films using hybrid physical chemical vapor deposition	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Materialia	6. 最初と最後の頁 244-248
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.mtla.2018.06.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akinobu Nakada, Ryo Kuriki, Keita Sekizawa, Shunta Nishioka, Junie Jhon M. Vequizo, Tomoki Uchiyama, Nozomi Kawakami, Daling Lu, Akira Yamakata, Yoshiharu Uchimoto, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda	4. 巻 8
2. 論文標題 Effects of Interfacial Electron Transfer in Metal Complex - Semiconductor Hybrid Photocatalysts on Z-scheme CO <sub>2</sub> Reduction under Visible Light	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Catal.	6. 最初と最後の頁 9744-9754
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscatal.8b03062	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiko Maeda, Thomas E. Mallouk	4. 巻 92
2. 論文標題 Two-Dimensional Metal Oxide Nanosheets as Building Blocks for Artificial Photosynthetic Assemblies	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Bull. Chem. Soc. Jpn.	6. 最初と最後の頁 38-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/bcsj.20180258	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kiyofumi Katagiri, Yuki Hayashi, Risa Yoshiyuki, Kei Inumaru, Tomoki Uchiyama, Noriyuki Nagata, Yoshiharu Uchimoto, Akinobu Miyoshi, Kazuhiko Maeda	4. 巻 57
2. 論文標題 Mechanistic Insight on the Formation of GaN:ZnO Solid Solution from Zn-Ga Layered Double Hydroxide Using Urea as the Nitriding Agent	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Inorg. Chem.	6. 最初と最後の頁 13953-13962
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.8b02498	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanemichi Muraoka, Tomoki Uchiyama, Daling Lu, Yoshiharu Uchimoto, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda	4. 巻 92
2. 論文標題 A Visible-Light-Driven Z-scheme CO <sub>2</sub> Reduction System Using Ta <sub>3</sub> N <sub>5</sub> and a Ru(II) Binuclear Complex	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Bull. Chem. Soc. Jpn.	6. 最初と最後の頁 124-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/bcsj.20180239	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Constantine Tsounis, Ryo Kuriki, Kengo Shibata, Junie Jhon M. Vequizo, Daling Lu, Akira Yamakata, Osamu Ishitani, Rose Amal, Kazuhiko Maeda	4. 巻 6
2. 論文標題 A Copolymerization Approach to Improving Ru(II)-Complex/C <sub>3</sub> N <sub>4</sub> Hybrid Photocatalysts for Visible-Light CO <sub>2</sub> Reduction	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Sustainable Chem. Eng.	6. 最初と最後の頁 15333-15340
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acssuschemeng.8b03782	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Haruki Wakayama, Keishu Utimura, Tom Ichibha, Ryo Kuriki, Kenta Hongo, Ryo Maezono, Kengo Oka, Kazuhiko Maeda	4. 巻 122
2. 論文標題 Light Absorption Properties and Electronic Band Structures of Lead Titanium Oxyfluoride Photocatalysts Pb2Ti4O9F2 and Pb2Ti2O5.4F1.2	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Phys. Chem. C	6. 最初と最後の頁 26506-26511
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.8b08953	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahiro Yoshinari, Kentaro Yamamoto, Motoaki Nishijima, Katsutoshi Fukuda, Akihide Kuwabara, Isao Tanaka, Kazuhiko Maeda, Hiroshi Kageyama, Yuki Oriksa, Yoshiharu Uchimoto	4. 巻 1
2. 論文標題 High Rate Performance of Dual-Substituted LiFePO4 Based on Controlling Metastable Intermediate Phase	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Appl. Energy Mater.	6. 最初と最後の頁 6736-6740
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsaem.8b01603	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoki Kanazawa, Shunsuke Nozawa, Daling Lu, Kazuhiko Maeda	4. 巻 9
2. 論文標題 Structure and photocatalytic activity of PdCrOx cocatalyst on SrTiO3 for overall water splitting	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Catalysts	6. 最初と最後の頁 59 (11 pages)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/catal9010059	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takayoshi Oshima, Yunan Wang, Daling Lu, Toshiyuki Yokoi, Kazuhiko Maeda	4. 巻 1
2. 論文標題 Photocatalytic overall water splitting on Pt nanocluster-intercalated, restacked KCa2Nb3O10 nanosheets: the promotional effect of co-existing ions	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nanoscale Advances	6. 最初と最後の頁 189-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8NA00240A	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Shunta Nishioka, Makoto Kobayashi, Daling Lu, Masato Kakihana, Kazuhiko Maeda	4. 巻 -
2. 論文標題 Selective Synthesis and Photocatalytic Oxygen Evolution Activities of Tantalum/Nitrogen-Codoped Anatase, Brookite and Rutile Titanium Dioxide	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bull. Chem. Soc. Jpn.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/bcsj.20190037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiko Maeda	4. 巻 -
2. 論文標題 Metal-Complex/Semiconductor Hybrid Photocatalysts and Photoelectrodes for CO2 Reduction Driven by Visible Light	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Adv. Mater.	6. 最初と最後の頁 1808205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/adma.201808205	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takahiro Yoshinari, Kentaro Yamamoto, Motoaki Nishijima, Katsutoshi Fukuda, Akihide Kuwabara, Tomoki Uchiyama, Isao Tanaka, Kazuhiko Maeda, Hiroshi Kageyama, Yuki Orikasa, Yoshiharu Uchimoto	4. 巻 1
2. 論文標題 High rate performance of dual substituted LiFePO4 based on controlling metastable intermediate phase	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Applied Energy Materials	6. 最初と最後の頁 6736-6740
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsaem.8b01603	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 J. Ueda, S. Tanabe, K. Takahashi, T. Takeda, N. Hirosaki,	4. 巻 91
2. 論文標題 Thermal Quenching Mechanism of CaAlSiN3:Eu2+-Red Phosphor	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Bull. Chem. Soc. Jpn	6. 最初と最後の頁 173-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/bcsj.20170307	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 K. Asami, J. Ueda, M. Kitaura, S. Tanabe,	4. 巻 198
2. 論文標題 Investigation of luminescence quenching and persistent luminescence in Ce <sup>3+</sup> -doped (Gd,Y) <sub>3</sub> (Al,Ga) <sub>5</sub> O <sub>12</sub> -garnet using vacuum referred binding energy diagram	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Lumin.	6. 最初と最後の頁 418-426
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jlumin.2018.01.041	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 D. Liu, C. Ma, P. Hu, Z. Li, Y. Tian, P. Su, M. Brik, A. Srivastava, S. Tanabe,	4. 巻 101
2. 論文標題 First principles and crystal field calculations of the electronic and optical properties of two novel red phosphors Rb <sub>2</sub> HfF <sub>6</sub> :Mn <sup>4+</sup> -and Cs <sub>2</sub> HfF <sub>6</sub> :Mn <sup>4+</sup>	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Am. Ceram. Soc.	6. 最初と最後の頁 2368-2375
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jace.15406	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Y. Katayama, T. Kayumi, J. Ueda, S. Tanabe,	4. 巻 79
2. 論文標題 Enhanced persistent red luminescence in Mn <sup>2+</sup> -doped (Mg,Zn)GeO <sub>3</sub> -by electron trap and conduction band engineering	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Opt. Mater.	6. 最初と最後の頁 147-151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.optmat.2018.03.033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 J. Xu, D. Murata, J. Ueda, B. Viana, S. Tanabe,	4. 巻 57
2. 論文標題 Toward Rechargeable Persistent Luminescence for the First and Third Biological Windows via Persistent Energy Transfer and Electron Trap Redistribution	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Inorg. Chem.	6. 最初と最後の頁 5194-5203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.8b00218	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 K. Asami, J. Ueda, M. Shiraiwa, K. Fujii, M. Yashima, S. Tanabe,	4. 巻 87
2. 論文標題 Redshift and thermal quenching of Ce <sup>3+</sup> -emission in (Gd,Y) <sub>3</sub> (Al,Si) <sub>5</sub> (O,N) <sub>12</sub> -oxynitride garnet phosphors	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Opt. Mater.	6. 最初と最後の頁 117-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.optmat.2018.04.049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Y. Masubuchi, S. Nishitani, A. Hosono, Y. Kitagawa, J. Ueda, S. Tanabe, H. Yamane, M. Higuchi, S. Kikkawa	4. 巻 6
2. 論文標題 Red-emission over a wide range of wavelength at various temperatures from tetragonal BaCN <sub>2</sub> :Eu <sup>2+</sup>	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. C	6. 最初と最後の頁 6370-6377
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8TC01289J	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 M. Pellerin, E. Glais, T. Lecuyer, J. Xu, J. Seguin, S. Tanabe, C. Chaneac, B. Viana, C. Richard	4. 巻 202
2. 論文標題 LaAlO <sub>3</sub> :Cr <sup>3+</sup> , Sm <sup>3+</sup> : nano-perovskite with persistent luminescence for in vivo optical imaging	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Lumin.-	6. 最初と最後の頁 83-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jlumin.2018.05.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Y. Kitagawa, J. Ueda, M. Brik, S. Tanabe	4. 巻 83
2. 論文標題 Intense hypersensitive luminescence of Eu <sup>3+</sup> -doped YSiO <sub>2</sub> N oxynitride with near-UV excitation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Opt. Mater.	6. 最初と最後の頁 111-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.optmat.2018.05.039	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 T. Lesniewski, S. Mahlik, K. Asami, J. Ueda, M. Grinberg, S. Tanabe	4. 巻 20
2. 論文標題 Comparison of quenching mechanisms in Gd <sub>3</sub> Al <sub>5-x</sub> Ga <sub>x</sub> O <sub>12</sub> :Ce <sup>3+</sup> - (x=3 and 5) garnet phosphors by photocurrent excitation spectroscopy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Phys. Chem. Chem. Phys	6. 最初と最後の頁 18380-18390
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8CP03176B	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Y. Iwasa, H. Ogino, D. Song, K. Yamanoi, T. Shimizu, J. Ueda, S. Tanabe, N. Sarukura	4. 巻 84
2. 論文標題 Luminescence properties of layered mixed-anion compounds Sr <sub>2</sub> ScCuSeO <sub>3</sub> -and Sr <sub>3</sub> Sc <sub>2</sub> Cu <sub>2</sub> Se <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Opt. Mater	6. 最初と最後の頁 205-208
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.optmat.2018.06.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Y. Kitagawa, J. Ueda, M. Brik, S. Tanabe	4. 巻 83
2. 論文標題 Intense hypersensitive luminescence of Eu <sup>3+</sup> -doped YSi <sub>2</sub> N oxynitride with near-UV excitation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Opt. Mater.	6. 最初と最後の頁 111-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.optmat.2018.05.039	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 J. Ueda, S. Miyano, S. Tanabe	4. 巻 10
2. 論文標題 Formation of Deep Electron Traps by Yb <sup>3+</sup> -Codoping Leads to Super-Long Persistent Luminescence in Ce <sup>3+</sup> -Doped Yttrium Aluminum Gallium Garnet Phosphors	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 20652-20660
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.8b02758	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 J. Ueda, S. Matsuishi, T. Tokunaga, S. Tanabe,	4. 巻 6
2. 論文標題 Preparation, Electronic Structure of Gadolinium Oxyhydride and Lowenergy 5d Excitation Band for Green Luminescence of Doped Tb <sup>3+</sup> Ions	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. C	6. 最初と最後の頁 7541-7548
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8TC01682H	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 K. Asami, J.Ueda, K. Yasuda, K. Hongo, R. Maezono, M. G. Brik, S. Tanabe,	4. 巻 84
2. 論文標題 Development of persistent phosphor of Eu <sup>2+</sup> -doped Ba <sub>2</sub> SiO <sub>4</sub> -by Er <sup>3+</sup> -codoping based on vacuum referred binding energy diagram	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Opt. Mater	6. 最初と最後の頁 436-441
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.optmat.2018.07.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 W. Li, Y. Zhuang, P. Zheng, T. Zhou, J. Xu, J. Ueda, S. Tanabe, L. Wang, R. Xie,	4. 巻 10
2. 論文標題 Tailoring Trap Depth and Emission Wavelength in Y <sub>3</sub> Al <sub>5-x</sub> Ga <sub>x</sub> O <sub>12</sub> : Ce <sup>3+</sup> , V <sup>3+</sup> -Phosphor-in-Glass Films for Optical Information Storage-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 27150-27159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.8b10713	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 H. Ji, J. Xu, K. Asami, J. Ueda, M. Brik, S. Tanabe,	4. 巻 102
2. 論文標題 Local Coordination and Electronic Structure of Ce <sup>3+</sup> -in Isostructural Sr <sub>2</sub> GdAlO <sub>5</sub> -and Sr <sub>3</sub> AlO <sub>4</sub> F Phosphor	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Am. Ceram. Soc	6. 最初と最後の頁 1316-1328
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jace.15985	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 J. Ueda, M. Back, M. G. Brik, Y. Zhuang, M. Grinberg, S. Tanabe,	4. 巻 84
2. 論文標題 Ratiometric optical thermometry using deep red luminescence from 4T <sub>2</sub> -and 2E states of Cr <sup>3+</sup> in ZnGa <sub>2</sub> O <sub>4</sub> host	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Opt. Mater.-	6. 最初と最後の頁 510-516
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.optmat.2018.09.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 J. Xu, S. Tanabe,	4. 巻 205
2. 論文標題 Persistent luminescence instead of phosphorescence: History, mechanism, and perspective	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Lumin.	6. 最初と最後の頁 581-620
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jlumin.2018.09.047	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 L. Li, V. Castaing, D. Rytz, A. D. Sontakke, Y. Katayama, S.Tanabe, M. Peng, B. Viana,	4. 巻 -
2. 論文標題 Tunable trap depth for persistent luminescence by cationic substitution in Pr <sup>3+</sup> :K <sub>1</sub> -xNaxNbO <sub>3</sub> perovskites	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Am. Ceram. Soc.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jace.16116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 J. Xu, D. Murata, B. So, K. Asami, J. Ueda, J. Heo, S. Tanabe,	4. 巻 6
2. 論文標題 1.2 μm persistent luminescence of Ho <sup>3+</sup> in LaAlO <sub>3</sub> and LaGaO <sub>3</sub> perovskites	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. C	6. 最初と最後の頁 11374-11383
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8TC04393K	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 上田 純平	4. 巻 71
2. 論文標題 飛翔する研究者：“光らない”から“光り続ける”を創る - - 光誘起電子移動による消光を利用した残光蛍光体の設計	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 化学と工業	6. 最初と最後の頁 601-602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田部 勢津久	4. 巻 29
2. 論文標題 量子切断蛍光体	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 光アライアンス (日本工業出版)	6. 最初と最後の頁 1月4日
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 M. Back, J. Ueda, M.G. Brik, T. Lesniewski, M. Grinberg, S. Tanabe,	4. 巻 10
2. 論文標題 Revisiting Cr <sup>3+</sup> -doped Bi <sub>2</sub> Ga <sub>4</sub> O <sub>9</sub> Spectroscopy: Crystal Field Effect and Optical Thermometric Behaviour of NIR Emitting Singly Activated Phosphors	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 41512-41524
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.8b15607	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 K. Asami, J. Ueda, S. Tanabe,	4. 巻 207
2. 論文標題 Long persistent luminescence and blue photochromism in Eu <sup>2+</sup> /Dy <sup>3+</sup> co-doped barium silicate glass ceramic phosphor	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Lumin.	6. 最初と最後の頁 246-250
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jlumin.2018.11.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 J. Xu, S. Tanabe,	4. 巻 205
2. 論文標題 Persistent luminescence instead of phosphorescence: History, mechanism, and perspective	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Lumin.	6. 最初と最後の頁 581-620
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jlumin.2018.09.047	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 上田純平、片山裕美子、田部勢津久	4. 巻 33
2. 論文標題 夜光塗料・バイオイメージング応用のための新規赤色・深赤色残光蛍光体の開発 - 真空基準束縛エネルギー準位図の構築による電子トラップ設計 -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NEW GLASS	6. 最初と最後の頁 3月6日
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 H. Ji, J. Xu, K. Asami, J. Ueda, M. Brik, S. Tanabe,	4. 巻 102
2. 論文標題 Local Coordination and Electronic Structure of Ce <sup>3+</sup> -in Isostructural Sr <sub>2</sub> GdAlO <sub>5</sub> -and Sr <sub>3</sub> AlO <sub>4</sub> F Phosphor	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Am. Ceram. Soc	6. 最初と最後の頁 1316-1328
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jace.15985	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 K. Asami, J. Ueda, M. Shiraiwa, K. Fujii, M. Yashima, S. Tanabe,	4. 巻 87
2. 論文標題 Redshift and thermal quenching of Ce <sup>3+</sup> -emission in (Gd,Y) <sub>3</sub> (Al,Si) <sub>5</sub> (O,N) <sub>12</sub> -oxynitride garnet phosphors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Opt. Mater.	6. 最初と最後の頁 117-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.optmat.2018.04.049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 K. Asami, M. Shiraiwa, J. Ueda, K. Fujii, K. Hongo, R. Maezono, M. G. Brik, M. Yashima, S. Tanabe,	4. 巻 7
2. 論文標題 Crystal structure analysis and evidence of mixed anion coordination at Ce <sup>3+</sup> site in Y <sub>3</sub> Al <sub>2</sub> (Al,Si) <sub>3</sub> (O,N) <sub>12</sub> oxynitride garnet phosphor	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. C	6. 最初と最後の頁 1330-1336
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8TC04980G	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 L. Li, V. Castaing, D. Rytz, A. D. Sontakke, Y. Katayama, S. Tanabe, M. Peng, B. Viana,	4. 巻 102
2. 論文標題 Tunable trap depth for persistent luminescence by cationic substitution in Pr <sup>3+</sup> :K <sub>1-x</sub> NaxNbO <sub>3</sub> perovskites	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Am. Ceram. Soc.	6. 最初と最後の頁 2629-2639
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jace.16116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 J. Ueda, J. Leano, C. Richard, K. Asami, S. Tanabe, R. Liu	4. 巻 7
2. 論文標題 Broadband Near-Infrared Persistent Luminescence of Ba[Mg <sub>2</sub> Al <sub>2</sub> N <sub>4</sub> ] with Eu <sup>2+</sup> and Tm <sup>3+</sup> after Red Light Charging	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. C	6. 最初と最後の頁 1705-1712
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8TC06090H	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Vitchaphol Motaneeyachart, Yasushi Hirose, Atsushi Suzuki, Shoichiro Nakao, Isao Harayama, Daiichiro Sekiba, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 47
2. 論文標題 Epitaxial Growth of Baddeleyite NbON Thin Films on Yttria-stabilized Zirconia by Pulsed Laser Deposition	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Chem. Lett.	6. 最初と最後の頁 65-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/cl.170914	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsukasa Katayama, Akira Chikamatsu, Yasushi Hirose, Makoto Minohara, Hiroshi Kumigashira, Isao Harayama, Daiichiro Sekiba and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 6
2. 論文標題 Ferromagnetism with strong magnetocrystalline anisotropy in A-site ordered perovskite YBaCo2O6 epitaxial thin film prepared via wet-chemical topotactic oxidation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. C	6. 最初と最後の頁 3445-3450
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C7TC05422J	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akira Chikamatsu, Yuji Kurauchi, Keisuke Kawahara, Tomoya Onozuka, Makoto Minohara, Hiroshi Kumigashira, Eiji Ikenaga, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 97
2. 論文標題 Spectroscopic and theoretical investigation of the electronic states of layered perovskite oxyfluoride Sr <sub>2</sub> RuO <sub>3</sub> F <sub>2</sub> thin films	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Phys. Rev. B	6. 最初と最後の頁 235101-1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1103/PhysRevB.97.235101	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahiro Maruyama, Akira Chikamatsu, Tomoya Onozuka, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 113
2. 論文標題 Magnetotransport properties of perovskite EuNbO <sub>3</sub> single-crystalline thin films	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Appl. Phys. Lett.	6. 最初と最後の頁 032401-1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.5034037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoya Onozuka, Akira Chikamatsu, Yasushi Hirose, Tetsuya Hasegawa	4. 巻 20
2. 論文標題 Structural and electrical properties of lanthanum copper oxide epitaxial thin films with different domain morphologies	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 CrystEngComm	6. 最初と最後の頁 5012-5016
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8CE00777B	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Atsushi Suzuki, Yasushi Hirose, Takafumi Nakagawa, Satoshi Fujiwara, Shoichiro Nakao, Yutaka Matsuo, Isao Harayama, Daiichiro Sekiba, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 1
2. 論文標題 Enhanced Electrical Conduction in Anatase TaON via Soft Chemical Lithium Insertion toward Electronics Application	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Appl. Nano Mater.	6. 最初と最後の頁 3981-3985
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsanm.8b00750	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Daichi Oka, Yasushi Hirose, Shoichiro Nakao, Masanori Kaneko, Tomoteru Fukumura, Koichi Yamashita, Tetsuya Hasegawa	4. 巻 10
2. 論文標題 Anion-substitution induced non-rigid variation of band structure in SrNbO <sub>3-x</sub> Nx (0 < x < 1) epitaxial thin films	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 35008-35015
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.8b08577	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chang Yang, Yasushi Hirose, Takuto Wakasugi, Naoki Kashiwa, Hiroki Kawai, Koichi Yamashita, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 10
2. 論文標題 Epitaxial Growth of (GaN) <sub>1-x</sub> (ZnO) <sub>x</sub> Thin Films with Wide Chemical Composition Tunability and Strong Visible Absorption	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Phys. Rev. Appl.	6. 最初と最後の頁 044001(1)-(9)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1103/PhysRevApplied.10.044001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 K. Terakado, R. Sei, H. Kawasoko, T. Koretsune, D. Oka, T. Hasegawa, and T. Fukumura	4. 巻 57
2. 論文標題 Superconductivity in anti-ThCr <sub>2</sub> Si <sub>2</sub> type Er <sub>2</sub> O <sub>2</sub> Bi induced by incorporation of excess oxygen with CaO oxidant	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Inorganic. Chem	6. 最初と最後の頁 10587-10590
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.8b01199	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akira Chikamatsu, Keisuke Kawahara, Takaaki Shiina, Tomoya Onozuka, Tsukasa Katayama, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 3
2. 論文標題 Fabrication of Fluorite-Type Fluoride Ba <sub>0.5</sub> Bi <sub>0.5</sub> F <sub>2.5</sub> Thin Films by Fluorination of Perovskite BaBiO <sub>3</sub> Precursors with Poly(vinylidene fluoride)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS omega	6. 最初と最後の頁 13141-13145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsomega.8b02252	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Dai Kutsuzawa, Yasushi Hirose, Akira Chikamatsu, Shoichiro Nakao, Yumi Watahiki, Isao Harayama, Daiichiro Sekiba, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 113
2. 論文標題 Strain-enhanced topotactic hydrogen substitution for oxygen in SrTiO <sub>3</sub> epitaxial thin film	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Appl. Phys. Lett.	6. 最初と最後の頁 253104-1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.5057370	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Atsushi Suzuki, Yasushi Hirose, Shoichiro Nakao, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 30
2. 論文標題 (TiO <sub>2</sub> ) <sub>1-x</sub> (TaO) <sub>x</sub> Solid Solution for Band Engineering of Anatase TiO <sub>2</sub>	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Chem. Mater.	6. 最初と最後の頁 8789-8794
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.chemmater.8b03231	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Q. Guo, J. B. Vaney, R. Virtudazo, R. Minami, Y. Michiue, Y. Yamabe-Mitarai, and T. Mori	4. 巻 57
2. 論文標題 Thermoelectric Properties of Variants of Cu <sub>4</sub> Mn <sub>2</sub> Te <sub>4</sub> with Spinel-related Structure	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Inorganic Chemistry	6. 最初と最後の頁 5258-5266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.8b00301	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Karsten Rasim, Reiner Ramlau, Andreas Leithe-Jasper, Takao Mori, Ulrich Burkhardt, Horst Borrmann, Walter Schnelle, Christian Carbogno, Matthias Scheffler, and Yuri Grin	4. 巻 57
2. 論文標題 Local Atomic Arrangements and Band Structure of Boron Carbide	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Angewandte Chemie Int. Ed.	6. 最初と最後の頁 6130 -6135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/anie.201800804	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Q. Guo, J. B. Vaney, R. Virtudazo, R. Minami, Y. Michiue, Y. Yamabe-Mitarai, and T. Mori	4. 巻 57
2. 論文標題 Thermoelectric Properties of Variants of Cu <sub>4</sub> Mn <sub>2</sub> Te <sub>4</sub> with Spinel-related Structure	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Inorganic Chemistry	6. 最初と最後の頁 5258-5266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.8b00301	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 I. Petsagkourakis, K. Tybrandt, X. Crispin, I. Ohkubo, N. Satoh, and T. Mori	4. 巻 19
2. 論文標題 Thermoelectric Materials and Applications for Energy Harvesting Power Generation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Science and Technology of Advanced Materials	6. 最初と最後の頁 836-862
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14686996.2018.1530938	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Angga Hermawan, HyoungWon Son, Yusuke Asakura, Takao Mori, and Shu Yin	4. 巻 6
2. 論文標題 Synthesis of Morphology Controllable Aluminium Nitride by Direct Nitridation of --AlOOH in the Presence of N <sub>2</sub> H <sub>4</sub> and Their Sintering Behavior	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Asian Ceramic Societies	6. 最初と最後の頁 63-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21870764.2018.1439611	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Dongjoon Song, Gabin Guelou, Takao Mori, Masayuki Ochi, Kazuhiko Kuroki, Hiroshi Fujihisa, Yoshito Gotoh, Yuki Iwasa, Hiroshi Eisaki and Hiraku Ogino	4. 巻 6
2. 論文標題 Synthesis and the Physical Properties of Layered Copper Oxytellurides Sr <sub>2</sub> TMCu <sub>2</sub> Te <sub>2</sub> O <sub>2</sub> (TM = Mn, Co, Zn)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Materials Chemistry C	6. 最初と最後の頁 12260-12266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8TC04506B	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Marek Piotrowski, Miguel Franco, Viviana Sousa, Jos- Rodrigues, Francis Leonard Deepak, Yohei Kakefuda, Tetsuya Baba, Naoyuki Kawamoto, Bryan Owens-Baird, Pedro Alpuim, Kirill Kovnir, Takao Mori, and Yury V. Kolenko	4. 巻 122
2. 論文標題 Probing of Thermal Transport in 50-nm Thick PbTe Nanocrystal Film by Time-Domain Thermoreflectance	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Physical Chemistry C	6. 最初と最後の頁 27127-27134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.8b04104	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Leilane R. Macario, Xiaoyu Cheng, Daniel Ramirez, Takao Mori, and Holger Kleinke	4. 巻 10
2. 論文標題 Thermoelectric Properties of Bi-Doped Magnesium Silicide Stannides	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 40585-40591
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.8b15111	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Pan He, Satoshi Shimano, Krishnachary Salikolimi, Takashi Isoshima, Yohei Kakefuda, Takao Mori, Yasujiro Taguchi, Yoshihiro Ito, and Masuki Kawamoto	4. 巻 11
2. 論文標題 Noncovalent Modification of Single-Walled Carbon Nanotubes Using Thermally Cleavable Polythiophenes for Solution-Processed Thermoelectric Films	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 4211-4218
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.8b14820	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 A. Novitskii, G. Guelou, D. Moskovskikh, A. Voronin, E. Zakharova, L. Shvanskaya, A. Bogach, A. Vasiliev, V. Khovaylo, T. Mori	4. 巻 785
2. 論文標題 Reactive spark plasma sintering and thermoelectric properties of Nd-substituted BiCuSeO oxyselenides	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Alloys and Compounds	6. 最初と最後の頁 96-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jallcom.2019.01.183	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tomoki Kanazawa, Kazuhiko Maeda	4. 巻 7
2. 論文標題 Chromium-Substituted Hematite Powder as a Catalytic Material for Photochemical and Electrochemical Water Oxidation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Catal. Sci. Technol.	6. 最初と最後の頁 2940-2946
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C7CY00580F	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akira Miura, Takayoshi Oshima, Kazuhiro Maeda, Yoshikazu Mizuguchi, Chikako Moriyoshi, Yoshihiro Kuroiwa, Yu Meng, Xiaodong Wen, Masanori Nagao, Mikio Higuchi, Kiyoharu Tadanaga	4. 巻 5
2. 論文標題 Synthesis, structure and photocatalytic activity of layered La0InS2	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. A	6. 最初と最後の頁 14270-14277
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C7TA04440B	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Keisuke Wada, Chandana Sampath Kumara Ranasinghe, Ryo Kuriki, Akira Yamakata, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda	4. 巻 9
2. 論文標題 Interfacial Manipulation by Rutile TiO2 Nanoparticles to Boost CO2 Reduction into CO on a Metal-Complex/Semiconductor Hybrid Photocatalyst	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 23869-23877
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.7b07484	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Keisuke Hibino, Masatomo Yashima, Takayoshi Oshima, Kotaro Fujii, Kazuhiko Maeda	4. 巻 46
2. 論文標題 Crystal structure, electron density and characterization of visible-light responsive photocatalysts, (BaTa <sub>0.2</sub> N) <sub>1-x</sub> (SrW <sub>0.2</sub> N) <sub>x</sub> solid solutions	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Dalton Trans.	6. 最初と最後の頁 14947-14956
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C7DT02873C	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miharu Eguchi, Masako Momotake, Fumie Inoue, Takayoshi Oshima, Kazuhiko Maeda, Masayoshi Higuchi	4. 巻 9
2. 論文標題 Inert Layered Silicate Improves the Electrochemical Responses of a Metal Complex Polymer	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 35498-35503
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.7b13311	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Megumi Okazaki, Miharu Eguchi, Tomoki Uchiyama, Daling Lu, Hideki Kato, Yoshiharu Uchimoto, Masato Kakihana, Kazuhiko Maeda	4. 巻 46
2. 論文標題 Effects of the Structure of a SrTiO <sub>3</sub> Support on Visible Light Water Oxidation with Co <sub>3</sub> O <sub>4</sub> Nanoparticles	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Dalton Trans.	6. 最初と最後の頁 16959-16966
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C7DT03444J	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koki Ishimaki, Tomoki Uchiyama, Megumi Okazaki, Daling Lu, Yoshiharu Uchimoto, Kazuhiko Maeda	4. 巻 91
2. 論文標題 Influence of TiO <sub>2</sub> Support on Activity of Co <sub>3</sub> O <sub>4</sub> /TiO <sub>2</sub> Photocatalysts for Visible-Light Water Oxidation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Bull. Chem. Soc. Jpn.	6. 最初と最後の頁 486-491
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/bcsj.20170373	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Kazuhiko Maeda	4. 巻 -
2. 論文標題 CO2 reduction using oxynitrides and nitrides under visible light	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Progress in Solid State Chem.	6. 最初と最後の頁 In Press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.progsolidstchem.2017.11.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前田和彦	4. 巻 52
2. 論文標題 酸窒化物を光触媒とした可視光水分解とCO2還元	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 セラミックス	6. 最初と最後の頁 812-815
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 K. Maeda, Y. Tokunaga, K. Hibino, K. Fujii, H. Nakaki, T. Uchiyama, M. Eguchi, D. Lu, S. Ida, Y. Uchimoto, M. Yashima	4. 巻 1
2. 論文標題 New Precursor Route Using a Compositionally Flexible Layered Oxide and Nanosheets for Improved Nitrogen-Doping and Photocatalytic Activity	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Appl. Energy Mater.	6. 最初と最後の頁 1734-1741
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsaem.8b00256	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroshi Kageyama, Katsuro Hayashi, Kazuhiko Maeda, J. Paul Attfield, Zenji Hiroi, James Rondinelli, Kenneth R. Poeppelmeier	4. 巻 9
2. 論文標題 Expanding frontiers in materials chemistry and physics with multiple anions	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Comm.	6. 最初と最後の頁 772
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-02838-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 J. Xu, J. Ueda, S. Tanabe	4. 巻 100
2. 論文標題 Toward tunable and bright deep-red persistent luminescence of Cr <sup>3+</sup> in garnets	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Am. Ceram. Soc	6. 最初と最後の頁 4033-4044
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jace.14942	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 K. Asami, J. Ueda, S. Tanabe	4. 巻 41
2. 論文標題 Flicker Suppression of AC Driven White LED by Yellow Persistent Phosphor of Ce <sup>3+</sup> -Cr <sup>3+</sup> Co-doped Garnet	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Sci. & Tech. Lt	6. 最初と最後の頁 IEIJ160000599
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2150/jstl.IEIJ160000599	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 J. Xu, N. J. Cherepy, J. Ueda, S. Tanabe	4. 巻 206
2. 論文標題 Red persistent luminescence in rare earth-free AlN:Mn <sup>2+</sup> +phosphor	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Mater. Lett.	6. 最初と最後の頁 175-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.matlet.2017.07.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 J. Ueda, A. Hashimoto, S. Takemura, K. Ogasawara, P. Dorenbos, S. Tanabe	4. 巻 192
2. 論文標題 Vacuum referred binding energy of 3d transition metal ions for persistent and photostimulated luminescence phosphors of cerium-doped garnets	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Lumin.	6. 最初と最後の頁 371-375
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jlumin.2017.07.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 J. Xu, D. Murata, Y. Katayama, J. Ueda, S. Tanabe	4. 巻 5
2. 論文標題 Cr <sup>3+</sup> /Er <sup>3+</sup> co-doped LaAlO <sub>3</sub> perovskite phosphor: a near-infrared persistent luminescence probe covering the first and third biological windows	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. B	6. 最初と最後の頁 6385-6393
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C7TB01332A	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 J. Ueda, R. Maki, S. Tanabe	4. 巻 56
2. 論文標題 Vacuum Referred Binding Energy (VRBE)-Guided Design of Orange Persistent Ca <sub>3</sub> Si <sub>2</sub> O <sub>7</sub> :Eu <sup>2+</sup> Phosphors	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Inorg. Chem.	6. 最初と最後の頁 10353-10360
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.7b01214	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Y. Katayama, T. Kayumi, J. Ueda, P. Dorenbos, B. Viana, S. Tanabe	4. 巻 34
2. 論文標題 The role of Ln <sup>3+</sup> (Ln = Eu, Yb) in persistent red luminescence in MgGeO <sub>3</sub> :Mn <sup>2+</sup>	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. C	6. 最初と最後の頁 8893-8900
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C7TC03151C	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 J. Ueda, S. Tanabe, K. Takahashi, T. Takeda, N. Hirosaki,	4. 巻 91
2. 論文標題 Thermal Quenching Mechanism of CaAlSiN <sub>3</sub> :Eu <sup>2+</sup> Red Phosphor	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Bull. Chem. Soc. Jpn	6. 最初と最後の頁 173-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/bcsj.20170307	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 T. Onozuka, A. Chikamatsu, T. Katayama, Y. Hirose, I. Harayama, D. Sekiba, E. Ikenaga, M. Minohara, H. Kumigashira, and T. Hasegawa	4. 巻 9
2. 論文標題 Reversible Changes in Resistance of Perovskite Nickelate NdNiO <sub>3</sub> Thin Films Induced by Fluorine Substitution	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 10882-10887
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.7b00855	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuji Kurauchi, Hideyuki Kamisaka, Tsukasa Katayama, Akira Chikamatsu, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 121
2. 論文標題 First-Principles Calculations on the Crystal/electronic Structure and Phase Stability of H-Doped SrFeO <sub>2</sub>	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Phys. Chem. C	6. 最初と最後の頁 7478-7484
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.6b12863	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Vitchaphol Motaneeyachart, Yasushi Hirose, Atsushi Suzuki, Shoichiro Nakao, Isao Harayama, Daiichiro Sekiba, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 47
2. 論文標題 Epitaxial Growth of Baddeleyite NbON Thin Films on Yttria-stabilized Zirconia by Pulsed Laser Deposition	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Chem. Lett.	6. 最初と最後の頁 65-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/cl.170914	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 R.V. Rivera Virtudazo, Q. Guo, R. Wu and T. Mori	4. 巻 7
2. 論文標題 An alternative, faster and simpler method for the formation of hierarchically porous ZnO particles and their thermoelectric performance	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 RSC Advances	6. 最初と最後の頁 31960-31968
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C7RA05067D	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 T. Mori	4. 巻 51
2. 論文標題 Utilizing nanotechnology and novel materials & concepts for advanced thermoelectric and thermal management technology development	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Semiconductors	6. 最初と最後の頁 965-967
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21883/FTP.2017.07.44662.10	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 J.-L. Innocent, D. Portehault, G. Gouget, S. Maruyama, I. Ohkubo, and T. Mori	4. 巻 6
2. 論文標題 Thermoelectric properties of boron carbide/HfB2 composites	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Mater. Renew. Sustain. Energy	6. 最初と最後の頁 6:1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s40243-017-0090-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 A. U. Khan, R. A. R. A. Orabi, A. Pakdel, J. B. Vaney, B. Fontaine, R. Gautier, J. F. Halet, S. Mitani, and T. Mori	4. 巻 29
2. 論文標題 Sb Doping of Metallic CuCr2S4 as a Route to Highly Improved Thermoelectric Properties	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Chemistry of Materials	6. 最初と最後の頁 2988-2996
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.chemmater.6b05344	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 K. Kobayashi, A. U. Khan, and T. Mori	4. 巻 56
2. 論文標題 Electronic structures of Si- and Te-doped CoSb3 compounds under high pressures	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Applied Physics	6. 最初と最後の頁 05FB07(1-7)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7567/JJAP.56.05FB07	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 J. B. Vaney, E. Benson, Y. Michiue, and T. Mori	4. 巻 255
2. 論文標題 Evaluation of the f-electron rare-earth copper telluride $GdCu_{1+x}Te_2$ as a thermoelectric material	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Solid State Chem.	6. 最初と最後の頁 193-199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jssc.2017.08.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Y. Kakefuda, K. Yubuta, T. Shishido, A. Yoshikawa, S. Okada, H. Ogino, N. Kawamoto, T. Baba, and T. Mori	4. 巻 5
2. 論文標題 Thermal conductivity of $PrRh_{4.8B2}$ , a layered boride compound	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 APL Materials	6. 最初と最後の頁 126103-(1-7)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.5005869	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 T. Mori	4. 巻 13
2. 論文標題 Novel principles and nanostructuring methods for enhanced thermoelectrics	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Small	6. 最初と最後の頁 1702013-(1-10)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/smll.201702013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森孝雄	4. 巻 52
2. 論文標題 複合アニオンによって生み出される高性能、高制御性の熱電変換材料	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 セラミックス	6. 最初と最後の頁 825-828
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 I. Ohkubo and T. Mori	4. 巻 86
2. 論文標題 Comparative Study of Exchange-Correlation Functional and Potential Comparative Study of Exchange-Correlation Functional and Potential for Evaluating Thermoelectric Transport Properties in d0 Perovskite Oxides	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of the Physical Society of Japan	6. 最初と最後の頁 074705-(1-7)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7566/JPSJ.86.074705	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chikashi Shinagawa, Hiroshi Ushiyama, and Koichi Yamashita	4. 巻 164
2. 論文標題 Multiscale Simulations for Lithium-Ion Batteries: SEI Film Growth and Capacity Fading	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Electrochem. Soc.	6. 最初と最後の頁 A3018-A3024
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1149/2.0381713jes	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Y. Masubuchi, S. Nishitani, A. Hosono, Y. Kitagawa, J. Ueda, S. Tanabe, H. Yamane, M. Higuchi, S. Kikkawa	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Red-emission over a wide range of wavelength at various temperatures from tetragonal BaCN2:Eu2+	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. C	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8TC01289J	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 K. Asami, J. Ueda, M. Shiraiwa, K. Fujii, M. Yashima, S. Tanabe	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Redshift and thermal quenching of Ce3+ emission in (Gd,Y)3(Al,Si)5(O,N)12 oxynitride garnet phosphors	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Opt. Mater.	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiko Maeda, Daehyeon An, Chandana Sampath Kumara Ranasinghe, Tomoki Uchiyama, Ryo Kuriki, Tomoki Kanazawa, Daling Lu, Shunsuke Nozawa, Akira Yamakata, Yoshiharu Uchimoto, Osamu Ishitani	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Characterization of silver species on graphitic carbon nitride nanosheets as promoters for photocatalytic carbon dioxide reduction under visible light with a ruthenium(II) complex	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. A	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C8TA03245A	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Keisuke Wada, Miharuru Eguchi, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda	4. 巻 10
2. 論文標題 Activation of the Carbon Nitride Surface by Silica in a CO Evolving Hybrid Photocatalyst	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ChemSusChem	6. 最初と最後の頁 287-295
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cssc.201600661	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akinobu Nakada, Shunta Nishioka, Junie Jhon M. Vequizo, Kanemichi Muraoka, Tomoki Kanazawa, Akira Yamakata, Shunsuke Nozawa, Hiromu Kumagai, Shin-ichi Adachi, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Solar-driven Z-scheme water splitting using tantalum/nitrogen co-doped rutile titania nanorod as an oxygen evolution photocatalyst	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. A	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C6TA10541F	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiko Maeda, Koki Ishimaki, Megumi Okazaki, Tomoki Kanazawa, Daling Lu, Shunsuke Nozawa, Hideki Kato, Masato Kakihana	4. 巻 9
2. 論文標題 Cobalt Oxide Nanoclusters on Rutile Titania as Bifunctional Units for Water Oxidation Catalysis and Visible-Light-Absorption: Understanding the Structure-Activity Relationship	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 6114-6122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.6b15804	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Takayoshi Oshima, Toshiyuki Yokoi, Miهارu Eguchi, Kazuhiko Maeda	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Synthesis and photocatalytic activity of K <sub>2</sub> CaNaNb <sub>3</sub> O <sub>10</sub> , a new Ruddlesden-Popper phase layered perovskite	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Dalton Trans.	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C6DT04872B	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Kuriki, Muneaki Yamamoto, Kimitaka Higuchi, Yuta Yamamoto, Masato Akatsuka, Daling Lu, Shinya Yagi, Tomoko Yoshida, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda	4. 巻 56
2. 論文標題 Robust Binding between Carbon Nitride Nanosheets and a Binuclear Ruthenium(II) Complex Enabling Durable, Selective CO <sub>2</sub> Reduction under Visible Light in Aqueous Solution	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Angew. Chem., Int. Ed.	6. 最初と最後の頁 4867-4871
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/anie.201701627	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiromu Kumagai, Go Sahara, Kazuhiko Maeda, Masanobu Higashi, Ryu Abe, Osamu Ishitani	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Hybrid photocathode consisting of CuGaO <sub>2</sub> p-type semiconductor and a Ru(II)-Re(I) supramolecular photocatalyst: Non-biased visible-light-driven CO <sub>2</sub> reduction with water oxidation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Chem. Sci.	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C7SC00940B	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 A. D. Sontakke, J. Ueda, S. Tanabe	4. 巻 431
2. 論文標題 Effect of synthesis conditions on Ce <sup>3+</sup> luminescence in borate glasses	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Non-Cryst. Solids	6. 最初と最後の頁 150-153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jnoncrysol.2015.04.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 A. D. Sontakke, J. Ueda, S. Tanabe,	4. 巻 170
2. 論文標題 Significance of host's intrinsic absorption band tailing on Ce <sup>3+</sup> luminescence quantum yield in borate glass	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Lumin.	6. 最初と最後の頁 785-788
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jlumin.2015.09.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Y. Katayama, H. Kobayashi, J. Ueda, B. Viana, S. Tanabe	4. 巻 6
2. 論文標題 Persistent luminescence properties of Cr <sup>3+</sup> -activated LaAlO <sub>3</sub> perovskite	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Opt. Mater. Express	6. 最初と最後の頁 1500-1505
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1364/OME.6.001500	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Y. Katayama, B. Viana, D. Gourier, J. Xu, S. Tanabe	4. 巻 6
2. 論文標題 Photostimulation induced persistent luminescence in Y <sub>3</sub> Al <sub>2</sub> Ga <sub>3</sub> O <sub>12</sub> :Cr <sup>3+</sup>	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Opt. Mater. Express	6. 最初と最後の頁 1405-1413
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1364/OME.6.001405	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 S. Mahlik, A. Lazarowska, J. Ueda, S. Tanabe, M. Grinberg	4. 巻 18
2. 論文標題 Spectroscopic properties and location of the Ce <sup>3+</sup> energy levels in Y <sub>3</sub> Al <sub>2</sub> Ga <sub>3</sub> O <sub>12</sub> and Y <sub>3</sub> Ga <sub>5</sub> O <sub>12</sub> at ambient and high hydrostatic pressure	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Phys. Chem. Chem. Phys.	6. 最初と最後の頁 6683-6690
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C5CP07732J	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 J. Xu, J. Ueda, S. Tanabe	4. 巻 4
2. 論文標題 Novel persistent phosphors of lanthanide-chromium co-doped yttrium aluminum gallium garnet: design concept with vacuum referred binding energy diagram	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. C	6. 最初と最後の頁 4380-4386
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C6TC00802J	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 A. D. Sontakke, J. Ueda, J. Xu, K. Asami, M. Katayama, Y. Inada, S. Tanabe	4. 巻 120
2. 論文標題 A Comparison on Ce <sup>3+</sup> Luminescence in Borate Glass and YAG Ceramic - Understanding the Role of Host's Characteristics	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Phys. Chem. C	6. 最初と最後の頁 17683-17691
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.6b04159	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 K. Asami, J. Ueda, S. Tanabe	4. 巻 62
2. 論文標題 Trap depth and color variation of Ce <sup>3+</sup> -Cr <sup>3+</sup> co-doped Gd <sub>3</sub> (Al,Ga) <sub>5</sub> O <sub>12</sub> garnet persistent phosphors	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Opt. Mater.	6. 最初と最後の頁 171-175
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.optmat.2016.09.052	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 M. Back, E. Trave, J. Ueda, S. Tanabe	4. 巻 28
2. 論文標題 Ratiometric Optical Thermometer Based on Dual Near-Infrared Emission in Cr <sup>3+</sup> -doped Bismuth-based Gallate Host	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Chem. Mater.	6. 最初と最後の頁 8347-8356
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.chemmater.6b03625	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Y. Zhuang, Y. Lv, Y. Li, T. Zhou, J. Xu, J. Ueda, S. Tanabe, R. J. Xie	4. 巻 55
2. 論文標題 Study on Trap Levels in SrSi <sub>2</sub> AlO <sub>2</sub> N <sub>3</sub> :Eu <sup>2+</sup> ,Ln <sup>3+</sup> Persistent Phosphors Based on Host-Referred Binding Energy Scheme and Thermoluminescence Analysis	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Inorg. Chem.	6. 最初と最後の頁 11890-11897
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.6b01971	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 J. Xu, D. Murata, J. Ueda, S. Tanabe,	4. 巻 4
2. 論文標題 Near-infrared long persistent luminescence of Er <sup>3+</sup> in garnet for the third bio-imaging window	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Mater. Chem. C	6. 最初と最後の頁 11096-11103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/C6TC04027F	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 J. Ueda, M. Yagi, S. Tanabe,	4. 巻 5
2. 論文標題 Investigation of Luminescence and Photoacoustic Properties in Ce <sup>3+</sup> -Doped Ln <sub>3</sub> Al <sub>5</sub> O <sub>12</sub> (Ln = Lu, Y, Gd) Garnet	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 ECS J. Solid State Sci. Technol.	6. 最初と最後の頁 R219-R222
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1149/2.0241612jss	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Y. Katayama, A. Hashimoto, J. Xu, J. Ueda, S. Tanabe	4. 巻 183
2. 論文標題 Thermoluminescence investigation on Y <sub>3</sub> Al <sub>5</sub> -xGaxO <sub>12</sub> :Ce <sup>3+</sup> -Bi <sup>3+</sup> green persistent phosphors	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Lumin.	6. 最初と最後の頁 355-359
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jlumin.2016.11.074	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 J. Ueda, A. Meijerink, P. Dorenbos, A. J. J. Bos, S. Tanabe	4. 巻 95
2. 論文標題 Thermal ionization and thermally activated crossover quenching processes for 5d-4f luminescence in Y3Al5-xGaxO12:Pr3+	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Phys. Rev. B	6. 最初と最後の頁 14303
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1103/PhysRevB.95.014303	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 E. Watanabe, J. Rossmeisl, M. Bjorketun, H. Ushiyama, K. Yamashita	4. 巻 120
2. 論文標題 Atomic-scale analysis of the RuO2/water interface under electrochemical conditions	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Phys. Chem. C	6. 最初と最後の頁 8096-8103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.5b12448	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ayaka Kuroki, Hiroshi Ushiyama, Koichi Yamashita	4. 巻 89
2. 論文標題 Proton Transfer Dynamics in Protonated Benzene	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Bull. Chem. Soc. Jpn.	6. 最初と最後の頁 804-809
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/bcsj.20150365	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomotaka Kunisada, Hiroshi Ushiyama, Koichi Yamashita	4. 巻 116
2. 論文標題 A new implementation of ab initio Ehrenfest dynamics using electronic configuration basis; exact formulation with molecular orbital connection and effective propagation scheme with locally quasi-diabatic representation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Int. J. Quant. Chem.	6. 最初と最後の頁 1205-1213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/qua.25156	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ayaka Kuroki, Hiroshi Ushiyama, Koichi Yamashita	4. 巻 1090
2. 論文標題 Theoretical studies on ammonia borane dehydrogenation catalyzed by iron pincer complexes	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Computational and Theoretical Chemistry, 1090, 214-217	6. 最初と最後の頁 214-217
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.comptc.2016.06.017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoya Onozuka, Akira Chikamatsu, Tsukasa Katayama, Yasushi Hirose, Isao Harayama, Daiichiro Sekiba, Eiji Ikenaga, Makoto Minohara, Hiroshi Kumigashira, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 9
2. 論文標題 Reversible Changes in Resistance of Perovskite Nickelate NdNiO <sub>3</sub> Thin Films Induced by Fluorine Substitution	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ACS Appl. Mater. Interfaces	6. 最初と最後の頁 10882-10887
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsami.7b00855	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuji Kurauchi, Hideyuki Kamisaka, Tsukasa Katayama, Akira Chikamatsu, and Tetsuya Hasegawa	4. 巻 121
2. 論文標題 First-Principles Calculations on the Crystal/electronic Structure and Phase Stability of H-Doped SrFeO <sub>2</sub>	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Phys. Chem. C	6. 最初と最後の頁 7478-7484
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.6b12863	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 J.-L. Innocent, D. Portehault, G. Gouget, S. Maruyama, I. Ohkubo, and T. Mori	4. 巻 6
2. 論文標題 Thermoelectric properties of boron carbide/HfB <sub>2</sub> composites	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Mater. Renew. Sustain. Energy	6. 最初と最後の頁 6:1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s40243-017-0090-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計447件（うち招待講演 147件 / うち国際学会 203件）

1. 発表者名 王彦昌、吉成崇宏、中木寛之、曹碩、山本健太郎、内山智貴、辻本吉廣、山本隆文、陰山洋、内本喜晴
2. 発表標題 全固体フッ化物イオン二次電池における新規酸フッ化物正極材料の開発
3. 学会等名 新学術複合アニオン会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 曹碩、中木寛之、吉成崇宏、松永利行、山本健太郎、内山智貴、山本隆文、陰山洋、内本喜晴
2. 発表標題 ペロブスカイト酸化物への電気化学的フッ化物イオン挿入
3. 学会等名 新学術複合アニオン会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡辺 有人、山本 健太郎、内山 智貴、林 晃敏、前田 和彦、陰山洋、内本 喜晴
2. 発表標題 新規リチウム過剰酸窒化物正極の電気化学特性と反応機構解明
3. 学会等名 新学術複合アニオン会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 J. Xu, D. Murata, M. Back, J. Ueda, M. Brik, S. Tanabe
2. 発表標題 Ratiometric Optical Thermometer Based on Exchange-Coupled Cr <sup>3+</sup> pairs in LaAlO <sub>3</sub> : Old Story Approaching New Application
3. 学会等名 The Eleventh International Conference on High-Performance Ceramics (CICC) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Y. Kitagawa, E. Yukihiro, S. Tanabe,
2. 発表標題 Preparation and Luminescence Characteristics of Ce <sup>3+</sup> -Li <sup>+</sup> Co-doped Magnesium Borate Glass Ceramics for Dosimetry
3. 学会等名 25th Int'l Congress on Glass (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 S. Tanabe, K. Asami, J. Ueda,
2. 発表標題 Long persistent luminescence and blue photochromism in Eu <sup>2+</sup> -Dy <sup>3+</sup> codoped barium silicate glass ceramic phosphor
3. 学会等名 25th Int'l Congress on Glass (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 S. Tanabe,
2. 発表標題 Rare-Earths Doped Glass and Ceramic Materials for Telecommunication and Lighting
3. 学会等名 25th Int'l Congress on Glass (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 S. Tanabe,
2. 発表標題 Scintillators and Active Crystalline media
3. 学会等名 The 1st North American Summer School on Photonic Materials (NASSPM) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 上田純平, 宮野 隼, 田部勢津久,
2. 発表標題 Ce <sup>3+</sup> -Yb <sup>3+</sup> 共添加残光蛍光体における電子トラップ濃度の見積もり
3. 学会等名 第35回希土類討論会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 J. Xu, D. Murata, B. So, J. Ueda, J. Heo, S. Tanabe
2. 発表標題 1.2 $\mu$ m Persistent Luminescence of Ho <sup>3+</sup> in LaAlO <sub>3</sub> and LaGaO <sub>3</sub> Perovskites
3. 学会等名 EMN Meeting on Nanoparticles 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 M. Back, J. Ueda, S. Tanabe,
2. 発表標題 Cr <sup>3+</sup> -activated Phosphors: Advanced Ratiometric Luminescent Thermometers for Biological Applications
3. 学会等名 2019 6th Global Conference on Polymer and Composite Materials (PCM 2019) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 S. Tanabe, J. Ueda, M. Harada
2. 発表標題 Pressure Changes Electronic Structures and Luminescence Characteristics of Phosphor Materials
3. 学会等名 2nd International Conference on Semiconductors, Optoelectronics and Nanostructures (ICSON-2019) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 J. Ueda
2. 発表標題 Design and Development of Persistent Phosphors Based on Electronic Structure
3. 学会等名 The 2nd International Conference on Advanced Structural and Functional Materials (The 2nd ICAS) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 J. Ueda,
2. 発表標題 Understanding the luminescence properties of Ce <sup>3+</sup> -doped garnet phosphors on the basis of composition, crystal and electronic structure
3. 学会等名 8th international workshops on Photoluminescence in Rare Earths: Photonic Materials and Devices (PRE'19) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 M. Back
2. 発表標題 Absolute Sensitivity in Boltzmann-based Luminescent Thermometers: The Case Study of Mullite-type Bi <sub>2</sub> M <sub>4</sub> O <sub>9</sub> :Cr <sup>3+</sup> (M=Ga,Al)
3. 学会等名 Excited States of Transitions Elements (ESTE2019) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 S. Tanabe,
2. 発表標題 Mixed-anion ceramic phosphors with asymmetric ligand field for rare-earths
3. 学会等名 Materials Science & Technology 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北川裕貴, 上田純平, 田部勢津久,
2. 発表標題 YSiO2Nが有する低/高対称性Y3+サイト中におけるEu3+の5D0 → 7F2電気双極子遷移確率の評価
3. 学会等名 第80回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Y. Kitagawa, J. Ueda, S. Tanabe,
2. 発表標題 Anion-substitution Effect on Eu3+ luminescence in YOx (X = Cl or Br)
3. 学会等名 The 13th Pacific Rim Conference of Ceramic Societies (PACRIM13) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 S. Tanabe,
2. 発表標題 Transparent Ceramic Persistent Phosphors
3. 学会等名 The 13th Pacific Rim Conference of Ceramic Societies (PACRIM14) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 S. Tanabe, J. Xu,
2. 発表標題 Rechargeable Persistent Phosphor for the First and Third Bio-imaging Windows by Traps Redistribution
3. 学会等名 Phosphor Safari 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 J. Ueda
2. 発表標題 Understanding luminescence and persistent luminescence properties of Ce <sup>3+</sup> -doped garnet phosphors
3. 学会等名 Phosphor Safari 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 J. Xu J. Ueda, S. Tanabe,
2. 発表標題 Garnet Ceramic Persistent Phosphors toward Efficient Flicker Suppression in Remote-Type AC-wLEDs
3. 学会等名 Phosphor Safari 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Y. Kitagawa, J. Ueda, M. G. Brik, S. Tanabe,
2. 発表標題 Intense hypersensitive luminescence of Eu <sup>3+</sup> in distorted sites with mixed-anion coordination excitable by near-UV
3. 学会等名 Phosphor Safari 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 華 瀚森、北川 裕貴、上田 純平、田部 勢津久、鱒淵 友治、
2. 発表標題 Eu <sup>2+</sup> イオンの5d-4f 発光エネルギーの圧力依存性と体積弾性率との相関
3. 学会等名 第60回ガラスおよびフォトニクス材料討論会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 J. Xu, J. Ueda, S. Tanabe,
2. 発表標題 Garnet ceramic persistent phosphors toward efficient flicker suppression in Remote-Type AC-wLEDs
3. 学会等名 第60回ガラスおよびフォトニクス材料討論会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 J. Xu, J. Ueda, S. Tanabe,
2. 発表標題 Persistent Luminescence in Garnets: from Visible to Near-Infrared Light
3. 学会等名 レーザー学会学術講演会 第40回年次大会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 M. Back, 上田 純平, 田部 勢津久,
2. 発表標題 Cr <sup>3+</sup> 添加ビスマス酸化物の優れた蛍光温度センサ挙動
3. 学会等名 The 30th Meeting on Glasses for Photonics 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近松 彰
2. 発表標題 複合アニオン酸化物薄膜の合成と物性
3. 学会等名 OIST seminar (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近松 彰、丸山 敬裕、片山 司、Yu Su、辻本 吉廣、山浦 一成、北村 未歩、堀場 弘司、組頭 広志、長谷川 哲也
2. 発表標題 ペロブスカイト型酸フッ化物SrCrO <sub>3</sub> -xFx薄膜の作製と電子状態
3. 学会等名 第80回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 丸山 敬裕、近松 彰、廣瀬 靖、片山 司、長谷川 哲也
2. 発表標題 EuNbO <sub>3</sub> -xNx 薄膜における負の磁気抵抗効果
3. 学会等名 第80回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 廣瀬 靖、田中 駿也、沓澤大、小川大輔、森河和雄、長谷川 哲也
2. 発表標題 SrFeO <sub>3</sub> -x薄膜のナノスケールポタクティック酸化還元における基板の効果
3. 学会等名 第80回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 若杉 択人、廣瀬 靖、熊谷 啓、前田 和彦、長谷川 哲也
2. 発表標題 結晶面方位を制御したCaTaO <sub>2</sub> N薄膜へのCoO <sub>x</sub> の光析出と光電極特性への影響
3. 学会等名 第80回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近松 彰
2. 発表標題 複合アニオン酸化物薄膜の合成と電子物性
3. 学会等名 第5回QLCセミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takuto Wakasugi, Yasushi.Hirose, Shoichiro.Nakao, Hiromu.Kumagai, Kazuhiko.Maeda, Tetsuya.Hasegawa
2. 発表標題 Influence of Crystallographic Orientation on the Activity of Photoelectrochemical Water Splitting with CaTaO <sub>2</sub> N
3. 学会等名 3th Pacific Rim Conference on Ceramic and Glass Technology (PACRIM 13) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takahiro Maruyama, Akira Chikamatsu, Tsukasa Katayama, Kenta Kuramochi, Hiraku Ogino, Miho Kitamura, Koji Horiba, Hiroshi Kumigashira, and Tetsuya Hasegawa
2. 発表標題 Fabrication and electronic states of Sr <sub>2</sub> IrO <sub>4-x</sub> F <sub>2x</sub> thin films by topotactic fluorination
3. 学会等名 3th Pacific Rim Conference on Ceramic and Glass Technology (PACRIM 13) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 丸山敬裕、近松彰、廣瀬靖、片山司、杉澤悠紀、関場大一郎、長谷川哲也
2. 発表標題 EuNbO <sub>3-x</sub> N <sub>x</sub> 薄膜における負の磁気抵抗効果
3. 学会等名 第13回物性科学領域横断研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近松彰、丸山敬裕、片山司、Yu Su、辻本吉廣、山浦一成、北村未歩、堀場弘司、組頭広志、長谷川哲也
2. 発表標題 低温トポタクティック合成法により作製されたペロブスカイト型酸フッ化物SrCrO <sub>3-x</sub> F <sub>x</sub> 薄膜の電子物性
3. 学会等名 第13回物性科学領域横断研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Michitaka FUKUMOTO, Shoichiro NAKAO, Yasushi HIROSE, Tetsuya HASEGAWA
2. 発表標題 Fabrication of P-doped SnO <sub>2</sub> thin films by pulsed laser deposition
3. 学会等名 Materials Research Meeting 2019 (MRM2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasushi Hirose
2. 発表標題 Functionalization of oxide-based mixed anion compound thin films
3. 学会等名 Materials Research Meeting 2019 (MRM2019) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Materials and Applicative Issues for Thermoelectric Energy Harvesting to Power IoT Sensors and Devices
3. 学会等名 ICT2019 (38th Annual International Conference on Thermoelectrics & 4th Asian Conference on Thermoelectrics (ACT2019)) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Magnetic and thermoelectric properties of layered and clustered borides
3. 学会等名 EUROMAT2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森孝雄
2. 発表標題 IoTセンサー動作電源へ向けた新原理高性能熱電材料およびデバイスの開発
3. 学会等名 第67回応用物理学会春季学術講演会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Fabrication and properties evaluation of thermoelectric thin films
3. 学会等名 TMS2020(149th Annual Meeting) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 森孝雄
2. 発表標題 IoT熱環境発電へ向けた新原理高性能熱電材料およびデバイスの開発
3. 学会等名 日本化学会 第100春季年会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 森孝雄
2. 発表標題 磁性を活用した熱電高性能化原理の開発
3. 学会等名 日本物理学会2019年秋季大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Development of Thermoelectric Materials and Modules for IoT Energy Harvesting
3. 学会等名 ICMAT2019 (10th International Conference on Materials for Advanced Technologies) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Thermoelectric and Magnetic Properties of Borides
3. 学会等名 BORON2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Development of Thermoelectric Thin Films for IoT and Characterization Methods
3. 学会等名 MRS Spring Meeting 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金澤 知器・内山 智貴・内本 喜晴・野澤 俊介・山方 啓・前田 和彦
2. 発表標題 半導体光触媒を用いた水の酸化反応を促進するCoAlO <sub>x</sub> 複合酸化物助触媒の開発
3. 学会等名 日本化学会 第100春季年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 MIYOSHI, Akinobu; VEQUIZO, Junie Jhon M; NISHIOKA, Shunta; YAMASHITA, Shunsuke; NOZAWA, Shunsuke; KUWABARA, Akihide; YAMAKATA, Akira; KIMOTO, Koji; MAEDA, Kazuhiko
2. 発表標題 Visible light Z-scheme water splitting using nitrogen/fluorine codoped rutile TiO <sub>2</sub> as O <sub>2</sub> evolution photocatalyst
3. 学会等名 日本化学会 第100春季年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中村将志・奥村健司・江口美陽・岡研吾・本郷研太・前園涼・前田和彦
2. 発表標題 Pb-V系酸ハロゲン化物の光吸収特性とバンド構造
3. 学会等名 日本化学会 第100春季年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 若山 晴輝・平山 直樹・中田 博子・加藤 康作・山方 啓・岡 研吾・前田 和彦
2. 発表標題 酸フッ化物Pb <sub>2</sub> Ti <sub>2</sub> O <sub>5</sub> .4F <sub>1.2</sub> へのアルカリ処理と光触媒活性への影響
3. 学会等名 日本化学会 第100春季年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 柴田健吾・石谷治・前田和彦
2. 発表標題 C3N4光触媒と可逆電子ドナーを用いたプロトン及び CO2 還元
3. 学会等名 日本化学会 第100春季年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 水落隆介・岡研吾・稲熊宜之・前田和彦
2. 発表標題 Pb-Fe系酸フッ化物を光アノードとした光電気化学的水分解
3. 学会等名 日本化学会 第100春季年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 静野充彦・和田啓佑・石谷治・前田和彦
2. 発表標題 RuRe二核錯体/C3N4ハイブリッド型CO2還元光触媒に対する金属酸化物修飾効果
3. 学会等名 日本化学会 第100春季年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 金澤 知器・内山 智貴・内本 喜晴・野澤 俊介・前田 和彦
2. 発表標題 光触媒的な水の酸化反応を促進するCoAlOx複合酸化物助触媒の開発
3. 学会等名 第125回触媒討論会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡崎めぐみ・山崎康臣・魯大凌・石谷治・前田和彦
2. 発表標題 Ru錯体を用いた酸素生成助触媒の電子ポテンシャルの見積もり
3. 学会等名 第125回触媒討論会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三好亮暢・西岡駿太・前田和彦
2. 発表標題 窒素/フッ素共ドーブルチル型TiO <sub>2</sub> の粒径の光触媒活性への影響
3. 学会等名 第125回触媒討論会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 柴田健吾・石谷治・前田和彦
2. 発表標題 C <sub>3</sub> N <sub>4</sub> 光触媒を用いた可逆電子ドナー存在下でのプロトン及びCO <sub>2</sub> 還元
3. 学会等名 第125回触媒討論会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平山直樹・岡研吾・前田和彦
2. 発表標題 Co系助触媒修飾Pb <sub>2</sub> Ti <sub>2</sub> O <sub>5</sub> .4F1.2光アノードを用いた光電気化学水分解
3. 学会等名 第125回触媒討論会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 水落隆介・岡研吾・稲熊宜之・前田和彦
2. 発表標題 広域可視光を利用可能なPb-Fe系酸フッ化物水分解光電極の開発
3. 学会等名 第125回触媒討論会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 毛木洋斗・大島崇義・前田和彦
2. 発表標題 層状ペロブスカイト酸窒化物K <sub>2</sub> LaTa <sub>2</sub> O <sub>6</sub> N光触媒の合成条件検討
3. 学会等名 第125回触媒討論会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Artificial photosynthetic assembly constructed with metal complexes, nanoparticles and semiconductors
3. 学会等名 The 2018 MRS Spring Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shunta Nishioka, Hyodo Junji, Akira Yamakata, Yoshihiro Yamazaki, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Electron doping improves photocatalytic activity of non-stoichiometric strontium titanate for hydrogen and oxygen evolution
3. 学会等名 2018 MRS Spring Meeting & Exhibit (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 S. Tanabe
2. 発表標題 Garnet and perovskite hosts accommodate both lanthanide and transition metal ions for persistence
3. 学会等名 The 4th International Workshop on Persistent and Photostimulable Phosphors (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 J. Ueda
2. 発表標題 Insight into Ln <sup>2+</sup> state as electron trap in persistent phosphors
3. 学会等名 The 4th International Workshop on Persistent and Photostimulable Phosphors (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 J. Xu, D. Murata, J. Ueda, S. Tanabe
2. 発表標題 Cr <sup>3+</sup> /Nd <sup>3+</sup> co-doped LaAlO <sub>3</sub> perovskite phosphor: a multi-wavelength long persistent luminescence probe covering the first and second biological windows
3. 学会等名 The 4th International Workshop on Persistent and Photostimulable Phosphors (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 M. Back, J. Ueda, S. Tanabe
2. 発表標題 Singly-doped ratiometric NIR luminescent thermometers: The case of Bi <sub>2</sub> Ga <sub>4</sub> O <sub>9</sub> :Cr <sup>3+</sup> system
3. 学会等名 The 4th International Workshop on Persistent and Photostimulable Phosphors (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 K. Asami, J. Ueda, S. Tanabe
2. 発表標題 Persistent luminescence and blue photochromism in Eu <sup>2+</sup> -Dy <sup>3+</sup> -co-doped barium silicate glass ceramic
3. 学会等名 The 4th International Workshop on Persistent and Photostimulable Phosphors (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Magnetic Semiconductor Chalcogenides for Enhanced Thermoelectrics
3. 学会等名 MRS Spring Meeting 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 M. Back, J. Ueda, S. Tanabe
2. 発表標題 Luminescent Lanthanide doped Bi <sub>2</sub> SiO <sub>5</sub> /g-SiO <sub>2</sub> -Core/Shell Nanocomposite for Biological and High Temperature Sensing
3. 学会等名 2018 5th Global Conference on Polymer and Composite Materials? (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryo Kuriki, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Visible-Light CO <sub>2</sub> Reduction Using Hybrid Photocatalysts Constructed with Carbon Nitride and Ru(II) Binuclear Complex
3. 学会等名 Beilstein Organic Chemistry Symposium 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Surface modified semiconductor photocatalysts for carbon dioxide reduction and water oxidation
3. 学会等名 Beilstein Organic Chemistry Symposium 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上田純平, 田部勢津久, A. Meijerink, P. Dorenbos, A. Bos
2. 発表標題 Pr <sup>3+</sup> 添加ガーネットにおける5d-4f遷移の熱イオン化消光と熱クロスオーバー消光
3. 学会等名 第34回希土類討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 S. Tanabe
2. 発表標題 Glass and Rare-earth Elements (Frontier of Glass Science Award Lecture)
3. 学会等名 Glass and Optical Materials Division (GOMD) Meeting, The American Ceramic Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Y. Kitagawa, J. Ueda, M. Brik, S. Tanabe,
2. 発表標題 Intense Red Luminescence by Near-UV Excitation in YSiO <sub>2</sub> N:Eu <sup>3+</sup>
3. 学会等名 Glass and Optical Materials Division (GOMD) Meeting, The American Ceramic Society (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前田和彦
2. 発表標題 半導体と錯体が教えてくれた光触媒研究の面白さ
3. 学会等名 錯体化学若手の会 関東支部前期勉強会2018 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川上 望美, 内山 智貴, 山本 健太郎, 田中 秀幸, 前田 和彦, 内本 喜晴
2. 発表標題 Characterization of TiO <sub>2</sub> -x-yN <sub>x</sub> F <sub>y</sub> Thin Films Prepared by Reactive Pulsed Laser Deposition for TiO <sub>2</sub> -based Photocatalyst.
3. 学会等名 2018年度触媒学会西日本支部 第9回触媒科学研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Development of Thermoelectric Borides toward Topping Cycles
3. 学会等名 CIMTEC2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡辺 有人, 山本 健太郎, 内山 智貴, 林 晃敏, 前田 和彦, 陰山 洋, 内本 喜晴
2. 発表標題 窒素ドーブによるリチウム過剰系正極材料の電気化学特性向上
3. 学会等名 第 20 回化学電池材料研究会ミーティング
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡辺 有人, 山本 健太郎, 内山 智貴, 林 晃敏, 前田 和彦, 内本 喜晴
2. 発表標題 リチウム過剰酸窒化物正極の合成とその電気化学特性
3. 学会等名 第7回JACI/GSCシンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川上 望美, 内山 智貴, 山本 健太郎, 田中 秀幸, 前田 和彦, 内本 喜晴
2. 発表標題 雰囲気制御型PLD法によるアニオンドープTiO <sub>2</sub> 薄膜の合成と光応答特性評価
3. 学会等名 第7回JACI/GSCシンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kentaro Yamamoto, Naoaki Yabuuchi, Koji Nakanishi, Tomoki Uchiyama, Yuki Kobayashi, Rina Yamamoto, Yuki Oriyasa, Toshiaki Ohta & Yoshiharu Uchimoto
2. 発表標題 Charge Compensation Mechanism in Li-Excess Oxides with Different Ionic or Covalent Characters
3. 学会等名 IMLB2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kentaro Yamamoto, Naoaki Yabuuchi, Koji Nakanishi, Tomoki Uchiyama, Yuki Kobayashi, Rina Yamamoto, Yuki Oriyasa, Hye Ryung Byone, Toshiaki Ohta & Yoshiharu Uchimoto
2. 発表標題 Anion Redox Mechanism in Li-Excess Oxides with Different Ionic or Covalent Characters
3. 学会等名 CMCEE-18 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kentaro Yamamoto, Naoaki Yabuuchi, Koji Nakanishi, Tomoki Uchiyama, Yuki Kobayashi, Rina Yamamoto, Yuki Orikasa, Toshiaki Ohta & Yoshiharu Uchimoto
2. 発表標題 Charge compensation mechanism in Li-excess Oxides revealed by operando soft/hard X-ray absorption spectroscopy
3. 学会等名 AiMES2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Aruto Watanabe, Kentaro Yamamoto, Tomoki Uchiyama, Akitoshi Hayashi, Kazuhiko Maeda, Hiroshi Kageyama, Yoshiharu Uchimoto
2. 発表標題 Novel High Capacity Cathode Materials Based on Li-rich Cathode Materials by Nitrogen-doping
3. 学会等名 AiMES2019 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kentaro Yamamoto, Takahiro Yoshinari, Eri Kato, Tomoki Uchiyama, Akihide. Kuwabara, Kazuhiko Maeda, Hiroshi Kageyama and Yoshiharu Uchimoto
2. 発表標題 Enhanced lithium ion transportation at the interface between LiFePO <sub>4</sub> and electrolyte enhanced by surface-nitride treatment
3. 学会等名 ACSSI 16th (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Jun Nishitsuji, Kentaro Yamamoto, Tomoki Uchiyama, Aruto Watanabe, Yoshiharu Uchimoto
2. 発表標題 Electrochemical performance and charge compensation mechanism of cation-disordered Li <sub>1.2</sub> Mn <sub>0.4</sub> Zr <sub>0.4</sub> O <sub>2</sub> cathode material
3. 学会等名 ACSSI 17th (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshiharu Uchimoto
2. 発表標題 Phase Transition Analysis of LiFePO4 by Using Time-Resolved X-ray Diffraction and Improvement of Rate Capability
3. 学会等名 EVS31 & EVTeC2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyuki Nakaki, Yoshiharu Uchimoto, Kentaro Yamamoto, Naoaki Yabuuchi, Koji Nakanishi
2. 発表標題 Charge Compensation Mechanism of Anion Redox for Lithium-Excess Cathode materials
3. 学会等名 EVS31 & EVTeC2019 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川上望美、内山智貴、山本健太郎、田中秀幸、前田和彦、内本善晴
2. 発表標題 秀田気制御型PLD法によるTiO2薄膜の複合アニオン化および特性評価
3. 学会等名 第5回複合アニオン公開シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川上 望美、内山 智貴、山本 健太郎、田中 秀幸、前田 和彦、内本 喜晴
2. 発表標題 秀田気制御型PLD法によるアニオンドープTiO2薄膜の作製および光応答特性評価
3. 学会等名 第122回触媒討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡辺有人、山本健太郎、内山智貴、林晃敏、前田和彦、陰山洋、内本喜晴
2. 発表標題 窒素ドーブリチウム過剰系正極材料の電気化学特性と電子構造
3. 学会等名 第59回電池討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川上望美、内山智貴、山本健太郎、田中秀幸、前田和彦、稲田幹、陰山洋、内本喜晴
2. 発表標題 雰囲気制御型PLD法によるN3-、F-ドーブTiO2薄膜の作製および特性評価
3. 学会等名 第42回電解技術討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 内山智貴、川上望美、山本健太郎、田中秀幸、前田和彦、内本喜晴
2. 発表標題 雰囲気制御型PLD法によるTa/N共ドーブTiO2薄膜の作製および光応答特性評価
3. 学会等名 第42回電解技術討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡辺有人、山本健太郎、内山智貴、林晃敏、前田和彦、陰山洋、内本喜晴
2. 発表標題 窒素ドーブを用いたリチウム過剰系正極材料の電気化学特性向上
3. 学会等名 第44回固体イオニクス討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 内山智貴、川上望美、山本健太郎、田中秀幸、前田和彦、内本喜晴
2. 発表標題 雰田気制御型PLD法によるアニオン/カチオンドープTiO2薄膜の作製と特性評価
3. 学会等名 第37回固体・表面光化学討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉成崇宏、北口雄也、山本健太郎、内山智貴、折笠有基、雨澤浩史、内本喜晴
2. 発表標題 全固体フッ化物イオン電池CuAu合金モデル正極を用いたフッ化・脱フッ化反応の速度論解析
3. 学会等名 第3回関西電気化学研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 S. Tanabe
2. 発表標題 Mixed-anion glass and ceramics for high-efficiency luminescence of rare-earths
3. 学会等名 the 21st International Symposium on Non-Oxide and New Optical Glasses (ISNOG) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akira Chikamatsu, Keisuke Kawahara, Takaaki Shiina, Tomoya Onozuka, Tsukasa Katayama, and Tetsuya Hasegawa
2. 発表標題 Fabrication of fluorite-type Ba <sub>0.5</sub> Bi <sub>0.5</sub> F <sub>2.5</sub> thin films by fluorination of perovskite BaBiO <sub>3</sub> with polyvinylidene fluoride
3. 学会等名 E-MRS 2018 Spring Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yuji Kurauchi, Akira Chikamatsu, Keisuke Kawahara, Tomoya Onozuka, Makoto Minohara, Hiroshi Kumigashira, Eiji Ikenaga, Tetsuya Hasegawa
2. 発表標題 Spectroscopic and theoretical investigation of layered perovskite oxyfluoride Sr <sub>2</sub> RuO <sub>3</sub> F <sub>2</sub> thin films
3. 学会等名 E-MRS 2018 Spring Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Bottom-up Nanostructuring and Novel Materials and Concepts to Develop Viable Thermoelectrics
3. 学会等名 COE2018 (15th International Conference on Optical and Electronic Sensors) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Utilization of Magnetism and Other Novel Principles for Thermoelectric Enhancement and Recent Activities in Asia
3. 学会等名 ICT2018 (37th Annual International Conference on Thermoelectrics & 16th European Conference on Thermoelectrics (ECT2018)) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近松 彰
2. 発表標題 複合アニオン酸化物薄膜の合成と新機能探索
3. 学会等名 PF研究会「量子ビームと新規合成手法の融合による酸化物の新機能探索」(招待講演)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 S. Tanabe, J. Xu,
2. 発表標題 Rechargeable persistent phosphors for the first and third bio-imaging windows by electron traps redistribution
3. 学会等名 The 2018 Europhysical Conference on Defects in Insulating Materials (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 New Heterogeneous Photocatalysts Constructed with Semiconductors, Nanoparticles, and Metal Complexes toward CO2 Reduction and Water Oxidation
3. 学会等名 THERMEC'2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryo Kuriki, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Visible-light-driven Z-scheme Photocatalyst Constructed with Carbon Nitride and a Ru(II) Binuclear Complex for CO2 Reduction
3. 学会等名 International Conference on Ceramic Materials and Components for Energy and Environmental Applications (CMCEE-12) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shunta Nishioka, Junji Hyodo, Junie Jhon M. Vequizo, Shunsuke Yamashita, Hiromu Kumagai, Koji Kimoto, Akira Yamakata, Yoshihiro Yamazaki, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Quantitative investigation of the relationship between oxygen defect density and photocatalytic hydrogen/oxygen evolution activity using non-stoichiometric strontium titanate
3. 学会等名 12th International Conference on Ceramic Materials and Components for Energy and Environmental Applications (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Mixed-anion solids for solar-to-fuel energy conversion
3. 学会等名 12th International Conference on Ceramic Materials and Components for Energy and Environmental Applications (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Chemical approach to artificial photosynthesis using semiconductors, nanoparticles and metal complexes
3. 学会等名 The 2018 International Symposium on Advancement and Prospect of Catalysis Science & Technology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomoki KANAZAWA, Kazuhiko MAEDA
2. 発表標題 Investigation of catalysis property of Cr <sup>3+</sup> substituted Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> for water oxidation
3. 学会等名 2018 International Symposium on Advancement and Prospect of Catalysis Science & Technology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takayoshi Oshima, Kanemichi Muraoka, Junie Jhon M. Vequizo, Shunsuke Yamashita, Koji Kimoto, Akira Yamakata, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Synthesis of layered perovskite oxynitride Li <sub>2</sub> LaTa <sub>2</sub> O <sub>6</sub> N and the application for photocatalytic CO <sub>2</sub> reduction under visible light irradiation
3. 学会等名 2018 International Symposium on Advancement and Prospect of Catalysis Science & Technology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三好亮暢、前田和彦
2. 発表標題 窒素/フッ素共ドーブルチル型TiO <sub>2</sub> を用いた可視光照射下でのZスキーム水分解
3. 学会等名 第39回触媒学会若手会「夏の研修会」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Visible-Light Reduction of Carbon Dioxide on Metal-Complex/Carbon Nitride Hybrid Photocatalysts
3. 学会等名 The 43rd International Conference on Coordination Chemistry (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡崎めぐみ、前田和彦
2. 発表標題 第一遷移金属酸化物を担持した酸化チタンを光触媒とした水の可視光酸化反応
3. 学会等名 第39回触媒学会若手会「夏の研修会」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西岡駿太、前田和彦
2. 発表標題 酸化物半導体上に吸着した金属錯体の時間分解発光測定による表面欠陥評価
3. 学会等名 第39回触媒学会若手会「夏の研修会」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akinobu Miyoshi, Yuma Kato, Junie Jhon M. Vequizo, Shunsuke Yamashita, Shunsuke Nozawa, Akira Yamakata, Tomoko Yoshida, Koji Kimoto, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Nitrogen/fluorine codoped rutile titanium(IV) oxide as a visible-light-driven photocatalyst for water oxidation
3. 学会等名 The 8th Tokyo Conference on Advanced Catalytic Science and Technology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Megumi Okazaki, Tomoki Uchiyama, Hideki Kato, Yoshiharu Uchimoto, Masato Kakihana, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Photocatalytic water oxidation using SrTiO <sub>3</sub> modified with Co <sub>3</sub> O <sub>4</sub> under visible light: Effects of SrTiO <sub>3</sub> support
3. 学会等名 TOCAT8 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shunta Nishioka, Junji Hyodo, Junie Jhon M. Vequizo, Shunsuke Yamashita, Hiromu Kumagai, Koji Kimoto, Akira Yamakata, Yoshihiro Yamazaki, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Effects of electron doping with oxygen defect introduction on photocatalytic hydrogen/oxygen evolution activity of non-stoichiometric SrTiO <sub>3</sub> -
3. 学会等名 The 8th Tokyo Conference on Advanced Catalytic Science and Technology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryo Kuriki, Akira Yamakata, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Demonstration of photocatalytic CO <sub>2</sub> reduction under visible light using carbon nitride and a binuclear Ru(II) complex
3. 学会等名 The 8th Tokyo Conference on Advanced Catalytic Science and Technology (TOCAT8) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomoki KANAZAWA, Kazuhiko MAEDA
2. 発表標題 Investigation of catalytic effect of Cr <sup>3+</sup> substitution for Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> toward photochemical and electrochemical water oxidation
3. 学会等名 The 8th Tokyo Conference on Advanced Catalytic Science and Technology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takayoshi Oshima, Kanemichi Muraoka, Junie Jhon M. Vequizo, Shunsuke Yamashita, Akira Yamakata, Koji Kimoto, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Synthesis of 2D perovskite oxynitride Li <sub>2</sub> LaTa <sub>2</sub> O <sub>6</sub> N and the photocatalytic performance for CO <sub>2</sub> reduction
3. 学会等名 TOCAT8 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kanemichi MURAOKA, Junie. Jhon VEQUIZO, Akira. YAMAKATA, Osamu ISHITANI, Kazuhiko MAEDA
2. 発表標題 Oxygen-doped Ta <sub>3</sub> N <sub>5</sub> modified with a Ru(II) binuclear complex having the ability to reduce CO <sub>2</sub> under a wide range of visible light
3. 学会等名 The 8th Tokyo Conference on Advanced Catalytic Science and Technology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 S. Tanabe
2. 発表標題 Development of long persistent near-infrared phosphors for the second and third bio-imaging windows
3. 学会等名 International Conference on Semiconductors, Optoelectronics and Nanostructures (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Development of Hybrid Effect Nanocomposites and Advanced Thermal and Electrical Nanomeasurements
3. 学会等名 IUMRS-ICEM2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三好 亮暢、Junie Jhon M. Vequizo、西岡 駿太、加藤 由真、山本 宗昭、山下 俊介、横井 俊之、岩瀬 顕秀、野澤 俊介、山方 啓、吉田 朋子、木本 浩司、工藤 昭彦、前田 和彦
2. 発表標題 フッ素によるルチル型TiO <sub>2</sub> への窒素ドーピングの促進とその光触媒活性への影響
3. 学会等名 「複合アニオン」第4回若手スクール
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akinobu Miyoshi, Junie Jhon M. Vequizo, Shunta Nishioka, Shunsuke Yamashita, Akihideo Iwase, Shunsuke Nozawa, Akira Yamakata, Koji Kimoto, Akihiko Kudo, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Synthesis of nitrogen/fluorine codoped rutile TiO <sub>2</sub> photocatalyst and its application for Z-scheme water splitting
3. 学会等名 2018年光化学討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前田和彦
2. 発表標題 新学術領域研究「複合アニオン化合物の創製と新機能」第4回公開シンポジウム
3. 学会等名 複合アニオン化合物の新規化学物理機能の創出
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 若山 晴輝、大島 崇義、藤井 孝太郎、八島 正知、前田 和彦
2. 発表標題 層状Rb2NdNb2O6Nの合成と光触媒反応
3. 学会等名 「複合アニオン」若手スクール
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡崎めぐみ、前田和彦
2. 発表標題 半導体光触媒の第一遷移金属酸化物修飾による可視光利用への応用
3. 学会等名 「複合アニオン」若手スクール
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 S. Tanabe
2. 発表標題 Big changes in persistent luminescence characteristics and electronic structures of Ce-doped garnets by hydrostatic pressure
3. 学会等名 The 5th International Conference on the Physics of Optical Materials and Devices (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 J. Ueda
2. 発表標題 Ratiometric optical thermometry using deep red luminescence from 4T2 and 2E states of Cr3+ in ZnGa2O4 host
3. 学会等名 The 5th International Conference on the Physics of Optical Materials and Devices (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 H. Ji, X. Jian, K. Asami, J. Ueda, S. Tanabe, M.G.Brik,
2. 発表標題 Local Coordination, Electronic Structure and thermal quenching of Ce <sup>3+</sup> in Isostructural Sr <sub>2</sub> GdAl <sub>10</sub> O <sub>5</sub> and Sr <sub>3</sub> Al <sub>10</sub> O <sub>4</sub> F Phosphors
3. 学会等名 日本セラミックス協会 第31回秋季シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 南部 博, 上田純平, 田部勢津久,
2. 発表標題 Cr <sup>3+</sup> 添加LaAlO <sub>3</sub> ナノ粒子におけるR線発光とペア発光を利用したレシオメトリック蛍光温度プローブの作製
3. 学会等名 日本セラミックス協会 第31回秋季シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡崎めぐみ、山崎康臣、石谷治、前田和彦
2. 発表標題 種々のRu(II)トリスジイミン錯体を用いたCoO <sub>x</sub> /TiO <sub>2</sub> の光生成電子ポテンシャルの評価
3. 学会等名 2018光化学討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Thermoelectric and magnetic properties of inorganic cluster and cage compounds, and novel principles for thermoelectric enhancement
3. 学会等名 IWTMC2018 (6th Intl. Workshop on Transition Metal Clusters) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 丸山 敬裕、近松 彰、片山 司、倉持 建汰、荻野 拓、北村 未歩、堀場 弘司、組頭 広志、長谷川 哲也
2. 発表標題 トポタクテックフッ素ドーブによるSr <sub>2</sub> IrO <sub>4</sub> -xFy薄膜の作成
3. 学会等名 第79回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石上 亮介、近松 彰、片山 司、北村 未歩、堀場 弘司、組頭 広志、長谷川 哲也
2. 発表標題 NaCl水溶液を用いたNdNiO <sub>3</sub> 薄膜の電気化学反応
3. 学会等名 第79回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 陳 昊、廣瀬 靖、長谷川 哲也
2. 発表標題 相Ti <sub>3</sub> O <sub>5</sub> エピタキシャル薄膜の合成及び物性評価
3. 学会等名 第79回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 毛 司辰 <sup>1</sup> 、片山 司 <sup>1</sup> 、近松 彰 <sup>1</sup> 、安井 伸太郎 <sup>2</sup> 、伊藤 満 <sup>2</sup> 、長谷川 哲也 <sup>1</sup>
2. 発表標題 パルスレーザー堆積法によるFe <sub>2</sub> Mo <sub>3</sub> O <sub>8</sub> エピタキシャル膜の合成
3. 学会等名 第79回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 杓澤 大、廣瀬 靖、杉澤 悠紀、菊田 純市、関場 大一郎、長谷川 哲也
2. 発表標題 酸水素化ネオジムNdOxDy(111)エピタキシャル薄膜の合成と磁気特性
3. 学会等名 第79回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 土井 雅人、朱 雨庭、中尾 祥一郎、廣瀬 靖、杉澤 悠紀、菊田 純一、関場 大一郎、長谷川 哲也
2. 発表標題 窒化物厚膜をターゲットに用いたパルスレーザー堆積法によるZn <sub>3</sub> N <sub>2</sub> エピタキシャル薄膜の作製
3. 学会等名 第79回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 眞柄 健斗、若杉 択人、中尾 祥一郎、福本 通孝、廣瀬 靖、長谷川 哲也
2. 発表標題 自己凝集法によるSnナノ粒子の粒径制御
3. 学会等名 第79回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ke Gu、Tsukasa Katayama、Shintaro Yasui、Akira Chikamatsu、Mitsuru Itoh、Tetsuya Hasegawa
2. 発表標題 Synthesis of Single Crystalline SrRuO <sub>3</sub> Sheet
3. 学会等名 第79回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 若杉 択人、中尾 祥一郎、廣瀬 靖、原山 勲、杉澤 悠紀、菊田 純市、関場 大一郎、田中 秀幸、熊谷 啓、前田 和彦、長谷川 哲也
2. 発表標題 ペロブスカイト型酸窒化物光触媒CaTaO <sub>2</sub> N薄膜の結晶面方位制御
3. 学会等名 第79回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 丸山敬裕, 近松彰, 小野塚智也、長谷川哲也
2. 発表標題 ペロブスカイトEuNbO <sub>3</sub> 単結晶薄膜の磁気輸送特性
3. 学会等名 応用物理学会 強制的秩序とその操作に関わる研究グループ 第7回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 J. Ueda
2. 発表標題 Orange Persistent Luminescence and Photo-darkening of CaO-Ga <sub>2</sub> O <sub>3</sub> -GeO <sub>2</sub> Glass
3. 学会等名 ICG Annual Meeting 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 K. Asami, J. Ueda, S. Tanabe,
2. 発表標題 Preparation and Photoluminescence Characteristics of Eu <sup>2+</sup> Doped Barium Silicon Oxynitride Glass Ceramic for White LED
3. 学会等名 ICG Annual Meeting 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三好亮暢、西岡駿太、横井俊之、岩瀬頭秀、工藤昭彦、前田和彦
2. 発表標題 窒素/フッ素共ドーブルチル型酸化チタンを用いたZスキーム水分解
3. 学会等名 第122回触媒討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 若山 晴輝、大島 崇義、前田 和彦
2. 発表標題 層状Rb2NdNb2O6Nの合成と光触媒活性
3. 学会等名 第122回触媒討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前田和彦、栗木亮、市場友宏、本郷研太、前園涼、石谷治、陰山洋、岡研吾
2. 発表標題 Pb-Ti系酸フッ化物の可視光照射下での光触媒作用
3. 学会等名 第122回触媒討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡崎めぐみ、前田和彦
2. 発表標題 第一遷移金属酸化物ナノ粒子修飾による酸化チタンの可視光応答化と光触媒活性
3. 学会等名 第122回触媒討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Development of ceramic thermoelectric materials suitable for the topping cycle application in power plants
3. 学会等名 ic-cmp5 (The 5th International Conference of Competitive Materials and Technology Processes) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 J. Xu, J. Ueda, S. Tanabe
2. 発表標題 Toward Tunable and Bright Deep-Red Persistent Luminescence of Cr <sup>3+</sup> in garnets
3. 学会等名 Materials science & Technology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Materials for Artificial Photosynthesis from Mixed-Anion Compounds to Organic Polymers
3. 学会等名 The 3rd International Conference on Emerging Advanced Nanomaterials (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 J. Ueda, S. Matsuishi, T. Tokunaga, S. Tanabe,
2. 発表標題 New green luminescent GdH <sub>0</sub> :Tb <sup>3+</sup> phosphor with low energy 5d excitation band
3. 学会等名 Phosphor Safari 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 K. Asami, M. Shiraiwa, J. Ueda, K. Fujii, K. Hongo, R. Maezono, M. G. Brik, M. Yashima, S. Tanabe,
2. 発表標題 Neutron diffraction study and evidence of mixed anion coordination at Ce <sup>3+</sup> site in Y <sub>3</sub> Al <sub>2</sub> (Al, Si) <sub>3</sub> (O,N) <sub>12</sub> oxynitride garnet phosphor
3. 学会等名 Phosphor Safari 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 S. Tanabe
2. 発表標題 Mixed Anion Glass and Ceramics for High-efficiency Luminescence in Rare Earths (Plenary)
3. 学会等名 10th International Conference on Functional Glasses and Optoelectronic Materials (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 J. Ueda
2. 発表標題 New green luminescent GdH <sub>0</sub> :Tb <sup>3+</sup> phosphor with low energy 5d excitation band
3. 学会等名 第6回 フォトニクスのための材料研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 M. Back
2. 発表標題 Novel Ratiometric Luminescent Thermometer with Intrinsic Fingerprint
3. 学会等名 第6回 フォトニクスのための材料研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akira Chikamatsu and Tetsuya Hasegawa
2. 発表標題 HYDROGEN DOPING INTO TRANSITION METAL OXIDE THIN FILMS
3. 学会等名 The 4th Korea - Japan Joint Symposium on Hydrogen in Materials (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大島崇義、前田和彦
2. 発表標題 新規層状ペロブスカイト酸窒化物 $K_2LaTa_2O_{6N}$ の合成と光触媒特性
3. 学会等名 第37回固体・表面光化学討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Synthesis and Thermoelectric and Magnetic Properties of Novel Borides
3. 学会等名 MRS Fall Meeting 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 栗木亮、山方啓、石谷治、前田和彦
2. 発表標題 有機半導体カーボンナイトライドの光励起キャリアダイナミクスと錯体触媒への電子移動過程の観察
3. 学会等名 第37回固体・表面光化学討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金澤知器、前田和彦
2. 発表標題 Co-Al-Cr複合酸化物を触媒とした水の光化学的および電気化学的酸化反応
3. 学会等名 第37回固体・表面光化学討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前田和彦、栗木亮、市場友宏、若山晴輝、内村慶舟、本郷研太、前園涼、石谷治、陰山洋、岡研吾
2. 発表標題 Pb-Ti系酸フッ化物の光吸収特性と光触媒機能
3. 学会等名 第37回固体・表面光化学討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Dai Kutsuzawa, Yasushi Hirose, Akira Chikamatsu, Shoichiro Nakao, Yumi Watahiki, Isao Harayama, Daiichiro Sekiba, and Tetsuya Hasegawa
2. 発表標題 Strain-Enhanced Topotactic Hydrogen Substitution in SrTiO <sub>3</sub>
3. 学会等名 2018 MRS Fall meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 J. Xu, J. Ueda, S. Tanabe,
2. 発表標題 Fabrication and Persistent Luminescence Properties of Garnet Transparent Ceramics for White LED
3. 学会等名 14th Laser Ceramics Symposium (LCS2018) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 川上望美、内山智貴、山本健太郎、田中秀幸、前田和彦、内本喜晴
2. 発表標題 雰田気制御型PLD法によるアニオンドープ TiO <sub>2</sub> 薄膜の作製および光応答特性評価
3. 学会等名 第3回関西電気化学研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡辺有人、山本健太郎、内山智貴、林晃敏、前田和彦、陰山洋、内本喜晴
2. 発表標題 窒素ドープによるリチウム過剰系正極材料の電子・局所構造制御と電気化学特性評価
3. 学会等名 第3回関西電気化学研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tetsuya Hasegawa
2. 発表標題 Band-engineering of (TiO <sub>2</sub> ) <sub>1-x</sub> (TaO) <sub>x</sub> Thin Films for Photochemical Applications
3. 学会等名 pacsurf2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Visible-Light CO <sub>2</sub> Reduction Using Mixed-Anion Photocatalysts
3. 学会等名 1st International Conference on Advanced Chemistry and Catalysis (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前田和彦
2. 発表標題 人工光合成系構築を目指した新しい複合アニオン光触媒の開発
3. 学会等名 応用物理学会 応用電子物性分科会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 TiO <sub>2</sub> -based mixed anion materials for solar fuel production
3. 学会等名 EMN Auckland Meeting（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前田和彦
2. 発表標題 半導体光触媒を中核とした水の分解・CO <sub>2</sub> の固定化反応
3. 学会等名 京都工芸繊維大学環境科学センター第1回技術セミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川上望美、内山智貴、山本健太郎、田中秀幸、前田和彦、内本善晴
2. 発表標題 秀田気制御型PLD法によるTiO <sub>2</sub> 薄膜の複合アニオン化と光応答特性評価
3. 学会等名 新学術複合アニオン会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡辺有人、山本健太郎、内山智貴、林晃敏、前田和彦、陰山洋、内本喜晴
2. 発表標題 リチウム過剰酸窒化物正極の合成と電気化学特性評価
3. 学会等名 新学術複合アニオン会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 J. Xu, J. Ueda, S. Tanabe,
2. 発表標題 Near-infrared persistent luminescence over 1000 nm in garnets
3. 学会等名 第57回セラミックス基礎科学討論会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 H. Hua, J. Ueda, S. Tanabe,
2. 発表標題 圧力誘起相転移によるCr <sup>3+</sup> 添加LaGaO <sub>3</sub> のR線とN線の特性変化
3. 学会等名 The 29th Meeting on Glasses for Photonics
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 J. Xu, J. Ueda, S. Tanabe,
2. 発表標題 Persistent Luminescence over 1000 nm in Garnets
3. 学会等名 SPIE Photonics West 2019（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Development of new mixed anion materials for solar-to-chemical energy conversion
3. 学会等名 Seminar of Research Institute of Photocatalysis (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Utilizing Magnetism and Nanostructures to Enhance Performance of Thermoelectric Materials
3. 学会等名 APS March Meeting 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森孝雄
2. 発表標題 新規な磁性半導体熱電材料を用いた熱電発電デバイスの研究開発
3. 学会等名 第66回応用物理学会春季学術講演会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Fabrication and properties evaluation of thermoelectric thin films
3. 学会等名 TMS2019 (148th Annual Meeting) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森孝雄
2. 発表標題 熱電材料の高性能化へ向けた新原理の開発
3. 学会等名 日本化学会 第99春季年会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大島崇義・日比野圭祐・藤井孝太郎・八島正知・前田和彦
2. 発表標題 Ta系層状ペロブスカイト酸窒化物の合成と可視光照射下での光触媒作用
3. 学会等名 第123回触媒討論会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三好亮暢・西岡駿太・内山智貴・横井俊之・内本喜晴・前田和彦
2. 発表標題 窒素/フッ素共ドーブルチル型酸化チタンへの助触媒担持とその酸素生成光触媒活性への影響
3. 学会等名 第123回触媒討論会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 若山晴輝・栗木亮・市場友宏・内村慶舟・本郷研太・前園涼・岡研吾・前田和彦
2. 発表標題 酸フッ化物Pb <sub>2</sub> Ti <sub>2</sub> O <sub>5</sub> .4F <sub>1.2</sub> およびPb <sub>2</sub> Ti <sub>4</sub> O <sub>9</sub> F <sub>2</sub> の光吸収特性と光触媒機能
3. 学会等名 第123回触媒討論会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡崎めぐみ・山崎康臣・石谷治・前田和彦
2. 発表標題 Ru(II)トリスジイミン錯体を光増感剤として用いたCoOx/TiO2光触媒の光生成ホールポテンシャルの評価
3. 学会等名 第123回触媒討論会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金澤知器・野澤俊介・前田和彦
2. 発表標題 CoAl <sub>2-x</sub> Cr <sub>x</sub> O <sub>4</sub> を用いた電気化学的及び光化学的な水の酸化反応
3. 学会等名 第123回触媒討論会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平山直樹・岡研吾・前田和彦
2. 発表標題 酸フッ化物Pb <sub>2</sub> Ti <sub>2</sub> O <sub>5</sub> .4F <sub>1.2</sub> をアノードとした可視光水分解
3. 学会等名 第123回触媒討論会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴田健吾・栗木亮・石谷治・前田和彦
2. 発表標題 広域可視光でCO <sub>2</sub> を還元するRu(II)単核錯体/C <sub>3</sub> N <sub>4</sub> ハイブリッド光触媒の開発
3. 学会等名 第123回触媒討論会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西岡駿太・兵頭潤次・Junie Jhon M. Vequizo・山下俊介・熊谷啓・木本浩司・山方啓・山崎仁丈・前田和彦
2. 発表標題 酸素分圧制御下で合成した不定比 SrTiO <sub>3</sub> - の光触媒活性への電子ドーピング効果
3. 学会等名 第123回触媒討論会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 J. Xu, J. Ueda, S. Tanabe,
2. 発表標題 Ratiometric Optical Thermometer Based on Exchange-Coupled Cr <sup>3+</sup> pairs in LaAlO <sub>3</sub>
3. 学会等名 日本セラミックス協会 2019年 年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 M. Back , J. Ueda, S. Tanabe,
2. 発表標題 Cr <sup>3+</sup> -doped Bi <sub>2</sub> Al <sub>4</sub> O <sub>9</sub> : Temperature and Pressure Sensing Investigation
3. 学会等名 日本セラミックス協会 2019年 年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Surface modified semiconductor photocatalysts for visible-light CO <sub>2</sub> reduction and water oxidation
3. 学会等名 Prof. Mallouk Group seminar（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 前田和彦
2. 発表標題 固体光触媒を用いた水の光分解、二酸化炭素の光還元反応
3. 学会等名 第2回固体化学フォーラム研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 前田和彦
2. 発表標題 半導体光触媒を中核とした人工光合成系の構築
3. 学会等名 第6回「酸化物研究の新機軸に向けた学際討論会」（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 前田和彦
2. 発表標題 半導体、錯体、ナノ粒子をビルディングブロックとしたエネルギー変換型光触媒系の構築
3. 学会等名 第402回触媒科学研究所コロキウム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Water splitting using metal oxide photocatalysts
3. 学会等名 The 12th International Conference of Pacific Rim Ceramic Societies (PacRim-12)（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 New Heterogeneous Photocatalysts Designed for Water Oxidation and CO2 Reduction
3. 学会等名 Nano-Micro Conference 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 New Semiconductor Photocatalysts Designed for CO2 Reduction and Water Oxidation under Visible Light
3. 学会等名 The 7th International Multidisciplinary Conference on Optofluidics 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda, Akinobu Nakada, Koki Ishimaki, Junie Jhon M. Vequizo, Akira Yamakata, Osamu Ishitani
2. 発表標題 Water Splitting and CO2 Fixation on Visible-Light-Responsive Rutile TiO2-based Photocatalysts
3. 学会等名 The 16th Korea-Japan Symposium on Catalysis (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takayoshi Oshima, Kanemichi Muraoka, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Photocatalytic performance of Li2LaTa2O6N layered oxynitride for H2 evolution and CO2 reduction
3. 学会等名 The 16th Korea-Japan Symposium on Catalysis (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kanemichi Muraoka, Hiromu Kumagai, Miharuru Eguchi, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Hybrid Photocatalyst Constructed with an Yttrium-Tantalum Oxynitride and a Binuclear Ru(II) Complex for Visible Light CO <sub>2</sub> Reduction
3. 学会等名 The 16th Korea-Japan Symposium on Catalysis (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shunta Nishioka, Junji Hyodo, Akira Yamakata, Yoshihiro Yamazaki and Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Photocatalytic Activity of Oxygen Deficient SrTiO <sub>3</sub> - Prepared by Reduced Atmosphere Calcination
3. 学会等名 The 16th Korea-Japan Symposium on Catalysis (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hideyuki Tanaka and Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Visible-light Activation of TiO <sub>2</sub> Photoanode by Loading CoO <sub>x</sub>
3. 学会等名 The 16th Korea-Japan Symposium on Catalysis (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryo Kuriki, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Visible-Light CO <sub>2</sub> Reduction Using Carbon Nitride and Metal Complex Hybrid Photocatalysts
3. 学会等名 The 16th Korea-Japan Symposium on Catalysis (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tomoki Kanazawa and Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Light-induced Preparation of Multi-component Cocatalyst for Photocatalytic Water Splitting
3. 学会等名 The 16th Korea-Japan Symposium on Catalysis (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 栗木 亮、山方 啓、石谷 治、前田 和彦
2. 発表標題 有機半導体とRu(II)複核錯体からなる可視光応答型CO <sub>2</sub> 還元光触媒系の構築
3. 学会等名 第36回光がかかわる触媒化学シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 安 大賢、金澤 知器、栗木 亮、野澤 俊介、石谷 治、前田 和彦
2. 発表標題 CO <sub>2</sub> 還元活性なRu(II)錯体/Ag/C <sub>3</sub> N <sub>4</sub> 複合光触媒におけるAgの担事効果検討
3. 学会等名 第36回光がかかわる触媒化学シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryo Kuriki, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Visible-light-response photocatalytic systems for CO <sub>2</sub> reduction using a hybrid of carbon nitride and a Ru(II) complex
3. 学会等名 22nd International Symposium on Photochemistry and Photophysics of Coordination Compounds (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 前田和彦
2. 発表標題 半導体光触媒による水の分解と二酸化炭素固定化
3. 学会等名 名古屋大学大学院工学研究科応用物質化学専攻 応用物質化学セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 前田和彦
2. 発表標題 光触媒としての複合アニオン化合物:その特性を引き出すための設計指針
3. 学会等名 新学術領域研究 複合アニオン化合物の創製と新機能 第2回トピカル会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西岡駿太、前田和彦
2. 発表標題 結晶構造を制御したTa, N共ドーブTiO <sub>2</sub> の合成と光触媒酸素生成活性
3. 学会等名 第38回触媒学会若手会「夏の研修会」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田中秀幸、熊谷啓、前田和彦
2. 発表標題 CoO <sub>x</sub> を担持したTiO <sub>2</sub> 電極の可視光照射下での光電気化学特性
3. 学会等名 第38回触媒学会若手会「夏の研修会」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡崎めぐみ、前田和彦
2. 発表標題 酸化コバルトを修飾したチタン酸ストロンチウムによる可視光照射下での水の酸化反応
3. 学会等名 第38回触媒学会若手会「夏の研修会」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三好亮暢、前田和彦
2. 発表標題 ルチル型酸化チタンへの窒素/フッ素共ドーピングによる可視光応答型光触媒の開発
3. 学会等名 第39回触媒学会若手会「夏の研修会」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Photocatalytic Water Splitting and CO <sub>2</sub> Fixation Using Oxynitrides and Nitrides
3. 学会等名 The 9th International Symposium on Nitrides and Related Materials (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Construction of artificial photosynthetic assemblies using semiconductors, nanoparticles, and metal complexes
3. 学会等名 International Symposium on Chemistry for Solar Energy Applications 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 前田 和彦、和田 啓佑、Chandana Sampath Kumara Ranasinghe、栗木 亮、山方 啓、石谷 治
2. 発表標題 二酸化炭素還元活性なRu(II)-Re(I)二核錯体/窒化炭素ナノシート複合光触媒に対するルチル型酸化チタンの修飾効果
3. 学会等名 2017光化学討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Metal-Complex/Semiconductor Hybrid Photocatalysts for Carbon Dioxide Fixation
3. 学会等名 第67回錯体化学討論会国際シンポジウム(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takayoshi Oshima, Kanemichi Muraoka, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Synthesis of layered oxynitride Li <sub>2</sub> LaTa <sub>2</sub> O <sub>6</sub> N and the photocatalytic performance for H <sub>2</sub> evolution and CO <sub>2</sub> reduction
3. 学会等名 9th International Symposium on Nitrides and Related Materials & 5th International Symposium on SiAlONs and Non-oxides (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大島崇義、前田和彦
2. 発表標題 層状ペロブスカイト構造を有する新規酸窒化物の合成とその光触媒特性
3. 学会等名 第120回触媒討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takayoshi Oshima, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Light induced H <sub>2</sub> evolution on metal oxide nanosheet
3. 学会等名 International Conference on functional nanomaterials and nanodevices (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryo Kuriki, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Visible-Light Photocatalytic CO <sub>2</sub> Reduction Using Hybrids Constructed with Carbon Nitride and Metal Complexes
3. 学会等名 9th International Symposium on Nitrides and Related Materials & 5th International Symposium on SiAlONs and Non-oxides (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryo Kuriki, Akira Yamakata, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Development of hybrid photocatalysts for visible-light CO <sub>2</sub> reduction using carbon nitride and a binuclear Ru(II) complex
3. 学会等名 2017光化学討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 栗木亮、石谷治、前田和彦
2. 発表標題 可視光CO <sub>2</sub> 還元活性なRu(II)二核錯体/カーボンナイトライド複合体の水中での光触媒特性
3. 学会等名 第120回触媒討論会, 2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西岡駿太、前田和彦
2. 発表標題 結晶構造を制御したTa,N共ドーブTiO2の光触媒活性
3. 学会等名 「複合アニオン」若手スクール
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西岡駿太、兵頭潤次、山方啓、山崎仁丈、前田和彦
2. 発表標題 電子ドーブ不定比SrTiO3- の水素/酸素生成光触媒活性
3. 学会等名 第120回触媒討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金澤知器、Prytuliak Anastasiia、森孝雄、前田和彦
2. 発表標題 ホウ素系ネットワーク状化合物YB22C2Nを用いた光触媒反応
3. 学会等名 「複合アニオン」若手スクール
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金澤知器、Prytuliak Anastasiia、森孝雄、前田和彦
2. 発表標題 ホウ素系ネットワーク状化合物YB22C2Nの光触媒作用
3. 学会等名 第120回触媒討論会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 Kanemichi Muraoka, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Synthesis of Ta <sub>3</sub> N <sub>5</sub> photocatalysts for visible light CO <sub>2</sub> reduction with the aid of a Ru(II) binuclear complex
3. 学会等名 9th International Symposium on Nitrides and Related Materials & 5th International Symposium on SiAlONs and Non-oxides
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yuki Tokunaga, Takayoshi Oshima, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Visible-Light-Response of Layered Titanium Niobates Doped with Nitrogen
3. 学会等名 9th International Symposium on Nitrides and Related Materials & 5th International Symposium on SiAlONs and Non-oxides (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡崎めぐみ、加藤英樹、垣花真人、前田和彦
2. 発表標題 チタン酸ストロンチウムに酸化コバルトを修飾した光触媒による水の可視光酸化反応
3. 学会等名 2017光化学討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡崎めぐみ、加藤英樹、垣花真人、前田和彦
2. 発表標題 酸化コバルトを修飾したチタン酸ストロンチウムを用いた水の可視光酸化反応
3. 学会等名 第120回触媒討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三好亮暢、前田和彦
2. 発表標題 N,F共ドーブルルチル型TiO <sub>2</sub> の合成と光触媒機能
3. 学会等名 「複合アニオン」若手スクール
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三好亮暢、前田和彦
2. 発表標題 ルチル型酸化チタンへの窒素/フッ素共ドーブによる可視光応答化
3. 学会等名 2017光化学討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三好亮暢、前田和彦
2. 発表標題 窒素/フッ素共ドーブルルチル型酸化チタンの合成と可視光照射下での光触媒活性
3. 学会等名 第120回触媒討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Visible light CO <sub>2</sub> reduction and water oxidation on modified semiconductor photocatalysts
3. 学会等名 232nd Electrochemical Society (ECS) Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tomoki Kanazawa, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Water oxidation reaction on Fe(III)-Cr(III) mixed oxide under electrochemical and photochemical condition
3. 学会等名 232nd Electrochemical Society (ECS) Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Oxynitrides as Photocatalysts for Water Splitting and CO <sub>2</sub> Fixation
3. 学会等名 The 6th Toyota RIKEN International Workshop 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三好亮暢、前田和彦
2. 発表標題 N/F 共ドーブルチル型酸化チタンの合成と光触媒活性
3. 学会等名 第11回物性科学領域横断研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西岡 駿太, 前田 和彦, 兵頭 潤次, 山崎 仁丈, 山方 啓
2. 発表標題 電子ドーブSrTiO <sub>3</sub> - の水素/酸素生成光触媒活性
3. 学会等名 第11回物性科学領域横断研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 栗木 亮, 岡 研吾, 石谷 治, 前田 和彦
2. 発表標題 パイロクロア構造を有する安定な酸フッ化物半導体 Pb <sub>2</sub> Ti <sub>2</sub> O <sub>6</sub> - F <sub>2</sub> を用いた可視光応答型プロトン、CO <sub>2</sub> 還元反応
3. 学会等名 第11回物性科学領域横断研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 前田和彦
2. 発表標題 複合アニオン化合物の新規化学物理機能の創出~複合アニオン化合物の光触媒機能創出~
3. 学会等名 新学術領域研究「複合アニオン化合物の創製と新機能」第3回公開シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Photocatalytic CO <sub>2</sub> Reduction and Water Oxidation Using Surface-Modified Semiconductors
3. 学会等名 Symposium on Nanomaterials for Environmental Purification and Energy Conversion (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Development of artificial photosynthetic assemblies using semiconductors, nanoparticles, and metal complexes
3. 学会等名 国家111プロジェクト成果報告会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 CO2 Reduction and Water Oxidation Using Surface-Modified Semiconductor Photocatalysts
3. 学会等名 International CLS Forum on Photo and Catalytic Science for Sustainable Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前田和彦
2. 発表標題 複合アニオン化合物を用いた人工光合成系の構築
3. 学会等名 第65回応用物理学会春季学術講演会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takayoshi Oshima, Kanemichi Muraoka, Junie Jhon M. Vequizo, Shunsuke Yamashita, Koji Kimoto, Akira Yamakata, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Synthesis and photocatalytic activity of a layered perovskite oxynitride $\text{Li}_2\text{LaTa}_2\text{O}_6\text{N}$
3. 学会等名 日本化学会第98春季年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 栗木 亮, 岡 研吾, 石谷 治, 前田 和彦
2. 発表標題 パイロクロア構造を有する酸フッ化物半導体 $\text{Pb}_2\text{Tl}_2\text{O}_5 \cdot 4\text{F}$ の可視光照射下での光触媒特性
3. 学会等名 日本化学会第98春季年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 栗木 亮, Chandana Sampath Kumara Ranasinghe, 山方 啓, 石谷 治, 前田 和彦,
2. 発表標題 C3N4の光励起キャリアダイナミクスと錯体触媒への電子移動過程の観察
3. 学会等名 第121回触媒討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西岡駿太, 前田和彦
2. 発表標題 電子濃度を制御した不定比SrTiO <sub>3-x</sub> の光触媒活性
3. 学会等名 2017年若手研究者育成シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishioka Shunta, Hyodo Junji, Junie Jhon M. Vequizo, Kumagai Hiromu, Yamakata Akira, Yamazaki Yoshihiro, Maeda Kazuhiko
2. 発表標題 Photocatalytic Activity of Electron Doped Non-Stoichiometric Strontium Titanate for Hydrogen and Oxygen Evolution
3. 学会等名 The 6th International Education Forum on Environment and Energy Science (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西岡駿太, 石谷治, 前田和彦
2. 発表標題 酸化物半導体-金属錯体間電子移動への酸素欠陥濃度の影響
3. 学会等名 第121回触媒討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金澤 知器, 前田和彦
2. 発表標題 Fe-Cr複合酸化物上での水の光化学的 および電気化学的酸化反応
3. 学会等名 第121回触媒討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金澤 知器, 前田和彦
2. 発表標題 Catalytic Effect of Fe-Cr mixed oxide powder for Photochemical and Electrochemical Water Oxidation Reaction
3. 学会等名 日本化学会第98春季年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村岡兼通 石谷治 前田和彦
2. 発表標題 Synthesis of Ta <sub>3</sub> N <sub>5</sub> photocatalysts for visible light CO <sub>2</sub> reduction with the aid of a Ru(II) binuclear complex
3. 学会等名 The 9th International Symposium on Nitrides and Related Materials (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 村岡兼通 石谷治 前田和彦
2. 発表標題 広域可視光を吸収して CO <sub>2</sub> を還元する Ru(II)二核錯体担持 Ta <sub>3</sub> N <sub>5</sub> /SiO <sub>2</sub> 複合光触媒
3. 学会等名 2017年若手研究者育成シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kanemichi Muraoka Junie Jhon M. Vequizo Akira Yamakata Osamu Ishitani Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Oxygen-Doped Ta <sub>3</sub> N <sub>5</sub> as a Building Block for Z-scheme CO <sub>2</sub> Reduction with a Binuclear Ru(II) Complex Workable under a Wide Range of Visible Light
3. 学会等名 日本化学会第98春季年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 安 大賢、栗木 亮、石谷 治、前田 和彦
2. 発表標題 Ru(II) 錯体/Ag/C <sub>3</sub> N <sub>4</sub> 光触媒におけるAgの局所構造と可視光CO <sub>2</sub> 還元反応の相関
3. 学会等名 日本化学会第98春季年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田中秀幸、熊谷啓、前田和彦
2. 発表標題 水酸化コバルト担持酸化チタン電極を用いた可視光下での水の酸化反応
3. 学会等名 第121回触媒討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 徳永唯希、大島崇義、前田和彦
2. 発表標題 層状チタンニオブ酸塩KTiNbO <sub>5</sub> の構造的特徴を活かした窒化促進と可視光照射下における光触媒活性
3. 学会等名 日本化学会第98春季年会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 Megumi Okazaki, Tomoki Uchiyama, Hideki Kato, Yoshiharu Uchimoto, Masato Kakihana, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Effects of SrTiO <sub>3</sub> Support for Photocatalytic Water Oxidation Using Co <sub>3</sub> O <sub>4</sub> /SrTiO <sub>3</sub> under Visible Light
3. 学会等名 International CLS Forum on Photo and Catalytic Science for Sustainable Society (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡崎めぐみ、前田和彦
2. 発表標題 第一遷移金属酸化物修飾酸化チタンを光触媒とした水の可視光酸化反応
3. 学会等名 第121回触媒討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三好亮暢、前田和彦
2. 発表標題 窒素/フッ素共ドーブルチル型酸化チタン光触媒による種々の電子アクセプター存在下での酸素生成反応
3. 学会等名 第121回触媒討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 若山 晴輝、大島 崇義、前田 和彦
2. 発表標題 新規ニオブ系層状酸窒化物の合成検討
3. 学会等名 日本化学会第98春季年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 New materials designed for artificial photosynthesis
3. 学会等名 Workshop on New Absorbers & Future Materials (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本 健太郎, 加藤 愛梨, 吉成 崇宏, 折笠 有基, 中西 康次, 太田 俊明, 内本 喜晴
2. 発表標題 表面窒化 LiFePO4正極/電解質界面における相転移反応機構
3. 学会等名 第6回JACI/GSCシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中本 康介、渡辺 有人、山本 梨乃、内山 智貴、山本 健太郎、片桐 清文、中西 康次、太田 俊明、桑原 彰秀、林 晃敏、前田 和彦、林 克郎、影山 洋、内本 喜晴
2. 発表標題 リチウムイオン電池正極活物質への窒素ドーピング効果検討
3. 学会等名 第12回固体イオニクスセミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 内山 智貴、川上 望美、山本 健太郎、中本 康介、前田 和彦、林 克郎、影山 洋、内本 喜晴
2. 発表標題 PLD法によるN,FドーピングTiO2の作製と光電流特性
3. 学会等名 第12回固体イオニクスセミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川上望美, 内山智貴, 山本健太郎, 前田和彦, 内本喜晴
2. 発表標題 雰田気制御型PLD法によるTiO2薄膜の複合アニオン化および光応答特性評価
3. 学会等名 第3回関西電気化学研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川上望美, 内山智貴, 山本健太郎, 前田和彦, 内本喜晴
2. 発表標題 雰田気制御型PLD法によるTiO2-x-yNx/Fy薄膜の合成とアニオンドープ効果
3. 学会等名 第85回電気化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 S.Tanabe
2. 発表標題 Glass and Rare-Earth Elements
3. 学会等名 The 9th Symposium on China Functional Glasses and International Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 S.Tanabe
2. 発表標題 S-band gain and blue upconversion characteristics in Tm-doped fiber amplifier by dual-wavelength pumping
3. 学会等名 The 12th Pacific Rim Conference on Ceramic and Glass Technology including Glass & Optical Materials Division Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 J. Xu, J. Ueda, S. Tanabe
2. 発表標題 Near-infrared long persistent luminescence of Er <sup>3+</sup> in garnet for the third bio-imaging window
3. 学会等名 The 12th Pacific Rim Conference on Ceramic and Glass Technology including Glass & Optical Materials Division Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北川 裕貴、上田 純平、田部 勢津久
2. 発表標題 YSiO <sub>2</sub> NにおけるEu <sup>3+</sup> イオンの赤色発光増強と真空基準結合エネルギーダイアグラムの構築
3. 学会等名 複合アニオン化合物の創製と新機能キックオフミーティング
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田部 勢津久
2. 発表標題 ガーネット蓄光型蛍光体の電子構造と光機能設計
3. 学会等名 34回先端光量子科学アライアンスセミナー (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 S.Tanabe
2. 発表標題 Deep red persistent phosphors of Mn <sup>2+</sup> doped germanate pyroxene with lanthanide sensitizer
3. 学会等名 6th IWASOM & Phosphor Safari Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 S.Tanabe
2. 発表標題 Design of Near-Infrared Persistent Phosphors for Bio-Imaging
3. 学会等名 The 2017 International Conf. on Materials (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 徳永貴之、上田 純平、田部 勢津久
2. 発表標題 希土類イオン添加カルシウムスタネート長残光蛍光体の真空基準束縛エネルギー図の構築によるキャリアトラッピングの考察
3. 学会等名 日本セラミックス協会関西支部学術講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 S.Tanabe
2. 発表標題 Glass and Rare-Earth Elements
3. 学会等名 Frontier Lecture for Solid Luminescent Materials (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 S.Tanabe
2. 発表標題 Crystal Chemistry of Perovskites; Amazing Material of Rich Electronic Functions
3. 学会等名 Frontier Lecture for Solid Luminescent Materials (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Y. Kitagawa, J. Ueda, S. Tanabe
2. 発表標題 Fabrication and Optical Properties of Eu <sup>3+</sup> -doped YSiO <sub>2</sub> N Oxynitride Red Phosphor
3. 学会等名 9th International Symposium of Nitrides (ISNT2017) & 5th International Symposium on SiAlONs and Non-oxides (ISSNOX5) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北川 裕貴、上田 純平、田部 勢津久
2. 発表標題 キャリアトラップエンジニアリングによるCe <sup>3+</sup> 添加YSiO <sub>2</sub> N長残光蛍光体の開発
3. 学会等名 日本セラミックス協会 第30回秋季シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 浅見 一喜、上田 純平、田部 勢津久
2. 発表標題 発光波長の長波長化を目指したCe <sup>3+</sup> 添加ガーネット酸窒化物蛍光体の創製と発光特性評価
3. 学会等名 日本セラミックス協会 第30回秋季シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 許 健、村田 大輔、上田 純平、田部 勢津久
2. 発表標題 A rechargeable garnet persistent phosphor for the first and third biological windows via persistent energy transfer and electron trap engineering
3. 学会等名 日本セラミックス協会 第30回秋季シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 J. Ueda, S. Tanabe
2. 発表標題 Investigation of Thermal Quenching Process for 5d-4f and 3d-3d Luminescence
3. 学会等名 232nd ECS MEETING (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田部 勢津久
2. 発表標題 複合アニオン化による発光材料の機能発現
3. 学会等名 第7回CSJ化学フェスタ2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 村田大輔、許健、上田純平、田部勢津久
2. 発表標題 ペロブスカイト中のCr <sup>3+</sup> からNd <sup>3+</sup> への持続的エネルギー移動を利用した第二生体窓残光蛍光体の開発
3. 学会等名 第58回ガラスおよびフォトニクス材料討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 原田昌弥、上田純平、田部勢津久、山田明寛
2. 発表標題 圧力誘起電子構造変化によるY <sub>3</sub> AlGa <sub>4</sub> O <sub>12</sub> :Ce <sup>3+</sup> -M <sup>3+</sup> (M=Cr, Yb)の長残光特性制御
3. 学会等名 第58回ガラスおよびフォトニクス材料討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 許 健・村田 大輔・上田 純平・田部 勢津久
2. 発表標題 Rechargeable Persistent Phosphor of Er <sup>3+</sup> -Cr <sup>3+</sup> Co-doped Garnet Covering the First and Third Biological Windows
3. 学会等名 第58回ガラスおよびフォトニクス材料討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 J. Ueda, S. Tanabe, K. Takahashi, T. Takeda, N. Hirosaki
2. 発表標題 Thermal Quenching Mechanism of CaAlSiN <sub>3</sub> :Eu <sup>2+</sup> Red Phosphor
3. 学会等名 第58回ガラスおよびフォトニクス材料討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 H. Nambu, J. Ueda, S. Tanabe, A. Ishida
2. 発表標題 Ratiometric temperature probe of deep red fluorescence of Cr <sup>3+</sup> : R lines in Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> -LaAlO <sub>3</sub> composite materials
3. 学会等名 The 6th Toyota RIKEN International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 S. Tanabe
2. 発表標題 Rare-earth Doped Glasses and Phosphors for Telecommunication and Lighting
3. 学会等名 7th Int'l Workshop on Photoluminescence in Rare Earths (PRE '17) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年



1 . 発表者名 J. Ueda, R. Maki, S. Tanabe
2 . 発表標題 Development of Orange Persistent Ca <sub>3</sub> Si <sub>2</sub> O <sub>7</sub> :Eu <sup>2+</sup> Phosphor by Co-doping with Lanthanide Ion Based on Vacuum Referred Binding Energy (VRBE) Diagram
3 . 学会等名 7th Int'l Workshop on Photoluminescence in Rare Earths (PRE ' 17) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 J. Xu, D. Murata, J. Ueda, B. Viana, S. Tanabe
2 . 発表標題 A rechargeable garnet persistent phosphor for the first and third biological windows via persistent energy transfer and electron trap redistribution
3 . 学会等名 7th Int'l Workshop on Photoluminescence in Rare Earths (PRE ' 17) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 K. Asami, J. Ueda, B. Viana, S. Tanabe
2 . 発表標題 Red-shift of emission wavelength in Ce <sup>3+</sup> -doped (Gd,Y) <sub>3</sub> Al <sub>5</sub> O <sub>12</sub> garnet by partial nitridation for warm-white LED
3 . 学会等名 7th Int'l Workshop on Photoluminescence in Rare Earths (PRE ' 17) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 K. Asami, K. Yasuda, J. Ueda, S. Tanabe
2 . 発表標題 Construction of VRBE diagrams of Eu <sup>2+</sup> doped barium silicate systems for design of novel persistent phosphors
3 . 学会等名 SPIE Photonics West 2018 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 J. Ueda
2. 発表標題 Control of Y3Al5-xGaxO12:Ce3+ persistent luminescence property by trap depth engineering
3. 学会等名 SPIE Photonics West 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 J. Xu
2. 発表標題 Toward Novel Garnet Persistent Phosphors with Bright and Tunable Persistent Luminescence
3. 学会等名 The 10th HOPE Meeting with Nobel Laureates (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 許 健、上田 純平、田部 勢津久
2. 発表標題 Persistent Luminescence in Garnets
3. 学会等名 日本セラミックス協会 2018年 年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上田 純平、浅見 一喜、北川 裕貴、田部 勢津久
2. 発表標題 機能性複合アニオン化合物と複合酸化物の構造に基づくデザイン
3. 学会等名 日本セラミックス協会 2018年 年会 サテライト03 第4回構造化学と新物質探索研究会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上田 純平, 田部 勢津久, A. Meijerink, P. Dorenbos, A. Bos
2. 発表標題 Pr <sup>3+</sup> 添加ガーネットにおける5d-4f遷移の熱イオン化消光と熱クロスオーバー消光
3. 学会等名 第65回 応用物理学会 春季学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 徳永 貴之、上田 純平、田部 勢津久
2. 発表標題 Ca <sub>2</sub> SnO <sub>4</sub> :Ln(Ln=Eu <sup>3+</sup> , Tb <sup>3+</sup> )残光蛍光体におけるキャリアトラップの考察
3. 学会等名 第65回 応用物理学会 春季学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 北川 裕貴、上田 純平、Mikhail Brik、田部 勢津久
2. 発表標題 近紫外励起可能なEu <sup>3+</sup> 添加YSiO <sub>2</sub> N酸窒化物のJudd-Ofelt理論に基づく蛍光特性評価
3. 学会等名 第65回 応用物理学会 春季学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 J. Xu
2. 発表標題 Toward Bright and Tunable Persistent Luminescence in Garnets
3. 学会等名 日本化学会 第98春季年会 特別講演 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小野塚 智也, 近松 彰, 片山 司, 廣瀬 靖, 原山 勲, 関場 大一郎, 池永 英司, 簀原 誠人, 組頭 広志, 長谷川 哲也
2. 発表標題 トポタクティックフッ素導入/酸素アニールによるNdNiO <sub>3</sub> 薄膜の可逆的抵抗制御
3. 学会等名 日本表面科学会第2回関東支部講演大会(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 T. Hasegawa, T. Yamazaki, K. Shigematsu, S. Nakao, I. Harayama, D. Sekiba, Y. Hirose
2. 発表標題 High mobility amorphous Zn-O-N thin films fabricated by pulsed laser deposition
3. 学会等名 12th Pacific Rim Conference on Ceramic and Glass Technology (PACRIM 12) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 T. Hasegawa
2. 発表標題 Growth of electronic functional oxynitride thin films by pulsed laser deposition
3. 学会等名 TOE0-10(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 M. Fukumoto, S. Nakao, K. Shigematsu, D.Ogawa, K. Morikawa, Y. Hirose, T. Hasegawa
2. 発表標題 Effects of growth orientation on Hall mobility in Ta:SnO <sub>2</sub> epitaxial thin films
3. 学会等名 TOE0-10(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 M. Fukumoto, S. Nakao, Y. Hirose, T. Hasegawa
2. 発表標題 Fabrication of Textured Ta:SnO <sub>2</sub> Transparent Conductive Films Using Self-Assembled SnO <sub>2</sub> Nanoparticles
3. 学会等名 IUMRS ICAM 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田中 駿也, 沓澤 大, 廣瀬 靖, 長谷川 哲也
2. 発表標題 原子間力顕微鏡を用いたSrFeO <sub>3</sub> のトポクテック局所還元反応
3. 学会等名 第78回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yuting Zhu, Takanori Yamazaki, Yasushi Hirose, Shoichiro Nakao, Tetsuya Hasegawa
2. 発表標題 High mobility in amorphous ZnO <sub>x</sub> Sy thin films
3. 学会等名 第78回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤原 聡士, 廣瀬 靖, 原山 勲, 綿引 悠美, 関場 大一郎, 長谷川 哲也
2. 発表標題 スピネル型酸窒化物Fe <sub>3</sub> O <sub>4</sub> - xNyエピタキシャル薄膜の合成と物性評価
3. 学会等名 第78回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 毛 司辰, 倉内 裕史, 神坂 英幸, 長谷川 哲也
2. 発表標題 ペロブスカイト酸窒化物MnTaO <sub>2</sub> NのMn間磁性結合におけるNアニオンの寄与に関する理論計算
3. 学会等名 第78回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 沓澤 大, 廣瀬 靖, 近松 彰, 中尾 祥一郎, 綿引 悠美, 原山 勲, 関場 大一郎, 長谷川 哲也
2. 発表標題 弾性反跳粒子検出 (ERDA) / ラザフォード後方散乱 (RBS) 法によるSrTiO <sub>x</sub> Hyエピタキシャル薄膜の水素量の絶対評価
3. 学会等名 日本セラミックス協会 第30回秋季シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小野塚 智也, 近松 彰, 廣瀬 靖, 片山 司, 原山 勲, 関場 大一郎, 池永 英司, 養原 誠人, 組頭 広志, 長谷川 哲也
2. 発表標題 ポリフッ化ピニリデンを用いたNdNiO <sub>3</sub> -xFx薄膜の作製と特性制御
3. 学会等名 日本セラミックス協会 第30回秋季シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akira Chikamatsu, Tetsuya Hasegawa
2. 発表標題 Topotactic synthesis of mixed-anion oxide epitaxial thin films
3. 学会等名 Physical Chemistry 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 T.Shiina, A.Chiakamatsu, M.Minohara, H.Kumigashira, T.Hasegawa
2 . 発表標題 Changes in the electronic state of SrCeO <sub>3</sub> thin films by PVDF-mediated fluorination
3 . 学会等名 ISSS-8 2017 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 M.Fukumoto, S.Nakao, Y.Hirose, T.Hasegawa
2 . 発表標題 Fabrication of Textured Ta:SnO <sub>2</sub> Transparent Conductive Films Using Self-Assembled SnO <sub>2</sub> Nanoparticles
3 . 学会等名 ISSS-8 2017 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 T.Maruyama A.Chiakamatsu, T.Onozuka, H.Kumigashira, T.Hasegawa
2 . 発表標題 Transport and magnetic properties of EuNbO <sub>3</sub> thin films grown by pulsed laser deposition
3 . 学会等名 ISSS-8 2017 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 S.Tanaka, D.Kutsuzawa, Y.Hirose, T.Hasegawa
2 . 発表標題 Local Topotactic Reduction of a SrFeO <sub>3</sub> thin film by Atomic Force Microscope Lithography
3 . 学会等名 ISSS-8 2017 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 長谷川 哲也
2. 発表標題 複合アニオン化合物薄膜におけるアニオン配列制御とその評価
3. 学会等名 第11回 物性科学領域横断研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tetsuya Hasegawa
2. 発表標題 N and O K-Edge Linearly Polarized X-Ray Absorption near Edge Structure of Ta-Based Oxynitride Thin Films
3. 学会等名 ALC'17 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田中 駿也、沓澤大、廣瀬靖、小川大輔、森河和雄、長谷川哲也
2. 発表標題 原子間力顕微鏡を用いたSrFeO <sub>3</sub> のトポクテック局所酸化還元反応
3. 学会等名 応用物理学会 強制的秩序とその操作に関わる研究グループ 第6回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近松 彰、倉内 裕史、小野塚 智也、義原 誠人、組頭 広志、池永 英司、長谷川 哲也
2. 発表標題 層状ペロブスカイト型酸フッ化物Sr <sub>2</sub> RuO <sub>3</sub> F <sub>2</sub> 薄膜の物性と電子状態
3. 学会等名 第56回セラミックス基礎科学討論会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Novel inorganic materials and bottom-up nanostructuring for thermoelectrics
3. 学会等名 XVII International Forum on Thermoelectricity (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Bottom-up Nanostructuring for Enhanced Thermoelectric Performance
3. 学会等名 PACRIM 12 (12th Pacific Rim Conference on Ceramic and Glass Technology) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Utilizing Magnetic Semiconductors and Bottom-up Nanostructuring for Enhancing Thermoelectric Properties
3. 学会等名 ICE2017 (8th International Conference on Electroceramics) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 New Routes for Bottom-up Nanostructuring and Utilization of Magnetic Semiconductors to Enhance Thermoelectric Materials
3. 学会等名 ICMAT2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森孝雄
2. 発表標題 フォノンエンジニアリングによる熱電材料の高性能化
3. 学会等名 応用物理学会フォノンエンジニアリング研究グループ JST「微小エネ」領域合同研究会(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Utilization of Magnetic Semiconductors and Bottom-up Nanostructuring for Thermoelectric Enhancement
3. 学会等名 ICT2017 (36th Annual International Conference on Thermoelectrics) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Thermoelectric enhancement in Sm and Yb borides
3. 学会等名 ISBB2017 (19th International Symposium on Boron, Borides and Related Materials) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Development of Novel Materials and Guiding Principles for Thermoelectrics
3. 学会等名 6th International Seminar on Green Energy Conversion (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Development of Thermoelectric Borides, Sulfides, Oxides, Nitrides, and Mixed Anion Compound
3. 学会等名 IUMRS-ICA 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Bottom-up Nanostructuring and Novel Materials and Concepts to Develop Viable Thermoelectrics
3. 学会等名 Power MEMS 2017 (The 17th International Conference on Micro and Nanotechnology for Power Generation and Energy Conversion Applications) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Thermoelectric Borides and Sulfides; Role of Magnetism and Disorder
3. 学会等名 TMS2018 (147th Annual Meeting) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 T. Mori, Y. Kakefuda, N. Kawamoto, K. Kouzu, T. Yamasaki, S. Okada, Y. Grin, T. Shishido, A. Yoshiwaka, and K. Yubuta
2. 発表標題 Magnetic Properties and Thermal Conductivity of Layered Borides
3. 学会等名 SCTE2018 (21st International Conference on Solid Compounds of Transition Elements) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Magnetic Semiconductor Chalcogenides for Enhanced Thermoelectrics
3. 学会等名 MRS Spring Meeting 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 土屋明宏・大山 順也・金田一麟平・岩田理 比等・牛山浩・山下晃一・薩摩篤
2. 発表標題 理論計算による 担持金属触媒のスクリーニング-CO酸化反応における実験的検証-
3. 学会等名 第120回触媒討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 水上範貴・鎌田博之・牛山浩
2. 発表標題 Ni担持触媒における炭素析出反応の理論的研究
3. 学会等名 第120回触媒討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石田宗一郎・山下晃一・牛山浩
2. 発表標題 オライト系触媒でのNO直接分解反応の理論的研究
3. 学会等名 第11回分子科学討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 S. Matsuishi, Y. Washio, K. Ikeda, T. Otomo and H. Hosono
2. 発表標題 Neutron Powder Diffraction Study on Ca <sub>2</sub> Nd: Cubic or Hexagonal
3. 学会等名 The Tenth International Conference on the Science and Technology for Advanced Ceramics (STAC-10) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松石 聡
2. 発表標題 複合アニオン強磁性体LaMnAsO <sub>1-x</sub> H <sub>x</sub> の高圧合成
3. 学会等名 日本磁気学会第215回研究会 / 第61回化合物新磁性材料専門研究会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 井上 大洋, 松石 聡, 細野秀雄
2. 発表標題 LaMnPO <sub>1-x</sub> H <sub>x</sub> における水素アニオン置換の効果
3. 学会等名 第65回応用物理学会春季学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Setsuhisa Tanabe
2. 発表標題 Novel persistent phosphors of Transparent garnet ceramics
3. 学会等名 6th International Congress on Ceramics (ICC6) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Setsuhisa Tanabe
2. 発表標題 Glass and Rare-Earths
3. 学会等名 Centenary Conference of Society of Glass Technology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 許 健、上田 純平、田部 勢津久
2. 発表標題 Design of novel garnet persistent phosphors with red/NIR persistent luminescence for the first bio-imaging window
3. 学会等名 日本セラミックス協会 第29回秋季シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 宮野 隼、上田 純平、田部 勢津久
2. 発表標題 Ce <sup>3+</sup> , Yb <sup>3+</sup> 共添加YAGG透光性セラミックスの残光特性評価
3. 学会等名 日本セラミックス協会 第30回秋季シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 村田 大輔、許 健、上田 純平、田部 勢津久
2. 発表標題 残光エネルギーを利用したガーネット蛍光体の近赤外発光特性評価
3. 学会等名 日本セラミックス協会 第31回秋季シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kazuki Asami, Jumpei Ueda, Mamoru Kitaura, Setsuhisa Tanabe
2. 発表標題 Construction of vacuum referred binding energy diagram for understanding electronic structure of Ce <sup>3+</sup> doped Gd <sub>3</sub> (Al,Ga) <sub>5</sub> O <sub>12</sub> phosphors
3. 学会等名 第77回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 田部 勢津久
2. 発表標題 希土類セラミックスによる蛍光体変換型LEDの光源効率の支配因子と向上技術
3. 学会等名 サイエンス&テクノロジー セミナー（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Setsuhisa Tanabe
2. 発表標題 Crystal chemistry of perovskites; Amazing material of electronic functions
3. 学会等名 International Conference Recent Advances in Photovoltaics（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Jumpei Ueda, Setsuhisa Tanabe
2. 発表標題 Investigation of persistent luminescence mechanism in SrAl <sub>2</sub> O <sub>4</sub> :Eu <sup>2+</sup> -Dy <sup>3+</sup> by vacuum referred binding energy diagram
3. 学会等名 UVSORシンポジウム2016
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 浅見 一喜、上田 純平、北浦 守、田部 勢津久
2. 発表標題 Ce <sup>3+</sup> 添加Gd <sup>3+</sup> (Al,Ga)5O <sub>12</sub> エネルギー準位図の構築による消光原因と長残光機構の解明
3. 学会等名 UVSORシンポジウム2016
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kazuki Asami, Jumpei Ueda, Setsuhisa Tanabe
2. 発表標題 Blue photochromism in Eu <sup>2+</sup> -Dy <sup>3+</sup> codoped barium silicate glass ceramic
3. 学会等名 CerSJ-GOMD Joint Symposium on Glass Science and Technologies/第57回ガラスおよびフォトニクス材料討論会(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ryomei Maki, Jumpei Ueda, Setsuhisa Tanabe
2. 発表標題 Design of novel orange persistent phosphors in Ca <sub>3</sub> Si <sub>2</sub> O <sub>7</sub> : Eu <sup>2+</sup> by co-doping the lanthanide ions as electron traps
3. 学会等名 CerSJ-GOMD Joint Symposium on Glass Science and Technologies/第58回ガラスおよびフォトニクス材料討論会(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 保田 晃太郎、上田 純平、田部 勢津久
2. 発表標題 Pr <sup>3+</sup> 添加SrTiO <sub>3</sub> 蛍光体へのAl <sup>3+</sup> 共添加による発光特性の変化
3. 学会等名 CerSJ-GOMD Joint Symposium on Glass Science and Technologies/第59回ガラスおよびフォトニクス材料討論会
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 田部 勢津久
2. 発表標題 ペロブスカイトの結晶化学：多彩な電子機能を有する驚異の材料
3. 学会等名 第1回フロンティア太陽電池セミナー（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Setsuhisa Tanabe
2. 発表標題 Novel Red and Near Infrared Persistent Phosphors Developed By Trap Choice and Conduction Band Engineering
3. 学会等名 Phosphor Safari 2016（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Jumpei Ueda, Setsuhisa Tanabe
2. 発表標題 Quenching Processes of Thermal Ionization and Thermally Activated Crossover for 5d-4f Luminescence
3. 学会等名 Phosphor Safari 2016（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Jian Xu, Jumpei Ueda, Setsuhisa Tanabe
2. 発表標題 Near-infrared Long Persistent Luminescence of Er <sup>3+</sup> in Garnets for the Third Bio-imaging Window
3. 学会等名 Phosphor Safari 2016（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 田部 勢津久
2. 発表標題 量子切断蛍光体の特徴と応用～原理・現象の基礎・展望～
3. 学会等名 情報機構セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Setsuhisa Tanabe
2. 発表標題 Efficient near infrared persistent phosphors for the second and third bio-imaging windows
3. 学会等名 Phosphor Global Summit 2017（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮野 隼、上田 純平、田部 勢津久
2. 発表標題 Eu <sup>3+</sup> を電子トラップとするGd <sub>3</sub> Ga <sub>5</sub> O <sub>12</sub> :Ln <sup>3+</sup> -Eu <sup>3+</sup> (Ln <sup>3+</sup> =Tb <sup>3+</sup> , Pr <sup>3+</sup> )新規長残光蛍光体の開発と残光特性
3. 学会等名 日本セラミックス協会 2017年 年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 村田 大輔、許 健、上田 純平、田部 勢津久
2. 発表標題 第三生体窓に残光を示すEr <sup>3+</sup> 添加LaAlO <sub>3</sub> 蛍光体の開発とその残光特性
3. 学会等名 日本セラミックス協会 2017年 年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北川 裕貴、上田 純平、田部 勢津久
2. 発表標題 長残光発現に向けた希土類イオン添加YSiO <sub>2</sub> NのVRBE(Vacuum Referred Binding Energy)ダイアグラムの構築
3. 学会等名 日本セラミックス協会 2017年 年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田部 勢津久
2. 発表標題 希土類蛍光体・セラミック蛍光体の基礎と課題、発光特性・量子効率・光源効率の評価法～白色LED、透光性セラミック、結晶化ガラス、高演色性～
3. 学会等名 サイエンス&テクノロジー セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 牛山 浩
2. 発表標題 「不均一触媒反応に対する理論化学手法による取り組み」
3. 学会等名 第118回触媒討論会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 今村友信, 牛山浩, 山下晃一
2. 発表標題 「改良Basin-Hopping法を用いた反応中間体の構造探索」
3. 学会等名 第10回分子科学討論会2016
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 倉橋駿介、牛山浩、山下晃一
2. 発表標題 「Naイオン二次電池負極材料MXeneに関する理論的研究」
3. 学会等名 第10回分子科学討論会2016
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 児玉涼介, Arabnejad Saeid, 牛山浩, 山下晃一
2. 発表標題 「Naイオン電池負極材料Snにおける充放電過程の理論的研究」
3. 学会等名 第10回分子科学討論会2016
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Vitchaphol Motaneeyachart, Yasushi Hirose, Atsushi Suzuki, Shoichiro Nakao, Tetsuya Hasegawa
2. 発表標題 Pulsed laser deposition and characterization of NbON epitaxial thin films
3. 学会等名 第64回応用物理学会春季学術講演会（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 椎名 孝明, 近松 彰, 簗原 誠人, 組頭 広志, 長谷川 哲也
2. 発表標題 ポリフッ化ピニリデンを用いたSrCeO <sub>3</sub> 薄膜の還元的フッ素化反応
3. 学会等名 第64回応用物理学会春季学術講演会（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 倉内 裕史, 神坂 英幸, 近松 彰, 長谷川 哲也
2. 発表標題 層状ルテニウム酸フッ化物Sr <sub>2</sub> RuO <sub>3</sub> F <sub>2</sub> の第一原理計算
3. 学会等名 第64回応用物理学会春季学術講演会 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小野塚 智也, 近松 彰, 片山 司, 廣瀬 靖, 原山 勲, 関場 大一郎, 池永 英司, 簀原 誠人, 組頭 広志, 長谷川 哲也
2. 発表標題 トボクティックフッ素導入/酸素アニールによるNdNiO <sub>3</sub> 薄膜の可逆的
3. 学会等名 第64回応用物理学会春季学術講演会 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takahiro. Yoshinari, Yuki. Oriyasa, Motoaki. Nishijima, Koji. Ohira, Shogo. Esaki, Toshitsugu. Sueki, Takuya. Ootani, Yuichi. Kamimura, Koji. Ohara, Katsutoshi. Fukuda, Yukihiro. Koyama, Zempachi. Ogumi, and Yoshiharu. Uchimoto
2. 発表標題 Stabilization of Intermediate Phase in LiFePO <sub>4</sub> Leading to High-Rate Performance
3. 学会等名 PRiME 2016(ECS) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Naoya. Hamaguchi, Takahiro. Yoshinari, Yuki. Oriyasa, M. Nishijima, Koji. Ohira, Syogo. Esaki, Toshitugu. Sueki, T. Ootani, Yuichi. Kamimura, Koji. Ohara, Katsutoshi. Fukuda, Yukinori. Koyama, Zempachi. Ogumi, and Yoshiharu. Uchimoto
2. 発表標題 Electrochemical and Crystalstructural Analysis of Intermediate Phase Behavior in Co-Substituted LiFePO <sub>4</sub> with Reduced Lattice Mismatch
3. 学会等名 PRiME 2016(ECS) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Eri. Kato, Takahiro. Yoshinari, Kentaro. Yamamoto, Takuya. Mori, Yuki. Orikasa, Koji. Nakanishi, and Yoshiharu. Uchimoto
2. 発表標題 The Enhancement of the Interface Reaction in LiFeP04 Two-Phase System
3. 学会等名 PRiME 2016(ECS) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takahiro. Yoshinari, Yuki. Orikasa, Kentaro. Yamamoto, M. Nishijima, Katsutoshi. Fukuda, Yoshiharu. Uchimoto
2. 発表標題 Improvement of phase transition reaction rate ofLi(Fe0.95Zr0.05)(P0.9Si0.1)04 for high rate Lithium-ion battery cathode
3. 学会等名 IBA 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoshiharu Uchimoto
2. 発表標題 Improvement of Rate Capability of Cathode Materials for Automobile Applications
3. 学会等名 ABAA9 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 加藤愛梨、吉成崇宏、山本健太郎、森拓弥、折笠有基、中西康次、太田 俊明、内本喜晴
2. 発表標題 薄膜モデル電極を用いた表面窒化LiFeP04正極反応の高速化
3. 学会等名 立命館大学SRセンター公開シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 "吉成 崇宏、折笠 有基、山本 健太郎、西島 主明、大平 耕司、江崎 正悟、
2. 発表標題 元素置換により格子体積差を縮小したLiFeP04の高速充放電特性
3. 学会等名 立命館大学SRセンター公開シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 加藤愛梨, 吉成崇宏, 山本健太郎, 森拓弥, 折笠有基, 中西康次, 太田俊明,
2. 発表標題 薄膜モデル電極を用いた表面窒化LiFeP04正極の相転移機構解明
3. 学会等名 第57回電池討論会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山本 梨乃, 吉成 崇宏, 山本 健太郎, 森 拓弥, 折笠 有基, 西島 主明, 大平 耕司, 江崎 正悟, 末木 俊次, 上村 雄一, 福田 勝利, 内本 喜晴
2. 発表標題 格子歪制御に伴うLiFeP04の非平衡挙動変化と出力特性への影響
3. 学会等名 第57回電池討論会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 ○吉成崇宏、折笠有基、山本健太郎、西島主明、大平耕司、江崎正悟、末木俊次、上村雄一、福田勝利、内本喜晴
2. 発表標題 格子体積制御に基づく LiFeP04の高速充放電反応機構
3. 学会等名 第42回固体イオニクス討論会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉成 崇宏, 濱口 直也, 折笠 有基, 山本 健太郎, 西島 主明, 福田 勝利, 内本 喜晴
2. 発表標題 アニオン置換LiFeP04の高速充放電特性
3. 学会等名 第10回物性科学領域横断研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 加藤愛梨, 吉成崇宏, 山本健太郎, 森拓弥, 折笠有基, 中西康次, 太田 俊明, 内本喜晴
2. 発表標題 表面窒化LiFeP04正極の界面反応構解明
3. 学会等名 第10回物性科学領域横断研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉成崇宏, 折笠有基, 濱口直也, 北口雄也, 山本健太郎, 西島主明, 福田勝利, 内本喜晴
2. 発表標題 格子制御したLi (Fe0.95Zr0.05) (P0.9Si0.1)04の高速充放電特性
3. 学会等名 第3回関西電気化学研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 加藤愛梨, 吉成崇宏, 山本健太郎, 折笠有基, 中西康次, 太田 俊明, 内本喜晴
2. 発表標題 リン酸鉄リチウム正極の表面窒化处理によるレート特性向上
3. 学会等名 第3回関西電気化学研究会
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 吉成崇宏, 西島主明, 山本健太郎, 福田勝利, 前田和彦, 陰山洋, 折笠有基, 内本喜晴
2. 発表標題 Alを含む異種元素置換LiFePO <sub>4</sub> の高入出力特性
3. 学会等名 2016年度固体化学の新しい指針を探る研究会 若手による発表の会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山本健太郎, 加藤愛梨, 吉成崇宏, 折笠有基, 中西康次, 太田俊明, 内本喜晴
2. 発表標題 表面窒化LiFePO <sub>4</sub> 正極/電解質界面における相転移反応機構の解明
3. 学会等名 第84回電気化学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 内本喜晴
2. 発表標題 多電子移動電極を用いた 高エネルギー密度二次電池の開発
3. 学会等名 第84回電気化学会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 前田和彦
2. 発表標題 金属錯体と半導体の特徴を活かした二酸化炭素還元光触媒の創出
3. 学会等名 第27回グリーンケミストリーフォーラム (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 前田和彦
2. 発表標題 可視光水分解を実現する新たな光触媒系の開発
3. 学会等名 第10回物性科学領域横断研究会 第11回凝縮系科学賞受賞講演（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 前田和彦
2. 発表標題 半導体と錯体を融合した革新的光触媒系の構築
3. 学会等名 錯体学会若手の会東海地区勉強会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 CO <sub>2</sub> reduction and water oxidation by new semiconductor photocatalysts
3. 学会等名 International Conference on Catalysis and Chemical Engineering（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Development of New Visible-Light-Driven Photocatalysts for Water Oxidation Based on Rutile TiO <sub>2</sub>
3. 学会等名 第7回「フォーラム:人工光合成」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Molecular-based heterogeneous photocatalysts for solar fuel production
3. 学会等名 2nd Joint Workshop between NTU, Singapore and Tokyo Tech (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Z-scheme reduction of carbon dioxide with visible light using a binuclear metal complex and a semiconductor
3. 学会等名 SPIE Optics + Photonics for Sustainable Energy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Visible-light CO <sub>2</sub> reduction using metal-complex/semiconductor photocatalysts
3. 学会等名 The 6th Sino-Japan bilateral young chemist forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ryo Kuriki, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Visible-light-driven CO <sub>2</sub> reduction using ruthenium(II) complex/carbon nitride hybrid photocatalysts
3. 学会等名 the 16th International Congress on Catalysis (ICC 16) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takayoshi Oshima, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Water splitting reaction using restacked KCa <sub>2</sub> Nb <sub>3</sub> O <sub>10</sub> nanosheets modified with Pt nanoclusters
3. 学会等名 the 16th International Congress on Catalysis (ICC 16) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takayoshi Oshima, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Deposition of small noble metal particles on KCa <sub>2</sub> Nb <sub>3</sub> O <sub>10</sub> restacked nanosheet and the photocatalytic activity
3. 学会等名 SPIE Optics+ Photonics for Sustainable Energy 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kanemichi Muraoka, Hiromu Kumagai, Miharu Eguchi, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Z-scheme CO <sub>2</sub> reduction using a hybrid of a yttrium-tantalum oxynitride and a binuclear Ru(II) complex 2016年光化学討論会
3. 学会等名 2016年光化学討論会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 栗木亮・松永大典・中島拓哉・山方啓・石谷治・前田和彦
2. 発表標題 有機半導体と金属錯体との複合体を光触媒とした可視光駆動型 CO <sub>2</sub> 還元光触媒反応
3. 学会等名 第118回触媒討論会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大島崇義・前田和彦
2. 発表標題 タンタル系層状酸窒化物の合成とその光触媒特性
3. 学会等名 第118回触媒討論会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 西岡駿太・兵頭潤次・山方啓・山崎仁丈・前田和彦
2. 発表標題 酸素欠損型不定比SrTiO <sub>3</sub> - の水分解光触媒活性
3. 学会等名 第118回触媒討論会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 和田啓佑・石谷治・前田和彦
2. 発表標題 金属酸化物修飾カーボンナイトライド/Ru(II)-Re(I)二核錯体ハイブリッド光触媒による CO <sub>2</sub> 還元反応
3. 学会等名 第118回触媒討論会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 村岡兼通・石谷治・前田和彦
2. 発表標題 広域可視光を吸収して CO <sub>2</sub> を還元する Ru(II)二核錯体担持 Ta <sub>3</sub> N <sub>5</sub> /SiO <sub>2</sub> 複合光触媒
3. 学会等名 第118回触媒討論会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 石牧昂輝・前田和彦
2. 発表標題 コバルト化合物で修飾した酸化チタンを光触媒とした可視光照射下での水の酸化反応
3. 学会等名 第118回触媒討論会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 金澤知器・前田和彦
2. 発表標題 Fe <sub>2-x</sub> Cr <sub>x</sub> O <sub>3</sub> ナノ粒子を用いた水の光酸化反応
3. 学会等名 第118回触媒討論会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 村岡兼通・熊谷 啓・江口美陽・石谷 治・前田和彦
2. 発表標題 Ta系酸窒化物とRu(II)二核錯体との複合体を光触媒としたCO <sub>2</sub> 還元反応
3. 学会等名 第35回固体・表面光化学討論会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takayoshi Oshima
2. 発表標題 Synthesis of layered oxynitride Li <sub>2</sub> LaTa <sub>2</sub> O <sub>6</sub> N and its photocatalytic activity
3. 学会等名 ISPED 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kanemichi Muraoka
2. 発表標題 Z-scheme CO <sub>2</sub> reduction by hybrid materials constructed with an yttrium-tantalum oxynitride and a binuclear Ru(II) complex
3. 学会等名 ISPED 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tomoki KANAZAWA, Kazuhiko MAEDA
2. 発表標題 Photochemical deposition of multi-component cocatalyst for water splitting
3. 学会等名 2017 International Conference on Artificial Photosynthesis (ICARP2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryo Kuriki, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Visible-Light-Driven Photocatalytic CO <sub>2</sub> Reduction Using an Organic Semiconductor and Ru(II) Binuclear Complex Hybrid Photocatalysts
3. 学会等名 CCE-2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金澤知器・前田和彦
2. 発表標題 Fe-Cr 複合酸化物ナノ粒子を用いた水の酸化反応
3. 学会等名 日本化学会 第97春季年会 (2017)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三好亮暢・前田和彦
2. 発表標題 窒素/フッ素共ドーブによるルチル型酸化チタンの可視光応答化
3. 学会等名 日本化学会 第97春季年会 (2017)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡崎めぐみ・前田和彦
2. 発表標題 チタン酸塩に酸化コバルトを修飾した光触媒による可視光照射下での水の酸化反応
3. 学会等名 日本化学会 第97春季年会 (2017)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田中秀幸・前田和彦
2. 発表標題 酸化コバルト担持酸化チタン電極の光電気化学特性
3. 学会等名 日本化学会 第97春季年会 (2017)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryo Kuriki, Akira Yamakata, Osamu Ishitani, Kazuhiko Maeda
2. 発表標題 Visible-light-driven photocatalytic CO <sub>2</sub> reduction reaction using hybrid with an organic semiconductor and a Ru(II) binuclear complex
3. 学会等名 日本化学会 第97春季年会 (2017)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 和田啓佑・石谷治・前田和彦
2. 発表標題 Ru(II)-Re(I)二核錯体とTiO <sub>2</sub> /C <sub>3</sub> N <sub>4</sub> からなるハイブリッド光触媒を用いた可視光駆動CO <sub>2</sub> 還元
3. 学会等名 日本化学会 第97春季年会 (2017)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 村岡兼通・石谷治・前田和彦
2. 発表標題 可視光にตอบสนองしてCO <sub>2</sub> 還元反応を駆動するRu(II)二核錯体担持Ta <sub>3</sub> N <sub>5</sub> /SiO <sub>2</sub> 光触媒の調製条件の検討
3. 学会等名 日本化学会 第97春季年会 (2017)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大島崇義・前田和彦
2. 発表標題 KCa <sub>2</sub> Nb <sub>3</sub> O <sub>10</sub> ナノシートを用いた Pt ナノクラスター担持とその光触媒特性
3. 学会等名 第119回触媒討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石牧昂輝・前田和彦
2. 発表標題 酸化コバルト修飾酸化チタン光触媒上での水の酸化反応における酸化チタン担体の影響
3. 学会等名 第119回触媒討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡崎めぐみ・前田和彦
2. 発表標題 酸化コバルトで修飾したチタン酸塩を光触媒とした水の酸化反応
3. 学会等名 第119回触媒討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田中秀幸・前田和彦
2. 発表標題 可視光応答型 $\text{CoO}_x$ / $\text{TiO}_2$ 電極を用いた水の酸化反応
3. 学会等名 第119回触媒討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西岡駿太・兵頭潤次・山崎仁丈・前田和彦
2. 発表標題 酸化物半導体に導入した酸素欠陥の光触媒活性への影響
3. 学会等名 第119回触媒討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 村岡兼通・石谷治・前田和彦
2. 発表標題 可視光 $\text{CO}_2$ 還元反応に活性な $\text{Ru(II)}$ 二核錯体担持 $\text{Ta}_3\text{N}_5/\text{SiO}_2$ 光触媒の調製条件の検討
3. 学会等名 第119回触媒討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 栗木亮・中島拓哉・石谷治・前田和彦
2. 発表標題 Ru(II)二核錯体と有機半導体との複合体を光触媒とした水中での可視光駆動型CO2還元反応
3. 学会等名 第119回触媒討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三好亮暢・前田和彦
2. 発表標題 窒素/フッ素共ドーブルチル型酸化チタンの合成およびその光触媒機能
3. 学会等名 第119回触媒討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 前田和彦
2. 発表標題 複合アニオン化合物の機能
3. 学会等名 第1回公開シンポジウム(キックオフミーティング) 複合アニオン化合物の創製と新機能
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Prospective for High Temperature Thermoelectric Applications and Development of Materials (Borides, Sulfides, Oxides, and Nitrides)
3. 学会等名 Electronic Materials and Applications EMA2017(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Developing High Temperature Thermoelectric Materials by Utilizing Mixed Anions and Novel Principles
3. 学会等名 The 18th International Symposium on Eco-materials Processing and Design(ISEPD2017) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Bottom-up Nanostructuring for Thermoelectrics
3. 学会等名 TMS2017 (146th Annual Meeting) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Utilizing nanotechnology and novel materials and concepts for advanced and thermoelectric thermal management technology development
3. 学会等名 XV International Conference "Thermoelectrics and their Applications 2016" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takao Mori
2. 発表標題 Utilizing Magnetic Semiconductors and Bottom-up Nanostructuring Methods for Enhanced Thermoelectrics
3. 学会等名 Thermoelectric Network Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森孝雄
2. 発表標題 新規なナノ構造熱電材料：希土類フリーで耐酸化性の高性能スキテルダイト、および、新規な磁性半導体硫化物熱電材料
3. 学会等名 第21回通電焼結研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 森孝雄
2. 発表標題 REAlB4型化合物の磁性と熱電的性質
3. 学会等名 第11回日本フラックス成長研究発表会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 土屋貴太郎
2. 発表標題 ホウ化物単結晶における増強された熱電特性
3. 学会等名 セラミックス協会第29回秋季シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 土屋貴太郎
2. 発表標題 YbB6単結晶試料の熱電的性質と磁性と比熱の解析
3. 学会等名 第11回日本フラックス成長研究発表会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松石聡, 小畑由紀子, 細野秀雄
2. 発表標題 水素置換LaMnAsOの磁気特性と電子構造の解析
3. 学会等名 応用物理学会春季年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松石 聡
2. 発表標題 金属元素のアニオンを含む複合アニオン化合物の電子構造と物性
3. 学会等名 第2回材料設計討論会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松石 聡
2. 発表標題 酸水素化物複合アニオン化合物の高圧合成
3. 学会等名 "複合アニオン化合物の創製と新機能"
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計10件

1. 著者名 Akinobu Miyoshi, Megumi Okazaki, Kazuhiko Maeda	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 536
3. 書名 Current Developments in Photocatalysis and Photocatalytic Materials --New Horizon in Photocatalysis--	

1. 著者名 Kazuhiko Maeda	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Wiley	5. 総ページ数 768
3. 書名 Heterogeneous Catalysts: Emerging Techniques for Design, Characterization and Applications	

1. 著者名 Tomoki Kanazawa, Kazuhiko Maeda	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 283
3. 書名 Photochemical synthesis of nanoscale multi-component metal species and their application to photocatalytic and electrochemical water splitting	

1. 著者名 Y. Katayama, S. Tanabe	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 556(415 441)
3. 書名 Solar Cells and Light Management	

1. 著者名 Ryo Kuriki, Kazuhiko Maeda	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Woodhead Publishing in Materials	5. 総ページ数 333
3. 書名 Hybrid Z-scheme nanocomposites for photocatalysis	

1. 著者名 T. Mori	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Taylor and Francis	5. 総ページ数 812
3. 書名 Advanced Thermoelectrics: Materials, Contacts, Devices, and Systems	

1. 著者名 T. Mori, J. Vaney, G. Guérou, F. Failamani, Q. Guo	4. 発行年 2018年
2. 出版社 De Gruyter	5. 総ページ数 260
3. 書名 Crystal Growth of Intermetallics	

1. 著者名 Takayoshi Oshima, Miharu Eguchi, Kazuhiko Maeda	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 492 (257-288)
3. 書名 Semiconductors for Photocatalysis	

1. 著者名 上田純平, 田部 勢津久	4. 発行年 2016年
2. 出版社 シーエムシー出版	5. 総ページ数 262(171-179)
3. 書名 次世代蛍光体材料の開発	



1. 著者名 田部 勢津久	4. 発行年 2016年
2. 出版社 シーエムシー出版	5. 総ページ数 307(286-291)
3. 書名 太陽光と光電変換機能 - 異分野融合から生まれる次世代太陽電池	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	長谷川 哲也  (Hasegawa Tetsuya)  (10189532)	東京大学・大学院理学系研究科(理学部)・教授   (12601)	
研究分担者	田部 勢津久  (Tanabe Setsuhisa)  (20222119)	京都大学・人間・環境学研究所・教授   (14301)	
研究分担者	松石 聡  (Matsuishi Satoru)  (30452006)	東京工業大学・元素戦略研究センター・准教授   (12608)	
研究分担者	内本 喜晴  (Uchimoto Yoshiharu)  (50193909)	京都大学・人間・環境学研究所・教授   (14301)	
研究分担者	森 孝雄  (Mori Takao)  (90354430)	国立研究開発法人物質・材料研究機構・機能性材料研究拠点・グループリーダー   (82108)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	牛山 浩  (Ushiyama Hiroshi)  (40302814)	東京大学・大学院工学系研究科(工学部)・准教授    (12601)	2017年度まで参画。

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	石原 達己  (Ishihara Tastumi)		
研究協力者	阿部 竜  (Abe Ryu)		
研究協力者	小笠原 一禎  (Ogasawara Kazuyoshi)		
研究協力者	上田 純平  (Ueda Junpei)		
研究協力者	大久保 勇男  (Okubo Isao)		
研究協力者	廣瀬 靖  (Yasushi Hirose)		

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 Workshop on Advanced Materials and Principles to Develop Viable Thermoelectrics and Advanced Thermal Management	開催年 2018年～2018年
--	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
米国	University of Pennsylvania	University of Michigan	Cornell University	
オーストラリア	Flinders University	The University of New South Wales	Queensland University of Technology	他1機関
英国	Sheffield University	Queen Mary University of London		
オーストリア	Technical University of Vienna			
ドイツ	MPI-CPFS	Universitat Leipzig	Technical University of Munich	他1機関
フランス	University Paris Diderot	Chimie ParisTech (CNRS)	University of Rennes	他1機関